

高校生の平和運動と  
自治会の二重性格

鎌田明彦

(12)

資本主義と教育

堀内伸行

(15)

先生の高校時代

◇ 独逸語・英語・国語

吉永孝雄

(16)

◇ 滄浪の水

小松昌

(18)

◇ 高校時代の思い出

中塚五郎

(19)

会談座

校長を囲んで

大手前とともに二十五年

(2)

現代大手前生の全貌

(18)

アンケートからとれた本校版「若者のすべて」

クラブだより

文化系

文芸部 (42)  
放送部 (43)  
放道部 (45)  
書道部 (45)  
美術部 (45)  
新聞部 (46)  
弁論部 (47)  
生物部 (100)

演劇部 (101)  
音楽部 (102)  
社研部 (103)  
写真部 (105)  
通研部 (105)  
E・S部 (108)  
理研部 (110)

運動系

男子バレー部 (48)

ダンス部 (57)

登山部 (49)

水泳部 (58)

フンダー同好会 (52)

陸上部 (58)

剣道部 (53)

軟式テニス部 (60)

女子バスケ部 (54)

卓球部 (60)

硬式テニス部 (54)

女子バレー部 (61)



詩

もう何もいりません 中村一男 (48)

鐘 茨木裕 (49)

夜前暮 竹柴久史 (52)

はじまり 早川忠雄 (53)

随想

大き く 木村正明 (51)

真夏の日に 小井田蘭子 (56)

堀北哲也 (74)

ずいひつ 紀行文

雑記 友清裕昭 (49)

○ 小豆島旅行 周防昭・松浦一成 (62)

○ 全米ジャンボリーの毎日 東野吉佑 (72)

○ 私のペンパル 黒田喜美子 (76)

○ 君という友を得た今は 小林正輝 (82)

○ 後世への最大遺物 安部琢哉 (85)

○ 君へのひとりごと 河村真一 (91)

○ 大手前人間種々 白井五郎 (86)

推理小説

石井良子 (94)

※ 巻頭言

学園生活にオアシスを 堀内孝修 (1)

表紙／松村 謙  
写真／写真部  
編集後記 (12)



# 巻頭言 学園生活にオアシスを

自治会会長 堀内孝修

「感動の詞は行動であり、感動の行動は詞である。」という言葉があります。そしてここに掲載する作品すべては熱心な、感動的なところの中から生まれて来たものと信じます。しかしここに挙げる一つ一つはたゞ理想のような姿をとつていてもその中には学校生活の喜びや悲しみ、反駁や従順の精神、そういうものが一挙に花となって咲き出ていると思いません。


ここでスプリング第二号の発刊にあたり、これが私達のオアシスとなることを望み、いつまでもこの喜びが続きますように願います。

そして立派に完成されたスプリング編集委員の方々には心から感謝の意を表したいと思えます。



*Mikakudo*

# 味覚堂

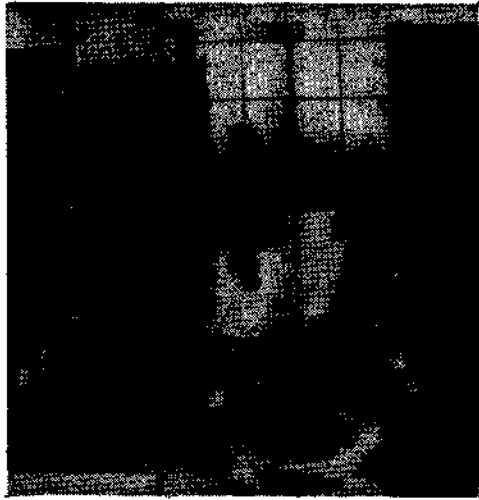
七色の味  


文房具なら..



—— 学校の行き帰りに

# 湯浅文房具店



校長を囲んで

大手前高等高校が創立されてから十四年、旧制女学校時代から数えて七十五年の歴史が私達の背後に残っています。

大手前のその伝統が私達にどのような影響を与えているのか、又大手前に住む私達はどのようにして高校生活をすごしていくべきか、私達高校生のだれもが直面するさまざまな問題、その他種々多くのことを、戦前から本校におられた佐藤校長を囲んで、いろいろ話し合ってみることにしました。

終戦後の校令のようす

堀北 校長先生の就任当時の学校の環境について一言。  
ブルがあつた。そして運動場は現在のテニス・コートのところだけ、約二千坪あまりか。

校長 金蘭会館の隣に門があるでしょう。それがまっすぐ南北の道路までとおつていた。そこまで北へいがあつて、そばに友清 それは何年程前のことですか。校長 昭和二十三年ですから、高等学校の才一回ぐらひです。私がこの学校へきたのが昭和十二年ですが、それからずうとその儘だつたんです。

とと前とと  
年日幾にとも



そして北側には府庁の別館があつた。それでもち運動場がこのように狭いから今、合同庁舎、大手前病院になつている辺一体を譲つてもらふらうと思つていたんです。(笑) 戦前はあの辺が陸軍病院で、負傷者の療養所だつた訳だ。約一万坪はあるか。

堀北 当時の男生徒は？  
校長 北野から男子が入つてきたが、始め府の計画では、高校一年と中学の二、三年を共学させようという事だつた。しかし北野の中に大手前へ行つちやろうというのがいて、三年二十人、二年生三十人が高校制になつた最初から混つていた。これは大手前だけの事だが。北野からは最初成績のよい人が来たようだ。それに一風変つた人間が揃つていて、先覚者風の、個性の強い人が多かつたようだ。学問をやる気がある、金にからかなくとも。というふうな伝統のよう方もあるんだか。

フアトイの

あつた女生徒

校長 その頃の女子はフアイトが旺盛だつたよ。(笑) さつきも京大の大学院を出て植物を研究している人がきて昔の女子はガムシヤラに勉強するタイプの人が多かつたが、現在では、昔の女学校卒業生がお嫁に行くよりかつもりて大学へ行き、勉強の為に大学へ行く人が少なくなつたと言つていた。

堀北 最近アメリカ風の自分の幸福を追求することで人生をエンジョイするといふ気持ちが強く、自分の理想をはつきり持つ人が少なくなつた。  
戦争前は、個人主義というものは悪いもんだと思われ、そんな事も考えられなかつた。國の為、みんなの為にという事が多かつた。今の人は幸福を追求める人が多くなり、良い意味の個人

主義とをつた。そのせいか、無鉄砲なことをする人が少なくつたように思えるね。人間の傾向はそう激しく変らなないだろう。

## 大手前生

### と 伝 統

堀内孝 先生お話しの中に伝統ということがあります。ですが、伝統とは学校の人気とおもわれ勝ちだが、大手前の伝統は、社会に対する働きかけが確実である先輩が多く出ていかれると云うことであり、現在の我々には、その自覚がないうちに思ふ。自分が次から来る後輩の為に、もつと社会的にも信頼される人間になりたいという気持ちが欠けていると思ふ。

友清 以前の学生を話で聞くが、現在の大部分は高き自負心が多く欠けている。

るよりだ。それは伝統の喪失と結びついていると思ふ。

金田 大手前に付いては人が偉いと思つてしまふ。我々は先輩の築いた伝統を守つていく義務がある。

校長 看板だけではいけない。で、味は自分で考えるのがいい。人気によつていい生徒が入ってくるからよく世間的にも大丈夫だからということになる。伝統は他校を隔離しているわけでは無いからそう左右しないし、そう大きい力を持つているわけでは無い。伝統にのみでなく、個人の生活によつて中味は決まる。

勿論、入つてくる時は伝統によつてだけれど……。伝統にそう大きな力を期待することは出来ない。

林 新しく入つてくる人に感想をきくと、遊びが多すぎて意外だという意見がある。つまり伝統は他校の人が見ているものであつて、自分達は三年間のうちに全てに全力を出せばよい。

鎌田 自分達で作つた伝統を他校の人が見ていのは当然だ。

校長 何でも他所へいつて始めて分る

のですね。日本国民性という事も、外国へ行つて、始めて、始めて分る。だから、よその学校へ行つたら、大手前とはどんな学校だと思ふ。

## 貴族的な英国教育

堀北 オックスフォードやケンブリッジの特徴は？

校長 まあ、日本と全然違いますね。あんな何万と入れずに全校でたつた三百人ぐらいですね。日本の大学は大量で、目的は学問的水準であり、あちらは人格的水準なのです。だから、むこうの学生は、教師といつても一緒に食堂で食事しますね。古ぼけた薄暗い食堂で、まわりの壁には、ニュートンとか

日本が山国だということと、英作文の問題によくきかされたが(笑)、フランスや英国実際は平らなんだ。全く岡ばかりといえる。日本の上を飛んでみたら、山ばかりで一体どこに日本人は住んでるんだらうと思ふんだな。だから伝統も、風呂の中にいるようなもんで、中に這入つていると熱いか冷たいかわからないようものだ。

の偉い人の油絵がずらつと並んでいます。勿論暗くて分りませんが。ま多人格の教育の一つのあらわれですね。日本の大学では、まあそれは無理でしょう。あちらでは面接という形で先生と話し合つてからはいります。

むこうで私が千二百人の生徒があるといつたら驚いてそれで名前前は覚えられないうだらうといつた(笑)。むこうの有名なパブリックスクールで三百

## 科 内 本 木

北 点 又 文 橋 緑

TEL (07) 1480

秋もことのほか深まつて、河辺の薄も銀粉満面である。身に冷い外気、横み重なる落葉、底をしの如き青い空がもの思いに耽らせる。時が移り交つても、心を落ち着かせる秋の色は古往今来変わりない。はたはたと來の葉鳴れるふるさとの軒端をつかして

啄木

こよなく故郷を愛した人生派歌人啄木の今年が五十年忌。人間の側面を示すその歌には少年の日の浪漫的情緒と生活の困窮からくる疲れとが秘められている。晩秋の日、啄木の歌を心に触れよう。

しつとりと

方みだを吸へる砂の玉

なみだは重きものにしるあか

(木村正明)

人、しかも寄宿制です。だからまあ、異族主義だといえますね。一般大衆はそんなことは出来かねますね。日本のように人口が多ければむづかしくなります。そういう点米国では民衆的で一学校で千二百人位がざらにあるから人格より個性をのばすというところの方が強いようです。

## 宗教教育と

### 道徳教育

鎌田 イギリスでは宗教の時間はあります。

校長 あります。朝礼のように校長がバイブルを読んだり又週に一、二時間宗教の時間があつて、やらねばならぬわけですね。

鎌田 それでは国民に強制しているわけですね。

校長 そうです、でもむこうは宗派がいろいろあるんで、まあ普通はイング

リツニュチャーチでやつてますが、カソリックの人は出席しなくてよいので

す。堀内伸 アメリカの小学校では日曜に教会へ行つて父兄が生徒を指導するといふ事を聞いたんですけど、日本でもそのようなことを行つていくとき、道



徳教育などと関連して問題があると思うのですが。

林 新聞でもイギリスは大衆誌が少

い。タイムズなどの発行部数はごく限られてる。日本は丁度その正反対で教育も大衆教育となつてはいるが、教育者としての理想を一つ。

校長 まず人数を少くしてほしい。クラスを少くしてほしい。大勢でやることは安上りで、日本のように急速に発展した国ではそういう事だが、人間を作つていく教育にするにはそのようにしたい。宗教は人生における行動の基礎として深くつかがつているが、日本人は無神論者だ。アメリカにしても、それほど宗教教育は云つていかないと思うんだ。学校では全然やらさないから、それは家庭の問題だろう。アメリカでは愛国心のようなものの養成に、毎朝、国旗を掲げているよ。

日本はイギリスの二倍の人口をもっているが、殺人件数はイギリスの十倍もあるのです。殺人は判定が判然としていて、比較の基準が異なるということはない。それだけ生活水準が高いとも云えるが、又行動のオネステイが高いから、体と同じように、知的なものの情操的なものも、見えにくいですが、持っている素質を完全にのばし、体と同じく、心の中も発達した人物をそだて上げたい。

いといえると思う。それが宗教の影響とだけは云えなけれども。しかし、我々が宗教を持たぬという事は、人間生活形成の上で何か足らないものが感じられる。世間の成行きだけで生きていくということは考えられぬと思うんだ。それをどこに求めるかは非常に

むづかしい事だ。

鎌田 校長先生のお話では共産圏諸国では宗教教育が行われていないといふことですが、なぜ、共産圏を实地に見られなかったんですか。

校長 当時、共産圏諸国へは、簡単にはいれなかった。

## 多い信念のない学生

中下、話は変わりますが、昔の人が持つていたような信念とか、かたぎですか。そういうものを持つて一つのものに打込んで進む人が少なくなつたように思えてみるとさきみしく思うのです。堀北 校長先生の教育理念について一

わりはないとおもう。今の我々には、自分の行動に対する反省が大切であり信念を固くもつていく事は危険性を伴うとおもう。

友清 まあ、その理由として先述の負心のことと関連すると思う。現代の人は、何でも自分でやつてやるう、という意気が足りないうと思う。

校長 私は教育でまず、尊いことは、オ一にみんなの身体が、その人の持つていてる発育力で、完全に発育し、身体

の関係を深く、横の関係というものを考えるべきだと思ふ。

堀内伸 僕らが二年の二期期に入つて先生方が、そろそろ将来の方針をたてて、それに基づいて勉強しておくと書かれるんですが、自分の信念とか思想

## 快樂主義

### の人生を

の根本となるものがはつきり分らない  
ものが多いと思う。それがどこにある  
か、具体的にどんなものであり、どの  
ように生きていくか、それらの基準と  
なるものがなくつていようように思う。  
校長 そんなことはないだろう。その  
より大きな目的はだれでも持つとい  
うもんではないでしょう。本校生のう  
ちの五パーセント程の人はその素質を  
もっているようだ。しかしそれを持と  
うと思つても、持てるもんじやない。  
ある偶然の中で、ある時ひよつと開け  
た本だとか、道で考へついたことが、  
起因にたつて、人の為に、人生を苦勞  
のしどおしでも、その人は生き甲斐を  
感じると思う。そんな事は大学へ行つ  
ているうちに判ると思う。大学へ行く  
のにどちらでもいいという人はどちら  
へ行つても行ける人だろう。大学はこ  
の方面しか駄目だというのは、それし  
か行けないけれど、判らない人はどち  
らへでも行ける素質がある人だと思  
いますね。科学的にそうはつきり判るも

んじやない。だから新鮮な心もちで周  
囲をよく観察して進んでいよううちにど  
こへ行けばよいか判つてくると思う。  
堀北 話を元に戻して、高校生活の在  
り方として、現在の為のもの、将来  
の為の現在のものと、二つに分けられ  
ると思うが、それについて。  
金田 ぼくは両方とも否定したい。と  
いうのは本當の信念というものは一生  
に唯一つのものであつて、それは本人  
の自覚の問題だと思ふ。先程の将来の  
為に高校生活をもつということ、現在  
の為に高校生活も単なる欲望の問題だ  
と思ふんです。  
林 今言われた事は理想主義者の考え  
であつて、そういう人は自己中心主義  
に陥りやすい。社会の圧迫があつたよう  
な場合はどうするんですか。  
金田 自分にちやんとした信念があつ  
たらどんな困難を妨げがあつてもそん  
なものは問題ととらない。

校長 戦前は幸福追求が罪惡におもわ  
れて人前で口には出せなかつた。しか  
し戦後にそういう全体の流れが生れて  
個人主義が認められた。幸福追求が自

分だけの幸福を求めぬ事よりも、他人  
の幸福という事を考へて行けば、それ  
だけ高いものになると思ふ。

## 人生問題は

### ノ。タツチ

## 人間教育と入試勉強を

堀北 高校が予備校化しているとよく  
言われるが、その事に関して一つ。

校長 今よりも以前の生徒の方がよく  
勉強しようだよ。最初のころは北野  
かち優秀な人が多く来たからだと思  
うんだ。せつかく大学へはいりたいと  
いうのにはいれなかつたら困ると思  
つて、よく勉強するようになつてい  
つた。

そして今から四、五年まえのことだ  
と思ふが我々の考へ方が変わつて、そ  
の頃大学へはいれる人を見てみると、勉  
強したからはいつたというよりも人間  
的にしつかりした人が多くはいつた。  
だから大学へ入るのは、英、教が技術

的に高いというより、物の判断力、物

の考へ方が高い総合された人間の方が  
大きな要素であるとわかつた。まあそ  
れでやかましく勉強せよとはあまり云  
わなくなつた。そうしたら、その年あ  
たりから現役で入る人が少なくなつた。  
そうするとやはり、知的な技術的方面  
も、やかましくいつて勉強させねばな  
らんという事になつたが、それに並行  
させて人間教育もやつていこうと考へ  
た。たゞ試験勉強したからはいれるんじ  
やないと思ひますね。

鎌田 時間的に短かければ、それで予  
備校化をゆるめていふと思はれてい  
るよう、今の大手前生が、予備校と感  
じるのは心外だというふうな受けとれ  
るが、やはり現実に一、二年の人は感  
じていると思ふ。教科書内容がふつ  
つと、運動会も文化祭も他校並みで行  
かれていふからそれでよいと考へても  
現実に自治会をやつていふ人の中に真  
剣に退学を考へていふ人がいるんです。  
勉強量が減つたから予備校化がな  
つたという事ではないと思ふ。人生の  
問題に対して、学校の先生は、無責任  
を装つていて、真剣に感じていふ  
思ふ。たゞ機械的に勉強していたらそ  
れでいいというものではないんだ。

校長 予備校化という事は、学生の高  
校に対する心構えだと考へていふ。高

校は大学へはいるだけでなく、はいつてから後の基礎的な実力を持つという事ではなくてはならないと思う。

鎌田 特別教育活動の時間が足りないというのと、それに対して、カードを配り、いつ、どこで何をしたらかということを書かして、それで問題が解決されたかのように考えているのはおかしいと思う。

小泉 自分が入試という事を意識せずにも勉強していても、先生がそのように考えられないので、やはり予備校化という事が意識されてくると思います。

友清 予備校化といつても、大学へはいるための勉強と高校での勉強と変わりが無い。よく勉強していたら、それだけ大学入試におもむく率があがるという意味だともう、特別教育活動にしても個人の意志が少ないとおもう。学校の態度以外に、それをやつていくという意志が少くない人が多いからだ。堀内伸 教育政策というのに自覚が乏しいと思う。これら一連のことも源泉は

ある程度文部省にあると思う。生徒が自覚していれば、それでよいとの事だが、初期の段階において、物を考える基礎としての学校教育というものが重要だともう。

### 高校の予備校化

#### 化は問題外

全田 高校が予備校であるうと分かるうと僕たちには問題が言いわけです。我々の心の持ち方によつてそのよう事は変えていけると思う。

鎌田 それは、最終的才賦階においてであつて、いろんな環境条件が整つていけばそういうえるが、実際考えるべきは、もつと根本から考え直すこと。友清 しかし、自分自身の為高校生活をやつていこうと思えばやつていけると思うんです。大学入試ということも一応考えに入れて……。

の中で自分自身の高校生活を高校受験という圧迫を受けずにこの三年間過ごすという事、たゞ単なる各個人の精神力に期待するのはまちがつていっている。友清 現在そんな方に学校の方から、いわゆる大学受験一本槍という方針が打ち出されているのですか。

鎌田 いえそんな事はありません。今、授業をやつて三十四時間全部が本場に役立つという科目ばかりです。ところが皆大学受験が大事であると考えている。そういう意識に圧迫されているということが何々学校だけの責任であるとは僕は云つていません。たゞ社会のそういうた風潮の中で僕たちがいれられている。僕が一発で東大へ入つたら親は喜ぶし、二年も三年も浪人すれば親が泣く。だけど自分達で正しいと思つたことはやらんからんけれども、やはり僕達は外的条件に圧迫されやすいのです。それに耐えられるのは一部の人だけだと思います。現実

にそうでしょう。そういうた人達を勇気づけるのが教育のうちの学校の役目だと思ひます。

堀北 このより予備校化に対して、自治会の役割りといつたものは、堀内孝 自治会の役目とは、漠然としているが、一体それでは自治会がなれば学校がどのようになつているかとか考へると、やはり話し合いの場である旧制高校や中学校において行ないにくかつた事が才二次大戦と間接的にも結びついていると考へる。

現在の自治会がなければ、僕達はただ上からの圧力に対処する事が出来なくなり、予備校化ということは一皮と激しさを増すことになる。

### 間口を狭く 深い人生を

- 堀北 いろいろと話が出ましたが、結びとして校長先生の信念又は今後の生き方など、少しおうかしたいんすか。
- 校長 この年にあつて、さすがに人生に、愛惜の念を感じますね。これからとしては充実した毎日を送りたいと思ひます。昔に読んでいなかつた本を出してきて読んでいます。
- 唯、今になつて惜しいと思ひのは、間口を狭く勉強したので、人と話をするのは便利だけれど、深い問題になると判りませんよ。だから、これからは、ある事にしぼつて、その一つに強く力を入れて生きたいと、おもう。その事が、かえつて広く、立派な人間をつくる事だと思ひます。
- (十月二日収録)
- 佐藤校長
- 堀内孝修(自治会)  
金田博志(一ノ三)  
林正明(二ノ一)  
堀内伸行(二ノ二)  
板並厚子(二ノ七)  
田辺泰弘(二ノ八)  
小泉津瀨子(二ノ八)  
中下欣子(三ノ三)  
鎌田明彦(三ノ三)  
友清裕昭(三ノ七)  
司会 堀北哲也

## 城東興業株式会社

城東区今福中一〇四三  
TEL(931)-9618



# 高校生の平和運動と自治会の二重性格

我々高校生は二十才未満ではあるが、又十五才以上の勤労権利をもつ日本国民の一人でもある。筆者はこの観点に立ち教師の指導の限界を説き又自治会の本質を求明している。

鎌田明彦

## ○高校は義務教育でない

最近、原水禁運動、大高連などをめぐつて、生徒と学校側の間に意見の相違が生じ、自治会の本質、高校生の立場の解釈が問題と方っており、始業式の校長先生のお話の中に、これらに関する事が、でていたが、三年生の筆者が過去二年余の大手前生活で感じたこと、この際校長先生の考えに反論したいことをここに述べてみた。多少とも一、二年生の参考になれば幸いである。

高校は義務教育ではない。中学を卒業、就職か進学かの二つの中、後者を選択して積極的に知識を吸収し、思考力を練磨するために高校へ進学してきているのである。修道院か宗教団体へ入るように、全面的に魂を委託してきたの

ではない。とかく高校の先生は、選挙権がないの理由に二十才未満をひっくり返して、子供であると、きめつけられる傾向がある。二十才以上の人々と我々を区別されるのは当然だが、十五才未満の人とも区別する必要がある。なぜなら、我々には労働の権利が与えられている。賃金を自分でつけるとる権利、労働契約を自分でする権利が与えられている。我々の同じ年代の勤労少年は、労働条件改善の為に、最低賃金法制定要求にと闘っている。農村では、基地反対斗争に、農基法反対にと活躍している人が居る。そしてそれらは、国民の権利の行使として世に認められている。

## ○指導には限界がある

我々は高校生であると同時に、また十五才以上の日本国民の一人である。七月の臨時生徒総会で校長先生は、筆者の「青少年への指導の重要さは認めるが、憲法によつて我々は基本的な権利を与えられているから、教育者の指導という名に於てもこえることのできない限界があるのか」といふ名に於てもこえることのできない限界があるのか」といふ筆者の質問に、法的には、基本的な権利より特別権力関係が優先し、その限界は考えられない。という意味のことをおっしゃつた。我々は、被教育者としての立場では、所属教育機関の最高責任者である校長に、権利を依託するのは当然であるが、日本国民として我々の行動は、校内の風紀秩序を害さない限り、これは、校長と我々の特別権力関係の範囲外ではないか。もし高校生が結婚したからといって、退学させられたから、その校長は、如何に理由をつけようとも、世の非難は免れ得ないであろう。我々が二年生、三年生に進むに従つて、就職か進学かという事が問題になつてくる。進学するとすれば、理系か文科系か決め、志望校を選択せねばならぬ。こういう言葉を使うのは仰々しいが、自分の志望校を、自分が選択するのは、我々の権利である。模試の結果がわかれば担任の先生、あるいは進学指導係の先生に、志望校を何処にすればよいか相談に行く。決して許可を求めに行くのではない。先生は、いろいろの統計を持ち出して相談のつて下さる。それは教育をするもの、我々の健やかな成長に尽して下

さる人の我々へのサービスである。さきに、我々は世界の平和を願う気持ちから、原水禁大会へメッセージを送ることを決議した。それに関する自治会四役と、校長先生との会談は物別れに終わり、とうとう許可されなかつた。始業式の日、校長先生は、一今の世の中は複雑であつて様々の欺瞞、謀略がなされている。貴方がたの純粋な平和を願う気持ちが何者かに利用される恐れがある。よつて原水禁へメッセージを送るのを許可しなかつたと説明された。

我々の日本国民、あるいは人類の一員としての平和への行動に対して、そうすることが我々の人間的成長に好ましくないから、と判断されて、校長先生が、我々を説得しようとしたら、すかねに耳を傾けるのが、我々の当然とすべき態度である。しかし、それは、あく迄も校長先生の我々への忠告であり、サービスである筈だ。

## ○高校生の政治運動は合法

次に政治的行動をとつている団体に高校生が参加するのをとめないならば、教育基本法に違反すると、おつしやる人が居る。その人達が、ひきあいにだされるのは、才八条二項。それには次のように記されている。法律に定める学校は、特定の政党を支持し、又はこれに反対するための政治教育その他の活動をしてはならない。ここに言われている学校とは政治教育という語が使われていることからして

学校当局を指している。見るのが、当然である。教育者の態度を規制するものであつて、我々特定の教育団体と關係するより教育者が指導、せん勵するのを求めているのであつて我々が自主的にする行動は、この法律の適用範囲外である。

今の世の中で、我々高校生が平和を願う精神がいしは単純な気持ちのみを持つてして、平和運動に参加するならば、何者かに利用される可能性がないとは言えないだろう。それ故行動に入る前に、また入つてからも、充分を検討をしなければならぬ。それでも方を誤まちは狙う危険性が少ないとは言えない。後になつて後悔することもあろう。だれど、校長や担任の忠告を充分聞いた上で我々の判断から、それは校長の責任ではない。我々の志望校長がまちがつていたと、後で気づいても、それは担任の責任ではないと同様だ。単に誤まちは狙う危険性があるからといつてその行動を否定するのはまちがいだ。行動しやいのも誤まりであるかも知れない。後になつて、あの時の自分は行動の段階であつた。若人のみの持つてゐるエネルギーを祖國の平和と発展に使わなかつたのは誤まりだつたと、後悔をいとは限らない。冷静な中に、自分自身で的確な判断を下せるより指導して下さるのが、教育者の役目のだ。

○自治会は我々自身のもの、  
次に自治会の性格について考えてみよう。自治会は自主

性で、民主主義のカーネを維持するため、学校園の等々つくりられたものであるが、既に、それ以外の全生徒を含む団体が存在しない以上、我々の自発的集団としての性質もあわせて帯びるのが当然である。いいかえれば自治会は、教育課程の一部としての性質と、一般的な人間集団の性質、つまり大学の自治会と同じ性質も合わせもつてゐる。今迄の自治会は、この中の民主主義ゴッコとしての役目しか果していかかつた。その天下泰平からぬ、世の中に、自身達の歴史的使命を自覚し、一つの國民の集りとしての役割をも自治会にもたせ、さらに高校生という一つの階層が手を振りあつて、民主日本平和教育確保のために、立ち上がるよとする動きがでてきたのも当然の成り行きである。

自治会は、最初は、教育者の側で、我々に民主主義のルールを理解させるためにつくつたものであつても、出来上つた瞬間、自治会は我々のものである。もはや校長といえどもそれにワクをこしらえることは出来ない。大高連と校長は対決すべきではない。校長先生は、我々の行動の発展に協力し相談相手にあつて下さるべきである。

(かまたあきひと氏は現在三年で元会長、社研部に在籍中)

## 資本主義下の教育政策

戦後教育政策の変遷をとらえる

堀内伸行

### ◎資本主義と教育政策の対応

「教育政策とは、権力によつて支持された教育理念である」(教育行政学序説)という定義が正しい限り、権力の存在する世界に教育政策は必ず存在する。ことにその権力が近代社会におき、資本主義体制と結合してからは教育政策というものが顕著に見られるよになつた。

教育政策は権力の意図する政策のうちの一つにすぎない。それにも拘らず教育政策が重視されるのは、他の諸政策に比べて、教育という美名の下に行われ、かお且つ永續性があるという点によるのである。戦前の教育政策はこの点から見ると、全く見事に成功をおさめている。あへて失敗を挙げると、それは敗戦以外の何物でもない。その成功の程度は、「侵略戦争が敗戦に終るまでに一度たりとも国内に反乱が起こらなかつた」といふ事(持久戦論で証明される)。

終戦直後の日本はアメリカの占領軍に全権を握られていた。逆説的にいうと、この事実が日本の独占資本主義の将来を予言していたのである。アメリカは当初、日本の保守勢力、すなわち太平洋戦争を起した者を権威に恐れていた。それは、彼らがアメリカ帝国主義の繁栄にとつて障害となつたからに外ならない。彼らをおさえる為には何らかの民主的措置を必要としたが、その民主的措置は同時に又、アメリカ帝国主義の対日支配を可能にすべくしてなされたものである。

現行憲法が従来のもよりも、民主的といわれるのは前者のより点を包含しているからであり、「天皇の地位」等においてポツダム宣言を離脱しているのは後者によるものである。

このよりの、初期におけるマッカーサー占領政策が大きく転換し始めたのは昭和二十五年、つまり同年六月に始ま

つた朝鮮動乱を直接の動機としている。当時の共産主義の侵透にはめざましいものが見られる。日華事変以来地下運動を続けてきた中国共産党は一瞬のうちに蔣介石を中国本土から追い払い、さらに北鮮の独立にアメリカ帝国主義陣営と向い合つた。この難局に立つたアメリカは日本をアメリカの対共産圏基地に、日本を共産主義防衛の防波堤とすべく、日本の民主化政策の手直しを開始した。丁度このような段階でサンフランシスコ平和条約が調印され、日本国民が理由も判らずに喜んでいたりちに、安保条約が批准された。日本独占資本主義はアメリカ帝国主義の支配する新しい条件の下で再編成され、強化された。ふくれた零細農経営や中小企業を残しながら、アメリカの資本と技術をうけ入れ、巨額の国家資金を略奪し、「設備投資」「技術革新」「合理化」を行い対米従属の独占資本主義の特徴をつよめていきつつある。教育政策は必然的にそれに合致すべく変化させられていつた。この事は別の機会に述べる。

### ◎ 資本主義と技術教育

資本主義の生産以前には、普遍的な義務教育は必要とされなかつた。日本の工業の発達と、実業教育をふくむ学校教育の発達との関係は明白である。つまり工業発達にともなつて教育が技術面で規定されるという事は、工業の源泉たるところの資本主義によつても同様に規定されるといふ事を暗示している。この事は最近とくに切実に感じられる。

のである。その好例としては石油学院によつて代表されるところの社設学校がある。これは学校教育法その他の教育関係法にも規定されていないものであつて、入学を入社と名を置き替え、そして又、事実上、労働者の権利が認められ難いようになつてゐる。独占資本主義（特に国家独占資本主義以上の段階）は服従精神を労働者に要求する。彼らの要求する最上の段階はロボットのような人間であり、人間から人間性を取りのぞいた人間が必要なのである。

資本家の搾取によつて圧迫された大衆は、学費以上に収入があり、そして勉強ができるという魅力にひかれて自分の子供を、ふたたび、独占資本主義の手中に送りこむ。その中で彼らは独占主義にかつた教養をたゞきこまれ（勿論彼らには一般の労働者のような権利は与えられていない。彼らは生活費と教育の両面を独占資本家に握られてゐる）それを信じこまされ、全く彼らの思ひまゝに教育されていく。

### ◎ 資本主義と道徳教育

前述の、独占資本主義が服従精神を要求するという事を

説明しよう。古代社会における奴隷が独占資本主義における労働者であるといつても云いすぎではあるまい。彼ら搾取者にとつて大衆の階級意識の自覚は資本主義社会の壊滅を意味している。資本主義社会の存続は主にこの点にかか

つてくる。（社会主義革命の主体的条件）それ故に、又、マス・コミ等を通じて彼らは大衆の階級意識を別の方向へ持つていくように企てている。道徳教育も又、この域を出さ

ず。世間の親は子供が親の云うことをよく聞いてほしいと願つてゐる。そして、又、親は自分の子供に親孝行、礼儀作法等を要求する。家庭教育の発達していかい日本では、これら家庭で行われるべき教育をも学校に要求しがちである。このような要求をあたかも満足したかのようにして道徳教育が設置された。しかし、政府の望んでゐるのは、親孝行、行儀作法等と関連してゐるところの、天皇崇拜による確一主義・国家主義であり、独占資本主義に対応すべき服従精神に外ならない。一口に云えば、戦前の修身教育の復活である。道徳教育はいつ（今もそうであるが）露骨な資本家に握られるかも知れない。現状の道徳教育は文部省の学習指導要項によつて規定されている。学習指導要項は文部官僚によつて作製されるのであり、現在の文部官僚が反動主義者に占められてゐる事は明白な事実である。以上の点から見たら、文部省の教育政策の意図するところ

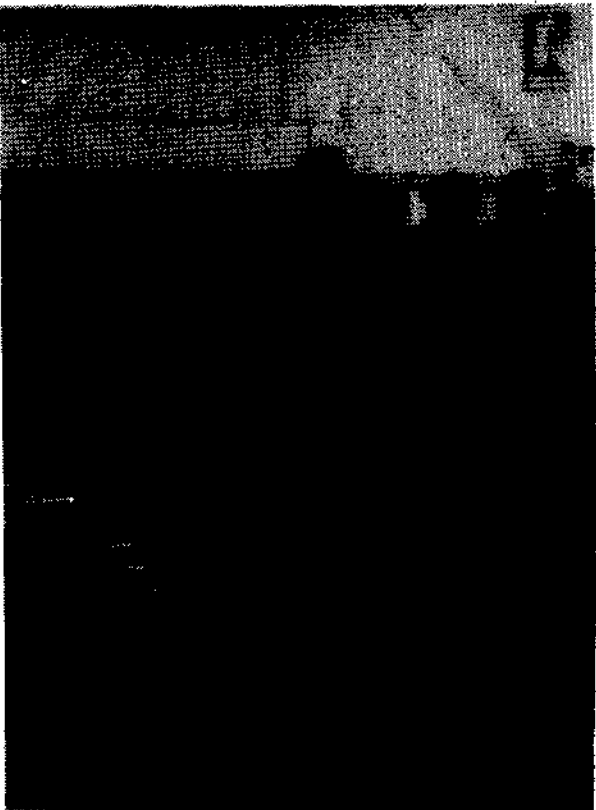
は明白とせらう。

### ◎ 一般の危機における教育

今まで述べてきたところの、教育政策の反動化、つまり金融資本（現状の）と国家権力との融合は教育面に限つても、まだまだ多くの事がらが見えてくる。一教育者からの赤色追放・勤評問題・教育委員会の公選制から任命制への切りかえ・教科書検定基準の政治色化・臨教問題・教育基本法と学習指導要項の不一致・教科書の無償配布（口定化の前奏曲）等々――

資本主義の終焉が切実に考えられる段階へ来た現在、その反動化は加速度的に走り、その弾圧は必至である。彼らの才一の道は、軍備の拡充―それは過剰生産と恐慌の回避方法であり、又、国内の動揺を対外問題に転化して、国内の革命運動をおさえ、はなれゆく植民地をつかぎとめる。『失地回復』の手段となる。しかしこれらも、資本主義の矛盾が深まつたことを示すに他ならない。

# 現代大手前生の全貌



現在の大手前生は「現在の高校生活」について、或いは「自分の将来」について、或いは「男女交際」についてどのように考え、又どのような本を好んで読み、そして趣味、娯楽としてどのような事をしていられるでしょうか。このような疑問を持つて、全校生徒の皆様を対象に調査の結果、次の述べるような結果を得ました。僕なら、私ならばこの問に対して、このように思うという答とこの調査の結果とを比較して、貴方は全校生徒の中で、どうい階層の中に属するかを考えながら読まれることを希望します。

## 多い技術者志望

### 将来の希望

将来どのような職業につきたいか？  
という問に対して

- 一 技術者 十九%
- 二 サラリーマン 十五%
- 三 医者 一〇%
- 四 電気関係 九%
- 五 教師 六%
- 六 商業デザイナー 四%
- 七 通訳 四%
- 八 建築士 四%
- 九 何の為に大学へ行くか？
- 一〇 一般教養を身につける 二八%
- 一一 二学 二四%
- 一二 専門知識をえるため 十六%

四 就職の為 十四%  
五 学問追求のため 一〇%  
六 親のため 五%  
七 友人のため 五%

これを見て判るように大手前生の大半の者が考えているのは、教養、技術を身につける為に行き、且つ学生生活をエンジョイして(あわよくば恋人を見つ)け、大学を卒業すると、一流会社に技術者ないしはサラリーマンとして入社し、変化は少ないが、安定した生活を送りたいと思つてゐる。現在の大手前生は現実的なのである。いや利巧なのかも知れない。自分の能力以上の野心を持たないという点において。また「大学はよき就職のためにあるもの」と割り切つてゐるのかも知れない。そして Love learning for itself の

「将来どの国へ行きたいか？」  
に対しては、全学年を通じてアメリカが飛びぬけて多い。アメリカで何をしたいかといえば、「資本主義体制を研究したい。」「留学したい。」「渡米して高い賃金で働き、金をもうけて、日本に帰つてのんびりと暮す。」という虫のよい願ひもある。

一年生は圧倒的にスイスが多い。「美しく平和に暮らしたい。」「永世中立国で平和に暮らしたい。」という願ひが多い。(中にはスイスの時計を密貿易して一もうけしたいというのもある)これは現在の緊張した世界の空気が

将来行きたい国

	1年	2年	3年	総計
アメリカ	19%	14%	20%	19%
スイス	20	9	20	13
ドイツ	4	11	4	7
イギリス	5	7	10	6
ソ連	4	9	7	6
フランス	7	5	12	5
イタリア	5	3	7	4
インド	0	8	2	4
オーストリア	5	3	4	4
中 共	3	3	4	3
エチオピア	4	3	2	3
その他	2R	25	25	27

(注 各学年の回収率は等しくない)

## 趣味の変態・猛勉強！

みられない歴史の古さにあこがれを持  
つていようだ。しかし彼らは現実の  
東西ドイツの問題をどのように見てい  
るのであろう。

であり、二年が学問追求、三年になる  
とより現実的な楽しみを求めるとい  
ふに学年によつて、判つきりと区別  
出来る。又今度の調査で、  
ととか、未開地の探訪、  
など最近のレジヤブームを反映し  
てか、或いは、何でも見てやろう、的  
ムードのものが多くみられた。

このようにみてくると一年が夢想的

### 余暇について

に対する逃避的な日本人の気風を端的  
に物語っているようだ。(才三次大戦  
のボツ発はスイスをも巻きこむのであ  
るが)

二年はドイツ志望が多い。「ゲート  
を突地に学びたい。」とか「思想の探  
究」等、アメリカに対すると違つた、  
ドイツを学問の殿堂とし、アメリカに

趣味で最も多いのが音楽(歌をうた  
うこと・ウクレレ・ピアノ・レコード  
鑑賞)で、約四十八%で半分、続いて  
スポーツ(テニス・野球・相撲・卓球  
バレー・サイクリング・釣り・登山・  
柔道)が四十七%近く。その他に、絵  
画鑑賞・写真・手芸・海外交通・絵ハ

ガキ・切手収集・読書等がつづいてい  
る。変わったところでは模型飛行機の  
制作という単純なことから、植物の育成  
家庭機械の修理という親孝行、短歌と  
答えた風流人、パズルというチャッカ  
リ屋(懸賞付き?)果ては昼寝から勉  
強などと両極端まで出てきた。  
趣味に猛勉強と答えた人など毎日の  
生活の大半が趣味に過されるのである  
から、まづたく幸福な話で、うらやま

しい限り、

殆んど全てが、スポーツ、芸術方面に  
趣味を持つているが、それらは、学校  
のクラブ活動という形をとらず、個人  
的な枠の中でのものとなつてゐる。

その結果、クラブ活動に活潑性を欠  
いて、熱情を注いでやる者も少ないよ  
うだ。

これらのことから、大手前生の協  
調性が欠けていることに一因するが、  
一方、適当な程度々における温健な趣  
味ということを目的としており、それ  
で、うまく校風、現実の社会にマツチ  
させている。

娯楽は映画、テレビがその六十五パ  
ーセントを占めている。このうちでも  
手近で、気軽なテレビが受けているの  
は、社会全般と同じ傾向を持つてゐる  
その他読書(推理小説)、新聞を隅か  
ら隅まで読むことや、雑談(?)、散  
歩、音楽、将棋、ラジオ、トランプ、  
五目ならべ、スポーツ(卓球、ハイキ

ング、ビリヤード)等が流れている。

楽に種に百貨店のオモチャ売場をブ  
ラつくというのがあつた。現代世相を  
一番鋭敏に反映するのが子供のオモチ  
ヤ(大人のオモチヤ)とのこと。社会  
心理を探究するのか、幼い頃に対する  
一種はかない憧憬を持つてゐるのか、  
傍で見ていてほゝえましい感じ。

## よく読まれるトルストイ

### 読書について

本校大手前生の好きな作家、詩人、  
その作品は各表に示すとおり。  
外国作家のベスト・十は才一表のよ  
うになつてゐる。

トルストイが才一位にあり、その他の  
作家もベスト・十にのるのが当然とい  
つたものばかりで、世間が一般的に認  
めたものである。

ローラン・ヘッセ、シエークスピア、  
ミツチエル等のは高校生向きとする浪  
漫の精神が好まれてゐる傾向がうかが  
える。ユーゴーはかの一代の名作で一  
躍二位に進んでいるが、一年生が圧倒  
的で三年生が一人もいないというのは  
何を意味しているのだろうか。

又これを学年別に見ると、一年の五  
位にコナン・ドイルが入つただけで、  
あとは皆才一表に見える作家ばかりで  
ある。

作家（外国）ベストテン（I）

順位	作家名	国名	1年	2年	3年	計
1	トルストイ	ソ	16	8	1	25
2	ピクトル、ユーゴ	仏	14	4	0	18
3	シエークスピア	英	8	5	2	15
3	ロマン、ローラン	仏	7	4	4	15
5	モーパッサン	仏	6	5	3	14
5	ヘルマン、ヘッセ	独	2	6	6	14
7	ドストエフスキー	ソ	4	6	1	11
7	ミツチエルク	米	5	4	2	11
7	パール、パツク	米	4	5	2	11
10	ヘミングウェイ	米	4	6	0	10

作品（外国）ベストテン（II）

順位	作品名	国名	1年	2年	3年	計
1	戦争と平和	ソ	16	4	0	20
2	風と共に去りぬ	米	8	10	1	19
3	大罪	仏	5	6	2	13
4	ジャン・クリストフ	仏	6	5	1	12
4	レ・ミゼラブル	仏	3	7	2	12
6	車輪	独	7	1	0	8
6	嵐	米	2	2	4	8
8	狭き道	仏	5	1	1	7
9	武器よさらば	米	2	4	0	6
9			3	3	0	6

次にどんな書物に多く親しんでいるのだろうか。オI表をみると、作家で一位のトルストイの作品が戦争と平和がわずかながらミツチエルの風と共に去りぬを上まわつて才一位に座している。しかしこの作品は一年生に圧倒的に多く、三年生に皆無なのはうなずけない結果となつてゐる。こ

のような長篇大作には親しむ時間がないうように見える。風とともに去りぬがその作者ミツチエル票より多くの票をかせいで才二位にあるのは多分に近來封切された映画の影響だと思われる。中学校等でよく推選される。車輪の下が平均に三年生迄読まれてゐるの

は昔からの愛読書となつてゐるらしい才八位、才九位の嵐ヶ丘、狭き門の作者エミリー・ブロンテ、アンドレ・ジイドの名がオI表には見られない。ジイドはアンケートの結果では十一位でまだしもうなずけるが、エミリー・ブロンテの嵐ヶ丘は作者が見られない。本だけが特別に好きだというわけか。

オI表に三位、五位のシエークスピア、モーパッサンの作品がこのオI表にはない。ハムレット、女の一生はあまり読者が少ないようであり、その反対に名前だけは日ごろからよく聞かされてゐると解釈できる。国別に見ると、まず仏文学が群を抜き、米、ソ、英、独の順となつてゐる。

アンケートの結果には、怪盗ルパン、シャーロック・ホームズ、黄金虫などわずかながら軽い読み物があり、異色としては、資本論、共産党宣言、ロシア革命史、等一連のものがあった。

作品（日本）ベストテン（V）

順位	作品名	1年	2年	3年	計
1	破坊次	10	10	0	20
2	ちや郎実氏	10	6	1	17
3	重	3	7	2	12
4	五友	7	2	1	10
5	竹路	1	4	3	8
6	風	3	3	1	7
6	愛	3	2	0	7
6		3	5	1	7
9		3	2	0	5
9		0	4	1	5
9		0	5	0	5

詩人のアンケート結果はどうであらう。オI表を見てみると、一ノ四位はドイツ、五ノ七位までがイギリスと大きく分けられていて又、ゲーテ、ヘッセ、ブツセの三人が圧倒的な愛読者層を持つてゐることがわかる。こゝで気づくのは、カール・ブツセで、その詩集などは街頭でも余り見うけられないし、文学史にも著名な詩人ではない。

これを見るに、おそらく上田敏の名に由来するもの、山のあなただの空速く唯一の詩で、多くの愛好者を生んだのであろう。一年生に多いのもうなずけるし、ブツセの本校での人気は結局上田敏におうと多く、その意味では上田敏の票にもとれるわけなのだ。ヴェルレーヌ、ボードレールの仏詩人李白等の漢詩を好む人が少なくなつてゐる。キーツやシェリーをしてバインズのみられないのも意外である。その反対にアンケート解答中に古代ギリシヤの詩人、ホラティウス、オヴイデイウスの名がみられ、愛好する詩の範囲の広い人も見られた。

### 人気がない

### 戦後文学

### 日本文学

日本文学の中でも、明治以来の古典が幅をきかせてゐる。しかしその中へ現代の大衆文学が除々にではあるが、

本校生の読書欄の中へくい込んでゐるようである。本校生の好む純文学作家が大衆文学作家三十二対三十四となつていて、作家の比では大衆文学作家の名が純文学作家をおさえつてゐる。それでは純文学と大衆文学の比はどうであらうか。その愛読書で純文学と見られるものと比は二百五対六十三で純文学が多い結果になつてゐる。オI表に作家・オV表に作品のベスト・10を載せてある。大手前生の愛読作家は、外国文学と同じく、ベスト・10上位を大家でしめており、水上瀧、石原慎太郎、大江健三郎等の戦後の鋭さを、持つたものには、あまり読まれていないようである。彼等現代新鋭作家はわずかに才十位に留まつてゐる。大衆作家の躍進は今後、マス・コミの波に乗じて、日本の文学界を一変していく事にならうが、今回のアンケートではそれほど表面

詩人（外国）ベスト7 (Ⅲ)

順位	詩人名	国名	1年	2年	3年	計
1	ゲーテ	独	17	7	5	29
2	ヘルマン・ヘッセ	独	22	4	1	27
3	カール・ブツセ	独	21	5	0	26
4	ハイネ	独	5	5	0	10
5	ブラウニング	英	4	5	0	9
6	バイロン	英	0	6	2	8
7	ワーズワース	英	0	3	0	3

作家（日本）ベストテン (Ⅳ)

作家名	学年	1年	2年	3年	計
石川三郎	1	23	13	2	38
芥川龍之介	2	14	12	2	28
武者小路實篤	3	12	6	0	18
山田武志	4	5	10	2	17
志島直	5	5	7	3	15
森川康	6	5	7	2	14
川崎端	7	9	2	1	12
石川龍雄	8	7	2	2	11
堀原	9	4	5	0	9
水原	10	0	4	2	6
	10	5	0	3	6
	10	5	0	1	6

五十五対十一だった。

又山本有三の「真実一路」が才四位で、路傍の石が才九位で、ベスト・十中二つの作品がみられる。

竜之介、直哉、鷗外、康成、洋次郎、慎太郎、水上勉の作品はV表に出ている。その反対に有三、湖人の小説が出ているが、これらは大体中学生向きの小説とされており、中学の印象が残っているであろう。

古典文学として、源氏物語が才五位に上っている。

\*\*\*\*

内外両文学を通じて云えることは、本校生は著名作家、つまり既成大家の代表的作品を多く読むようである。又理智的文学というものが他のものをおさえた感がある。

新しい傾向の文学の波が押しよせてくる時、それを正しく理解出来るという事は我々にとってむづかしい事である。

に出ていなかった。

又本校生の中では、推理作家中、水上勉の方が、松本清張より一段と人気が高いことが分る。

瀧石の人気の盛さは今さらながら痛感される。

アンケートの結果、菊地寛に人気が乏しい事、随筆家の作品を本校生はあ

まり読んでいないのか、それとも重要視していないのか、とにかくあまり多く見られなかった。プロレタリア文学中小林多喜一、徳永直、葉山嘉樹がみられる。

中には、江戸時代の十返舎一九、滝沢馬琴、鶴屋南北等の作家もみられる。全般的に男性作家と女性作家の比は

る。このことは文学だけでなく他の哲学、自然科学等の専門的書物の読書法とも関連するが、しかし新しいものに

## 恥かし屋の男生徒

### 男女交際について

①「異性の生徒に近づきにくく何となく圧迫されるように感じますか？」に

	男子	女子
感じる	四四%	十七%
感じない	三三%	五八%
判らぬ	二三%	二五%

となつていて男子に非常に多くいる事が判つた。一般に男子は特定の女性にだけ親しくなりやすいのではなからうか。又異性に話しかける際にも「恥かし」ということが先に頭にきて赤面したり、何も言えなくなつたりする男

子が割に多い。女子はある程度、異性

の友を持つている事を見てもらいたいの。という意識があるのではなからうか

②「異性の生徒を意識しすぎて気づまりだと思ふことがありますか？」に

	男子	女子
思う	三三%	一五%
思わない	四八%	六五%

となつており、やはり男子には特定の女子だけに親しむ傾向が強いからだろうか。

### 中学の頃の方が

③「中学の頃の方が円満に異性と付き合ひが出来たと思ふか？」に

	男子	女子
できる	三〇%	一五%
できない	三四%	四九%
判らぬ	三六%	三六%

こゝでもやはり男子に「テレビ屋」の恥かしがりが多いが、しかし又日本の男女交際の在り方にも問題があるのではなからうか。

「なし」つまり「判らない」人が多いのは、どちらとも言えないのだろう。双方にも良かった面がある。

④「異性の同級生と平気で話をしたり遊んだりできるか？」



「判らな」という中には経験して いない者がいるようだ。

# 強くなつた戦後の女性

⑤ 異性の生徒には思うことを言えな  
い感じを持つたことがあるか？」とい  
う質問に対しては、男子、女子がそれ  
ぞれ六十四名、四十名経験している。  
これも前問と共通した特徴がみられる  
が、女子が少さいのは戦後女性が強く  
なつた（くつ下以上に）ことを示して  
いるのだから。

⑥ 用事があつても異性に話しかける  
ことが出来ないか？」に対して、

男子	女子
出来る 七四名	九七名
出来ない 二六	三

となつており、男子の中には、二十六  
名もの人が出来ない。用事があつても  
それを告げることが出来なかつたらど

りするのだろうか？それこそ情ない話  
である。

⑦ 異性に平気で挨拶が出来るか？」

⑧ 異性の級友にあつても知らぬふり  
をして、挨拶をしないう事が多いか？」

これら二つは大体同じより結果であ  
り、挨拶する人が男子三十三名、女子  
三十名で挨拶しない人の方が多し。よ  
くある事で、こちらが挨拶しよるかど  
も思つていても相手知らぬふりをして  
いると、結局、挨拶せずに終つてしま  
う事がある。又挨拶してよいものかど  
うか迷う時がよくある。それで結局し  
ないのは方かろうか。

⑨ 異性にも同性の人々と同じように

切か事をしてやりたいと思ひるか？」に  
対しては、

男子	女子
やりたい 五二名	五二名
やりたくな 一〇	一四
何とも思わぬ 三八	三四

であり、「やりたくな」者が思ひの  
外に多い。女子の方が男子より少し多  
くなつてゐる。

## 異性には わざと知らぬ顔

⑩ 異性生徒が困つていても知らぬ顔を  
する事が多いか？」に対し

男子	女子
知らぬ顔 一一名	二名
をしな 三	三

となつており、知らぬ顔をする事が時  
々ある者が多い。知らぬ顔をするのは  
日本人の一つの欠点ではなからうか。  
学校だけではなく、何処でも、誰にでも

困つてゐる時には互いに助け合いたい  
ものである。

⑪ 共学である為に勉強の能率に助け  
があると思ひか？」に対して、男子、女  
子それぞれ、二十五名、八名が助けに  
なると意識しているが、必要以上に意  
識しているのではなからうか。

⑫ 同性だけのクラスをやらやましく  
思ひか？」に対して「思ひ」のが男子  
十一名、女子四名である。男子の中に  
は女子がわずらわしいからだろうか。

⑬ 共学である為に異性から悪い影響を  
受けたと思ひか？」に対し、

男子	女子
思ひ 一六名	三名
思わな 六四	八七
分らない 二〇	一〇

となつてゐる。

⑭ 男か女か駄目だとか、女のくせに  
とつたよきな感じを異性から受ける  
か？」に対して

男子	女子
受ける 三九名	一六名
受けな 六一	八四

男子の三十九名が「女のくせに……」  
と感じている。この言葉はいろんか事  
を含んでいるだろうが、もつと女らし  
くしてほしいといふことは言えるだろ  
う。男か女かだめだ。と感じている女  
子も十六名もいるから、男子も頭に一  
応入れておかねばなるまい。

⑮ 同性より異性の方が信用できるか？」

⑯ 男女生徒は対立してると思ひか？」

これは「思ひ」が男子八名、女子四名  
あとは「思わな」と「わからな」  
これについてあまり質問がなさを  
である。他校よりも（他校へ行つてみ  
ないとわからな）本校は男女の中  
が円満だぞらだ。

# 男女の仲は円満？

とどう思ひますか。

⑰ 男女の生徒が仲良くしているのを見  
るとどう思ひますか。

⑱ に対して「腹が立つ」が男子五六  
名、女子四八名。「良いことだ」が男  
子九名のみ。「かんとお思わな」が  
男子二三名、女子四三名。他は解答な  
し。●良いことだ。という人はどう考



えてその思ひのか理解に苦しむ。⑩に  
対しては経験者が男子二十七%、女子  
が十五%。どのようか思ひか想像し  
て見るしかしよるがな。

⑪ 異性の友人と楽しい学校生活を  
したいと思ひか？  
男子 女子  
思ひ 七九% 八三%



⑫ 異性の生徒ともつと積極的に付き  
あひたいと思ひか？  
男子 女子  
思ひ 六〇% 五二%

⑬ 異性の友人と楽しい学校生活を  
したいと思ひか？  
男子 女子  
思ひ 七九% 八三%

異性とともに楽しい学校生活を送りた  
いと思ひ人は女子の方に多いが、積極  
的に付き合いたいという人は男子の方  
が多い。お互いに協力しあつてこそ楽  
しくなるのではあからうか。

## 非常に多い尊敬者なし

### 尊敬する人物

まず現代の人々については、シユワ  
イツァー博士、ネール首相、湯川秀樹  
博士等が多く妥当な線とみられるが岸  
元首相が多かつたのは以前安保のさわ  
ぎがあつただけにちよつと以外だつた  
もつともこの四人の人にしても全体の  
パーセンテージはシユワイツァー博士  
で十一パーセント強であり、岸元首相  
に至つては四パーセント弱であるので

ムである程度もち上げられた人が殆ん  
ど大部分である。それをさつきのこと  
とともに考へると大きな問題があるの  
ではなからうか。

さて次に過去の人々の方へはこ  
うでもやはり尊敬する人がいないと  
いうのが三十パーセント弱である。し  
かしこゝでは現代の人と違つて、あ  
ゆる分野の人が顔を出している。  
音楽家のベートーベン、トスカニー  
ニ、文学者の宮沢賢二、ゲーテ政治家  
ではヒットラー、豊臣秀吉、家康その  
他科学者、宗教学、思想家、軍人など  
本当にさまざまなものである。

しかしこゝでもやはり、殆んど大部  
分が学校の教科書に載つてゐる人であ  
る。

さてこのアンケート(資料は不充  
分であるが)を通じてうかゞえることは  
私達の相当多数のものが、こういう理  
想像を持たないということ、これは  
大きな原因がひそんでゐるように思  
える。巧利主義のためかも知れない。又  
無知なのかも知れない。ポイズピア  
ムビシヤスといふことばももう一度考  
えてみてほしい。

この問題はいつか掘りさげてみたら  
面白いだろう。次に、わたしたちの生

活というものの、先理のべた、ジャ  
ナリズムの占める位置の大きさである。  
これら二つの問題はやがていつか考  
へるべきものであり真剣にとり組む問題  
だと思ふ。

### アルバイトについて

夏休み等に、旅行へ行こうと思つと  
き先ず心にかぶのは資金の面であ  
う。このような場合はある程度まとま  
つた金が必要となり、そのようなもの  
は主にアルバイトによるのが多いので  
はなからうか。

大手前生の何人程がアルバイトを体  
験してゐるのだろうか。アンケートの  
資料ではつきりつかぬが、およ  
よそクラスの大九・五人が経験して  
いる。そのうちでも一回だけの者もい  
るし数回経験してゐる者もいるが、四  
十五%が一回だけで二・三回が二十%

### 尊敬する人物

現代の人物		
シユワイツァー		11.1%
ネール		7.2
湯川秀樹		3.7
岸元		3.7
その他		40.7
その他		33.3

歴史上の人物		
子康		6.8%
徳川家		5.1
徳川秀吉		5.1
豊臣秀		3.4
リカー		3.4
クララ・シユベ		3.4
その他		44.2
その他		28.8

四、六回が十五多となつてゐる。特別な者は毎年している者もあり、又一年中とあつてやつてゐる者もいる。

アルバイトの種類は労働関係のものが多く、そのうち、配達・運搬が殆んどで雑役、倉庫管理となつてゐる。その次は販売、家庭教師となつてゐる。

この家庭教師をのぞいては、あまり知能的要素の必要とするアルバイトは少く、わずかに、机上の仕事として、カード整理、又調査等がみられる。変りだねとして、山小屋監理がある。

販売とあるうちには、家の商売を手伝う程度のもも混つており、その成果として、報酬を受けるのだが、金をかせぐにはよい方法であらう。

アルバイトの期間はだいたいが季節的なものであり、春、夏、冬の学校の休暇を利用してやるというのが多く、

### 目的は旅行の資金かせぎ

アルバイトの期間はだいたいが季節的なものであり、春、夏、冬の学校の休暇を利用してやるというのが多く、

又、そのうちでも夏季が一番多くなつてゐる。これは比較的休暇が長く、(勿論補習が半分あるが)その間を縫つてやろうという事になる。又登山、旅行に最適でもあるのが、その資金かせぎの点で夏休みにより多く行なわれてゐる。家庭教師は季節と関係なくその点、旅行などが対象とならないわけである。

アルバイトの職を得たルートの主たるものは、家庭であり、つまりつて々によるアルバイトである。才二番目が友人からの紹介で、これもある程度クコネである。そして当然の結果学校、相談所からの紹介というのは、ごく少く、先輩、中学校の紹介がみられるが一部からは、学校もアルバイトの斡旋をせよ々という意見があつた。

季節的なアルバイトは殆んどが十日二十日の間の期限だが、そのうちの一日にして、平均いか程の報酬を得られるのであるか。そのうちの殆んどは三百円、四百円のあいだである。

又、アルバイトに、収入、収入外の目的のいづれも持たず、唯好奇心でやると、そのようにアルバイトをやつた結果、自分自身に、アルバイトをする事において何らか、プラスとおもわれる影響をうけたか、あるいはマイナスであつたか、大きな問題なのであるが、

高まつた々、金の有難さがわかつた々々、忍耐力が出来た々々、労働の有難さが判つた々々、規則正しくなつた々々、直接のプラスより、自分の心の中や、行動においてプラスになつたというもので、マイナスの答えとしては、時間間がなくなる々々、身体がつかれて、他の事が出来ない々々等があげられてゐる。実際、一日の七、八時間を取られてその間中働らくのであるから非常に疲れるわけであり、大いに問題となるであろうが、しかしアルバイト自身は健全な実社会活動であり、それを否定してしまふのは間違ひであらう。

(但し八時間)又特殊な場合、一日千円というところもあるが、これは時間どおりにいかないようであつて、特殊な段階である。

これらのアルバイトが何の為のものであるかは、大いに意見の分れるところであろう。直接に収入だけが目的であるというのと収入以外の事に目的があるのと二つに区別されるが、アルバイトをする者は、その両方を考えてやつてゐるようである。前者の場合でも、小づかいかせぎ々々、旅行々々、等が多く、生活費々々、授業料々々というものは少い。このことは現在の学生の考え方などと一致する点が多く、面白い現象とおもわれる。又後者の場合でも、技術の修研というよりは、余暇を有意義に、社会に参与したいという方が多く、この事は、我々高校生が、社会の中にいいても、まともな仕事が出来て、社会の信頼というものを求めてゐる姿を端的に表現してゐる。

## 予備校化の傾向大

### 本校に入つて

高校に入つて先ず考えることは勉強の事であり、入学当初は一種あこがれと不安の入り混つた感情を体験し、それが年と共に変化していくのである。

### 他校と比較して勉強量が多いか?

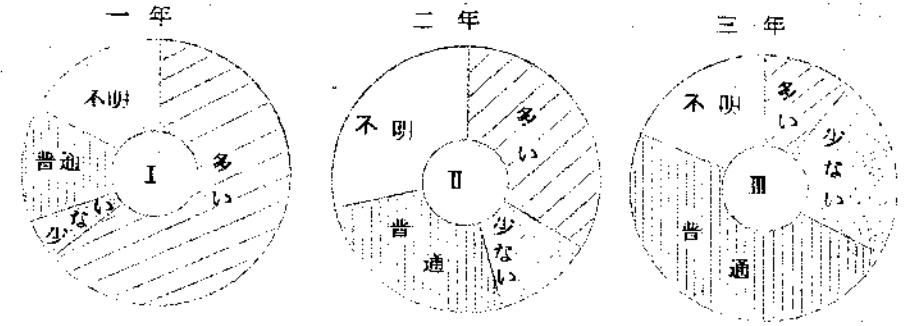
1	多い	67	3	11	18
2	少し	31	14	27	27
3	普通	11	19	48	22
4	不明				

## 新光布帛株式会社

東 区 高 麗 橋 詰 13

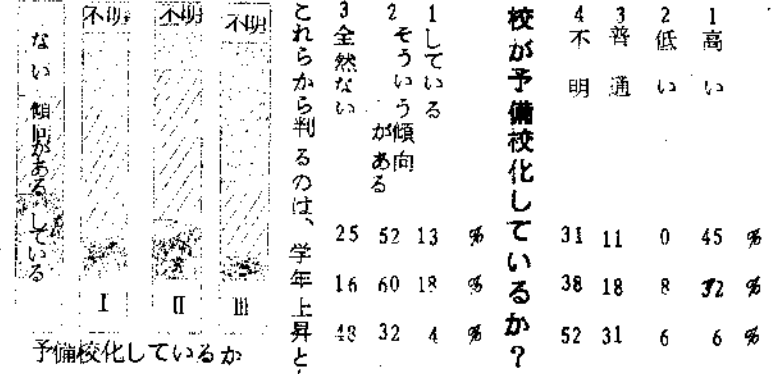
74 - 2105  
94 - 479

表(1)



勉強量が多いと思うか

表(2)



予備校化しているか

これを見ると一年に勉強量の多い事もに学校の指導にも慣れ、又大学入試が意識され学年を経るに減少している。を上にかえて、勉強が多いとか少ないの反対少ない又は普通が増している。いとか云つていられないようになって勉強程度が他校と比べて高いか？ くるからである。

本校が予備校化しているか？

1 高い 45% 2 低い 32% 3 普通 16% 4 不明 7%

不活発なクラブ

運動系のクラブ活動を どうおもうか？

活発だ	9%
不活発だ	11%
普通程度	8%
不明	8%

これは、全生徒の何%がクラブに参加しているかどうかは不明であるが、一般的に誰もが大手前のクラブが不活発だと考えている。これは運動系クラブのみを対象としたのであるが文化系

にしても同じような結果になる。

しかしこれに対処すべき答は出てない。運動系クラブでは、活動が単調な練習であり、その間に息抜きを見い出して、半年も我慢すれば、他方が思うように、つまらないように思わすその中に楽しみを見い出す者が多いよう、二年三年となるにしたがつて不活発という数は少なくなっている。このことが、文化系クラブにも通ずるかどうかはうたがわしいようだ。現状はどのクラブも活気に乏しいようで、これは、文化系に人材が集まらない事に原因しているようである。なぜならば、同じ面白くないのであれば、運動をして暴れていた方が気分が晴れてうさもフツ飛ぶ。といった意見の者が多い。大手前生は友人の問題をどのように考えているのだろうか。

自分の問題を相談出来る

友人を持つているか？

そのような友人がいる 39% 27% 43%

いらない

1年 39% 2年 29% 3年 31%

という事でほぼ半々ずつ。

高校生活で眞の友情を感じとれるか？

感じとれる	11%
感じとれない	71%

結局、自分の問題を相談出来る友人はいるが、眞の友情を感じとれないということになる。

意義はクラブ活動

本校に入つて高校生活の意義をどこに感じているのだろうか。多い順に上げていくと、

- 1、クラブ活動
- 2、勉強
- 3、食堂
- 4、スポーツ
- 5、友人

6、学問

といったぐあい。しかしクラブ活動が低調で、勉強がつまらないこと、食費が値上り、友人が少ないとなるとどうなるのだろうか。

しかし、人間必ず安住の世界を作り出す。三年も居れば自然と自分なりの型が出来て、今度はそれをききな

ばならなくなってくる。アンケートの答のうち「討論会」「プール」「自分を愛する事」「男女交際」等がふられた。

**本校の施設、教師に対する意見**

では、本校の施設が古くてきたない。運動場が狭い、食堂が狭い、部室がきたなくて不完備、予算を増やせ、蚊が多い、カサおきを

高校生活は楽しいか

1年	楽しい	普通	不満
2年	楽しい	普通	不満
3年	楽しい	普通	不満

作れ等、ありとあらゆる文句、注目が並べたてゝある。しかも、それらは全ての者が体験してそう願うものであり、又可能性の少ない事ばかりである。

**教師に対して**

保守的であり、既成の事柄に膠着する、事勿れ主義が多い、つまらな

1年	満足	不満
2年	満足	不満
3年	満足	不満

高校生活に満足しているか

中には、教師は真剣に我々の事を考えていてくれない、だから、相談相手にもなってもらいたいといつた意見もきかれる。つまり、殆どの生徒は学校に対して、ある要求をもつてお

い事に一々口を出り、それは不満となつて、下でくすぶす、教育に対してろに存しているようだ。いかに教師と不熱心、形式的、気に入らない教師の雰囲気、なじみにくい、等の不満や、すばらしい先生も中にはいる、生徒と教師との情をなくしたい等の意見も見られる。これらの事を要約すれば、きたなくて狭い校舎の中で、古い先生方が

右のようになる。

**高校生活は楽しいかどうかを**

1年	67	32	%	1年	53	24	20	%
2年	68	30	%	2年	54	7	39	%
3年	59	17	%	3年	20	23	40	%

満足している  
不満だ



なつてはいるが、やはり不満はたえぬということになる。

**楽しい理由を上げると**

- 一 クラブ活動
- 二 勉強ができる
- 三 毎日が忙しい
- 四 友人がいる
- 五 たゞ何となく
- 六 その他

又満足できない理由を上げてみると

**雰囲気が悪い**

- 一 勉強が多い
- 二 周囲の事が気になる
- 三 クラブが不活潑
- 四 思うことが出来ない
- 五 時間がない
- 六 何となく
- 七 等が主なものである。

結局、大手前に入つて、だれもが感じるのは大学への為の重苦しい空気であり、二年三年とするうちに慣れてきてその中で自分自身の位置を見出し、一おう落ちついて高校生活をたのしむ段階に入るが、しかしそれでも種々の不満は残るのであり、それらは現実には、今すぐ解決できにくいような物ばかりなのである。そこである程度現実におさえられて、妥協するのだ。アンケートをみると、適当に息抜きを入れて、現実の問題をはぐらかしているのが大勢である。

**中林商事株式会社**

東区内本町 1-23

☎ 1857    ☎ 2203    ☎ 3344

## 昔懐しい思い出

### —先生の高校時代—

私達の先生方にもかつて私達と同じような生活があつたはず。その遠い学生時代と、今感じられている事をこのスプリングオ二号発行にあつて綴つていたゞいたのが下の文である。このよき文によつて諸君が少しでも先生方との触れ合いを感じ取られるとすれば幸いである。

## 独逸語・英語・国語

吉永孝雄

高校時代と言つても廿幾年前、独逸語の時間シュトルムの「インメン湖」を習つた。筋をかいつまんで話すと、独身、孤独の老主人公ラインハルトが散歩から帰つて自分の部屋で疲れを休めている。何時じか夕闇が濃くなつて月

光が窓越しに壁にかけた肖像面を照らす。「エリザベート」と老人は囁く。と同時にその肖像はゆらゆらとくずれて、波がひろがりその湖の上に、水蓮の花が咲く。老人の心は少年の昔に返る。牧歌的な幸福を子供時代の二人のイチゴ狩りの思い出が生き生きとよみがえる。やがてラインハルトは大学生となり故郷を離れる。彼女との手紙のやりとり楽しい休暇。そのうちラインハルトは研究で忙しい日を送り、彼女への便りも途絶え勝ちになる。エリザベートは遂に彼の友人の金持のエーリッヒと結婚する。数年経つたある日ラインハルトはエーリッヒの招待をうけインメン湖畔の別荘に行く。かつての恋人同士の再会。この描写が素晴らしい。一あの青い山かけに私達の青春時代はある。あの時代は今何処に行つてしまつたのだから。「ラインハルトの言葉にエリザベートは黙つている。一緒にボートを漕ぐ。舟べりに置かれた彼女の白い手は顔にはそれと見せぬ胸のひそかき思いを物語つていた。彼女は自分の手にそよがれた彼の視線を感じるとそつとその手を水の中にすべらす。ラインハルトはその夕方一人湖畔を逍遙する。夕闇の中の湖心の水蓮を見て服を脱いで抜手をきつて泳ぎ出す。なかなか水蓮の所に届かない。やつと泳ぎついて取るどと手を伸ばす。月光で水滴がきらきらと輝く。急に水蓮の莖が体にまきつきこころと寄つてくる。ラインハルトは恐ろしくなつて岸へ引き返す。翌朝誰も起きてこぬ先にそつと別荘を出

る。振り返ると窓辺にエリザベートが立つて見送つている。おられたりした。外国小説に較べると国語の時間の源氏物場面は再びもとの老人の部屋に戻る。このロマンチックな物語に心惹かれてシュトルムの他の作品を読もうと、丸善に行つたが僅か一年足らずの独逸語の力では歯が立ちそうもなかつたのでやめた。

## 精神一到

### 何事かならざらむ

それから英語の時間にコンラッドの「ピコズ、オブ、ザ、ダラーズ」を習つた。日野月先生だつた。文中の「ドウ、オア、ダイ、ジュディア」と言ふ文句が何故か好きでたまらなかつた。「なぜ、しからずんば死のみ」と訳して名訳だと喜んでいたら先生が「精神一到何事かならざらん」と訳されたのでハーンと感心した。すつかり又このポーランドの海洋小説家にとりつかれて、「タイフーン」や「ユース」や「オートルメイナス、フオリ」や「ニガ、オブ、ザ、ナーシサス」や「ミラ、オブ、ザ、シ」を片つばしから！と言ふと景気がよいが分らない所は飛ばして乱読した。そして小さな舟に乗り組んで太陽のキラキラ光る香料の園、東洋にあこがれた青春に感激したり、海上の嵐の中で、箱

光が窓越しに壁にかけた肖像面を照らす。「エリザベート」と老人は囁く。と同時にその肖像はゆらゆらとくずれて、波がひろがりその湖の上に、水蓮の花が咲く。老人の心は少年の昔に返る。牧歌的な幸福を子供時代の二人のイチゴ狩りの思い出が生き生きとよみがえる。やがてラインハルトは大学生となり故郷を離れる。彼女との手紙のやりとり楽しい休暇。そのうちラインハルトは研究で忙しい日を送り、彼女への便りも途絶え勝ちになる。エリザベートは遂に彼の友人の金持のエーリッヒと結婚する。数年経つたある日ラインハルトはエーリッヒの招待をうけインメン湖畔の別荘に行く。かつての恋人同士の再会。この描写が素晴らしい。一あの青い山かけに私達の青春時代はある。あの時代は今何処に行つてしまつたのだから。「ラインハルトの言葉にエリザベートは黙つている。一緒にボートを漕ぐ。舟べりに置かれた彼女の白い手は顔にはそれと見せぬ胸のひそかき思いを物語つていた。彼女は自分の手にそよがれた彼の視線を感じるとそつとその手を水の中にすべらす。ラインハルトはその夕方一人湖畔を逍遙する。夕闇の中の湖心の水蓮を見て服を脱いで抜手をきつて泳ぎ出す。なかなか水蓮の所に届かない。やつと泳ぎついて取るどと手を伸ばす。月光で水滴がきらきらと輝く。急に水蓮の莖が体にまきつきこころと寄つてくる。ラインハルトは恐ろしくなつて岸へ引き返す。翌朝誰も起きてこぬ先にそつと別荘を出

## べール越しの国語教材

国語の教材は源氏や枕や方丈記や徒然草や奥の細道で塗りつぶされているのである。源氏や枕には男や女の姿や心は描かれていても目もあやな衣裳の下に包まれている美しい肉体は描かれていない。恋心は描かれていてもさう肉体の悶えは見られない。また兼好や芭蕉は人間社会を煩わしとして自分一人を美しく守つた人間であつて我々と一緒に苦しもうとしない。人間社会の悪と戦おうとしない。娘の親から、一人旅の娘の同行を頼まれてもことわる世捨人である。捨て児を見ても汝の運命の拙をきき泣けと立ち去る旅僧である。自分一人を守りたかつたに違いない。自分の力でどうともならぬことを知りすぎるほど知つていたのだ。しかしどうともならぬこの世と知りながらも、そ

の人の幸福のために体当りする人間でないと私はどうも我慢が出来ない。砕けたついでではないか。そう思う。古典文学や現代文学にそんな作品がないから免も角、西鶴もあれば近松もある。元禄の三大文豪として芭蕉と並べながら、その教科書に収められた分量は何と申し分けに過ぎないことか。海の雄大な景色や、山の美しい眺望や、夕陽の淋しい風情はもう沢山である。もつと社会に生きる人間の悩みや苦しみを描いた文章があつてほしいと思う。

## 滄浪の水

小松 昌

この夏は、例年に劣る暑い日が続いて、不快指数とかが言葉が一般化した程であつた。それに、色々事件や問題が国内でも世界でも起つて、めまぐるしいことであつた。また、この秋は、核爆発実験再開とか、ベルリン問題とか大変な事が多い。

ある日、ふと次の文章を思い出した。

滄浪之水清兮 可以濯吾  
滄浪之水濁兮 可以濯吾足

これは御存知の通り、漁父辭の一節であるが、屈平という人は清志孤高の人であつた。世の腐敗墮落に妥協出来ず官界を去り隠遁したらしいが、その気持を、「衆人皆醉我独醒。」といつてゐる。その気持はわかるにしても、あまりにわびしいことである。清濁あわせのむという事の出来ぬ人は、世にわれられず、又、世をいれることが出来ぬために、孤独であるが羨む人である。結局、節をもつて世を送ることはきびしいことである。屈平は漁父との問答で、いろいろと、たとえをひきながらいつてゐるが、人はだれでも、よごれぬものは、ごまかいことにも注意して悪弊にそまらぬようにしてゐるのである。

これは個人だけの問題ではなく、広く世の中一般の問題でもある。当節は、いつでも滄浪の水が濁つてゐるみたいである。滄浪の水清合というのが、あんまり清い時には合わない。よほど強い意思をもつていなければ流されてしまふであらう。凡人は、その平凡たるために屈平のように流水の鬼とすることも出来ず、不凝滞於物、而能与世推移の境地にも至らぬものである。唯々、滄浪の水が、いつも清いことを願うばかりの小心なる虫のよい存在である。世の中がみろくだからとか、人がみろくしてゐるからという理由をたてて自己をごまかしたくはないが、ともす

れば、したくするより弱い点をいくらでももつてゐる。

これが個人だけの問題ならまだしも、世界の政治とか、何とかのうちに、相手が何やらするから、やむなくするのだというよりなこと、わけのわからぬうちに人類に害を与えることは、たまたまいことである。こういふことは孤独になつても、筋を通してもらいたいものである。無力な凡人は、その無力なるために、この場合は唯、我独醒といふのを願うのであるが、匹夫不可奪志也といふこともあるから、決して無力ではないであらう。

しかし、いつでも、そういう気をつかわないでいられる正常な世の中を願つてゐることはいふまでもない。

とつづいた日本の最も苦しい暗い時期にあつてゐる。

従つて僕の高校時代には「我が青春に悔なし」といつたより豪華やかな思い出といふよりなものは殆んど思い出せない。友達と遊びに行こうと思つても空襲におびやかされるし汽車の、切符は、仲々手に入らなかつた。オ一食糧難で腹がへつてあまり出歩く気にもならなかつた。街には娯楽機関といつたものは殆んど姿を消し映画館がある位のものであつた。その映画も検閲であらうところがカットされており例えは当時封切られて評判だつた「無法松の一生」(戦後再映画化されている)のラストシーンなども戦時下におさわしくないという理由でカットされていた。御存知の人もあると思ふが無法松が吉岡未亡人への思慕をおさえがたくなすねて行き雪の中に倒れる場面である。家で本でも読んでいようと思つてもその本が仲々手に入らなかつた状態であつた。

## 高校時代の思い

中塚 五郎

体の熱くなつた

「紅燃ゆる」の大合唱

僕が旧制の才三高等学校で学生生活を送つたのは、昭和十九年の四月から昭和二十二年三月までの三年間である。それはB29による本土空襲がはじまり敗戦更に戦後の混乱

当時は勿論男女共学ではなく僕達は友達同志でよく「メツチエン」(ドイツ語で少女という意味)といふ言葉を口にしたけれど実際に同じ年頃の女の人と話をする機会もか

かつた。今から思えば、本当に殺風景な青春時代だったと思ふ。

従つて今も心に残っていることを二つ三つあげると入学直後の新入生歓迎会で全校生徒の「紅萌ゆる」の大合唱に身体が熱くなるような感激をおぼえたこと。年が五つ程上のひげを生やしたラグビー部の猛者に無理やりラグビー部に引張り込まれたこと。その上級生に一度あやしげな食物店に連れていかれてダンゴのようものをおこつてもらつたことなどである。その時、上級生達から早く逃げだしたくてテーブルの上にお金をおいてそつとかえろろとしたら「おい、今日はおれがおごるんだから、メツチエンみたい方真似をするかよ」とおこられたこともよくおぼえてい



このように厳しい戦時下に送つた僕の高校生活は外面的にはまことに味気ないものであつた。けれども今小学校から大学までの長い学生生活をふり返つてみる時一番つかひよく思い出されるのは、やはり三高時代なのである。何よりもあの頃の若さとあふれる自信と知識欲がなつかしいのである。

とにかく三高生の頃はどんな方ことでもやればできないものはないという気がした。どんな方むつかしいことでも考えれば判らぬかといふものは、ないという気がした。カントにヘーゲル、トルストイにドストエフスキー、ツエークスピアにゲーテ、ポアンカレにアインシュタインと一寸でも名前をきいたむづかしい本は、図書館などで借りてかじつてみた。一行でも判ればそれでそれらの人と同格になつた気がしていたのである。ドイツ語を習いはじめたばかりなのにカントの原書を借り出して、頁をめくつてみたりした。毎日読めもしないのに、沢山の本をかかえて通学し、友達からよく移動図書館と笑われたりした。けれど今の不勉強と老成をかえりみてなつかしい気がする。

### 楽しかつた

### ラグビー部

学校ではいつ授業がなくなるか判らないといふので、毎日七時間、土曜日もぶつ通しの強行軍であつたがその苦にからなかつた。それは湯川さんや朝永さんを生んだ三高の伝統といふものであるが、戦時下に拘らず三高の先生方は驚くほど自由闊達に時流に屈しない態度で授業されてそれが僕にはたまらない魅力だつたからである。

もつともあまり毎時間前の方に頑張つていて一部の先生が信用されすぎて予習がさぼれなくて一寸辛かつたけれど無理に入部させられたラグビー部も結構楽しかつた。やっぱり一生けんめい練習すれば一流になれるよさを気がしたし練習についてゆけるだけの体力もあつた。先輩達との雑談も面白かつた。ラグビーの本を買つてきて読んでみたり夜寝る前に体操したりして一度だけ上級生から「よいダツシユだ」とほめてもらつて嬉しかつたことを今も忘れられない。しかし実際に試合をやつてみるとさつぱりで三度ほどやつた練習試合の時目の前にボールがごろがつてきたら、急に力がぬけてしまつてとどろき三度とも試合中にボールをさわつたことがなかつたのが今も心残りに思ふ。

ラグビー部の戦時中最後の試合のことは今もよくおぼえている。それは二年生、三年生が明日から動員に出まらうといふ日のことだつた。相手は同志社の高商部(通称ドッコイシヨ)場所は三高のグラウンド、雨上りの午后に試合が行われた。僕達新入生も一応試合前の円陣に入れてもら

つて「どろしても勝とうぜ」といふキャプテンの言葉もきいた。試合は圧倒的に三高の勝でスコアは33-3。僕達は試合後「紅萌ゆる」をはじめラグビー部歌その他知つてい

# 堂林鳳山丸

教科書

一般書籍

南區世新橋 1-43

セゴラ樓

TEL 27-2241



# クラブのしおり

## 文化系クラブ その一

### 自由な活動

三階西側の中央にある部屋には、放課後になるときまづて二三人の部員が集まる。そしておさまりの文学論や、時には深刻な人生相談をやる。部会は大層、木曜とかつているのだが、十三人いる部員はほとんど集まらない。作家研究や、読書会がほかどらういのはその為である。部員は総て義務づけられた仕事をいやがつて、自由に活動

## 文芸部

全般に沈滞気味である。作家研究でも、昨年の太宰治、先学期の芥川龍之介と続いて失敗した。又読書会についても、倉橋由美子、井上靖、三島由紀夫と失敗に終っている。各自の主義主張のくい違いのあらわれである。今少しの緩和を今後に望みたい。月例創作会は、部員の作品を、相互に批判し合ひ。ほめられる者は一人も居ない。しかし非難された者も、へこたれず、その上をゆくように、努力してゐる。

おなじみの部誌「桐文」は、少数の投稿を除いて、ほとんどが部員の個人的作品が掲載される。多数の部員の反対のある作品は、載せないよう努力もある。年二回発行なのであるが、一回の発行がぎりぎりの予算では、とうとうい満足なものはいない。部内の機関誌「ボエム」は、ガリ版でささやかに刷つている。他のクラブもそうだが、予算の少いのを嘆く現状である。

文芸部は決して青白い青年達の集まりではない。そして勉強との両立云々というものは、文芸部に於て全くの杞憂にすぎない。たゞ文芸部の広範囲な活躍と、全校諸子の協力

を今後に望みたい。

言

大いなる精神は静かに忍耐す

ミルトン

している。だから表面的には、クラブとしてまともなつていかいように見えるかもしれないが、その裏何事があつた時、親身に相談できるのは、やはり部員同志である。彼等は、

皆が率直に自分の意見を述べあひ。彼等の方では、妥協は許されない。逃避も又軽蔑される。文芸部に入るとまづ先輩にたたかれる。これを耐えて、自分の考えの弱さを改めてゆく。これを過ぎて始めて骨のある部員になれる。それで勇気のない者は耐え切れず退部するが、それは例外として、ほとんどの部員は、確固とし九自分の思想なり、人生に対する考え方を求めて、真剣にとつくんでいる。即効の利ではないが、それ以上に高く尊いものをいつのまにか身につけられるようになる。文芸部員はその意味に於て、侵し難い誇りを持つている。しかし活動状況の現状は、

## 家庭的な雰囲気

### 放送部

文明国家に於てマスコミ、特にラジオの重要性は言うまでもないことですが、本校における放送部の活動はそれと同程度の重要性を有しています。特に自治会活動や各クラブの活動を円滑に行う為の伝達放送はなくてはならないものです。又、美しい音楽は勉学に疲れた私達を心から慰めてくれます。

現在放送部の活動は外的なものとして昼食時並びに放課後の校内放送（伝達・呼出・番組）及び各種の行事を行つています。内的なものとしては各種番組の製作（クラブ便り、レコード音楽、放送劇）、小説・詩の朗読、アナウンスの練習、放送局見学、日本全国及び世界各国の放送局の放送受信及び放送番組の交流並びに批評ベリカードの蒐集、電気知識の習得などです。このように放送部の活動は非常に範囲が広いので自分の趣味を充分生かして好きな事ができます。その上、部員の意見は非常に尊重され新しい分野を開拓していく喜びを味わう事ができま





るのだとおつしやるに違いない。けれどもクラブというものはそんなものではないと思います。少くとも私達のクラブはそう考えています。良い作品を作るのもよいと思えます。でも私達はやはりクラブとして集まっています。だからクラブを楽しく、有意義なものにする事が、クラブの使命だと思います。

自分の作品を製作する事に喜びを見出し出している者ばかりです。もし良い作品を作る事だけが目的なら他の団体に入ればよいのですから……。

運動系クラブの人達には敬遠されがちですが、運動ばかりが高校時代にやる事ではないと思います。美というものにもつと深く理解し、心を豊かにしておくのも良いと思えます。世の中に出て美について無知である位、淋しい思いをする事はないかと思えます。

## 新聞部

### アメニモマケズ

新聞を作る事は新聞部の必要條件であり十分条件にあらず。(チャートを見よ!)新聞部は新聞を作る。劇を演じる。歌をうたう。遊ぶ。学ぶすなわち雑学部である。広く深く、あらゆる社会に接し、考えるこれすなわち人格である。かくて又、新聞を作るの苦勞、思い測るべし。雨ニモマケズ、風ニモマケズ、印刷屋と学校を原稿小脇に往復する。家に帰りつくのは灯ともりし頃。

○親に小言をいわれ、成績はもう一つ、教師に叱られ、なお新聞を作る。なぜなせ?そこにはね、おシヤカ様でも知らぬ或るミ・リ・キがあるのさ。

○新聞は読んで字のごく、新しいものである。しかし、大手前新聞(特に一面)においては、旧聞々に値する。これは学校新聞の宿命であるが、しかし、そんな大手前新聞にも一つだけ前日の記事がある。過日、高校野球夏の大会で、大手前―泉尾戦が七月十九日に行われ、翌二十日の新聞に大手前が逆点したところまで載せることが出来た。

当日、三回も中モズ球場と駅前とを往復。何んとか記事にできたが、印刷屋はカンカ、仕方なく二十日に間に合わせてくれたが、全く気の毒だつた。

○部屋からの展望は又格別。涼風そよそよ(夏の場合)寒風するどくビニー(冬の場合)と吹けば、もはや彼方にビルが立ちちらぶ。四階までのぼるも足の運動。室内は明るさが一ぱい。夕方になれば赤日がビルの間に落ちていく。

夜にければネオンの洪水。全くロマンチックだね。何しろ自殺したければ、我が部室の上からが、最適。

## 弁論部

### 真実なる言葉

た言葉でもつて、顔色一ツ変えずに発せられたなら人の心を打つ。言葉は人を泣かせることもできるし、笑わせる事もできる。誠に魔術を具えている。だから私達は先づその言葉が真実かどうかを見分ける能力を具えなければ、言葉の魔術に巧みにあやつられることになる。その能力とは豊かか知識と豊かか想像力を具えた状態である。その能力は意識しても具わるものではなく日頃の努力が必要なのは言までもない。

さてそれでは話す立場に立つた時、どうすれば自分の思っていることを、相手の胸に響かすことができるのだろうか。それには才一に自分の確信していることをはつきりとした言葉で、相手に好感を与える態度で話さねばならない。

私達は多くの弁論大会を見てきたが、必ずしも心の奥底かそのなるには矢張り日頃の訓練が必要である。

弁論とは、いいかえれば話す事は、内容+音声+態度+迫力+……その他諸々の条件が加味して成り立っている生活必需品である。だから、一弁論者として私には関係ないんだ」と思っている方は、もう一度考え直される必要があるだろう。私たちは生きていく限りこの道具を使わねばならぬのから、最良の方法で最高に使用したいものである。

く「真実を思い切つて述べる時に人の口から出る言葉は、たとえどしどし力の弱いものである。ところが、心に思っている事でも、その場の状況に合った態度と用意周到され

## 書

人の一生には炎と灰の時がある

アンリ・ド・レニエ

# 詩

もうなにもいりません

中村一男

僕はもうなにもいりません。  
 大学、  
 恋人、  
 金、  
 権力、  
 名譽、  
 僕はもうあきらめました。  
 僕は余りごてごてしたものを食べすぎたのでへどをは  
 きそろうです。  
 僕のほしいのは  
 自由！

# 運動系クラブ

リズムカルなスポーツ

男子バレーボール部

諸君、大よそ数多い球技の中で、このバレーボール程、  
 ポールの動きのリズミカルなスポーツは少ない。ボールを見  
 ていると、ついちつとりしてしまふのがこのバレーボール  
 の持つ最大の美点である。  
 また、どんな人にもそれなりに十分楽しむことのできる  
 スポーツだ。が、それだからといつて平凡だとは言えない。  
 さて我大手前男子バレー部を紹介しよう。先程誰にでも  
 楽しめるバレーと書いたが、クラブで行ふバレーボールは  
 楽しむだけのバレーであつてはならぬ。それには苦しい事  
 や、おもしろくないことが山とある。それを克服して行つ  
 て始めてクラブの価値がある。クラブの本来の姿はそれで

それに  
 生きていくに足る食物  
 金も  
 悪人も  
 大学も  
 みんな僕を鎖りにつなごうとした。  
 かのともだちまでが  
 僕はもう鎖はこりごりです。  
 人間はこりごりです。  
 人間としやべるのがいやです。

# 鑑

茨木裕

きれいだろあ  
 何でも見えるねえー  
 遠くでも  
 近くでも

ある。我々のクラブもその例にもれぬ。だから毎年入部  
 してくる者の中で、楽しむことだけを目的にして入つてく  
 る者は必ずすぐによめていく。我々もそういふ者を無理に  
 ひきとめはしない。しかし、それだけに苦しい事も多い。  
 現在大手前は府下の一部実力の差によつて階級が決め  
 られていて、一部から五部までは十校ずつ。他は六部即  
 ち常に府で十位以内に入つているが、決定的な力を欠いて  
 いるため、一部の中でも下位に甘んじているが、数年来の  
 念願である全国大会に出場したいと内心フアイトを燃やし  
 つつ練習に励んでいる。  
 部員は一二年合わせて十四人である。  
 我々の望んでいた体育館もでき雨の場合の心配もなくな  
 った。これから更にフアイトを燃やして練習を続けていこ  
 うと思つている。

# 人知れず活動

登山部

はつきりと見えるねえ

そうさ

何でも見えるんだよ

速くのも

近くのも

はつきりと見えるんだよ

すごいなあ

よく光るんだねえ

速くのも

近くのも

明るく照らすんだねえ

そうさ

よく光るんだよ

速くのも

近くのも

明るく照らすんだよ

あつまぶしいじやないか

そんなに照らしちゃ

ねえ、やめておくれよ

前顧問永田良先生がおやめにかり、一学期初めの活動が難行しましたが、新しい顧問に清水先生になつていたゞき全員はりきつて活動しております。本部は校外活動がその重きをなすため皆さんにあまり活動状態をごらんになつていたゞいてはおりませんが、本年は全国大会三年連続参加を達成し、例年のごとく夏山も行い現在スキー計画に全員ががんばつております。ここに本年のこれまでの活動と夏山の報告をいたします。

四月二十三日 新人歓迎(苦楽園・奥池)

二十九・三十日 高体連全国大会予選

五月二十七日 仁川(座頭谷(参二名))

二十八日 蓬来峡クライミング練習

六月十一日 全国大会二次予選

七月十五・十七 比良縦走

七月三十一日・八月五日 夏山訓練

オ一日 二十時二十五分 大阪発

オ二日 松本・上高地・明神池・徳沢・横尾・横尾・洞沢間で毒營

オ三日 洞沢・穂高小屋・奥穂高・溜沢岳・溜沢・キャンプサイト

オ四日 キャンプサイト

オ五日 殺生・槍ヶ岳・槍平・滝谷・白出沢

わかつたから、ねえ

# 大きく

木村正明

暑い日指しが今日も街の隅々に影を落とっている。何もかもが一ヶ月前と変わらない様相を提して、柳の葉でさえ身をしわだらけにしている。長い暑さの疲れが至る所を覆い隠して苦痛の思いがそこに見える。

こんな暑さの中でふと思わず、思い切り暑れ回りたい、自分の肉体をくたくたにやる迄動き回りたい衝動にかられる。かつかつと照る日光にアスファルトの熱気が充滿して対象

物のない怒りに頭は疲れる。そして結局は自分の愚かしさを否が応にも再認識して、寂しく一人笑い、余りに小さい自分と狭い心を哀しく思う。

難問を何時間かの格闘で仕留めてもたかゞそのようを取るに足らぬ事への執着に又心の小ささを味わい知るだけである。せめて自分だけでも世間に一般の人より種々様々の事を解して大きく生きたいと思つても、所詮は自分も同じ穴のむじなであることに眉を焦がす。自然の大きさ、自然は何も物言わない。しかしその接触到大きな感慨を受け取る。川は知らず流れ行く。山は黙して色変える。そこに言葉でない、人の世の愚かさを不確かを言葉でない、触れ合うことによる眠りの大きな心を

見る。自然は大きい。自然は荒立たな

新穂高

オ六日 新穂高・高山・大阪

七月二十五日・三十日 全国大会

い。小を追わず大きくのみ存する。

水の流れるに心を侵して、こせこせと

我を張る高校生の日々ある出来事を大きく考えたいと思ふ。

(一九六一・九・五)



# 夜 前 幕

竹 柴 久 史

日が落ちて  
しかしまだ  
夜の響の降りかゝ  
何物かと騒んでいるよろな  
この濃紺の空を  
俺は好きだ  
人知れず連れて行く響まで  
かすかに立ち降つて  
……  
過ぎ去つたものも運ばはしな  
まして人の心は……  
ローヤルブルーの  
沈み行く秋の空  
何とはなく俺は寂しい

誰かに何か話しかけたら  
こんなにも深い空……  
冷く風が微笑んで流れて行くとき  
まして人の心……  
妙に佻しい薄暮の空  
過ぎたものを何で返すことができよう  
俺の力で  
時であつても……  
何とはなく俺は寂しい

# は じ ま り

早 川 忠 雄

その (一)  
ある日の昼からの一時間目が終つた休み時間でした  
昼すぎの隣の光が廊下に斜めにさし込んでいました  
覚えていらつしやるでしよろか

# ロマンティックなムード

ワンダーフォーゲル同好会

我が「ワンダーフォーゲル」といふ言葉を知りましたのは一年生の二期に入つて間もなくでした。この言葉の誕生は、ドイツといふことです。  
「ワンダーフォーゲル」とは、そのドイツにおいて青年の教育の一端として始められ自分の眼で直接広い地域を見て廻り、肉体的にも精神的にも自己をより高めようと考へられたものだといつています。  
昔は今よりも、もつともつと人間の数は少なうでした。今の世にまみましては、人間の数はだんだん増えるばかりで特に都会においては資本主義といふものが高度に発達したといふので……  
労働問題や都市問題等の社会問題が我々の心を幾分かりとも「ヒステリアク」に致らしめます。こんな事では、我々青年の心を健全に育てられようはずがありません。青年達の心の中には多少なりとも「ロマンチック」な心が存在しているので仕方なしでしよろか。私にはその思え

# 剣道部

# 寛容と忍耐の精神

大きく無限に広がる海。白雲がかかりどつしりと腰をすえている山に。思つてみるだけでも私はぞくぞくしてきます。何事にも寛容で、またある一面厳しい自然、その中で出来る限りの力でもつて羽を伸ばすのが、我々にできる唯一の楽しみであります。

「僕を振り回して人を殺るとは、文明人たる我々の最も恥すべきところではないか。この野蛮人め！スマートな洋服を着た前世紀の遺物め！リバイバル野郎！救いよしのない文化果つる所の住人よ！」とあらゆる非難で埋めつくされた、並よりは少しやりくりの上手な諸君の脳中に、次のことを割り込ませたいが為に敢えて拙筆を振りこした。  
我々は人に打たれる為に日々練習に励んでいるのであつて、そこから寛容々と忍耐々の精神を養つている

階段をのぼりきつて廊下にてた時  
君がこちらへ歩いてくる姿が目に入りました  
僕は一瞬ためらいました。

わざと平生をよそおつて  
やや急ぎ足で歩いていました  
君との距離が近くなるにつれて  
足がすくんだようになつてしまつたのでした  
僕の顔はおもわずさつむぎそらになり  
目のやり場に困つてしまいました

でもその時君の目とぶつかつた、  
あの時の事から僕ははつきり思い出せます

やや上目づかいて頬を少しあからめたようにして  
僕を見つめてくれた君の瞳

恥ずかしそうに頬笑みかけようとした  
君の姿を

決して忘れることはできないでしょう

(擦れ違つた時、顔から火が出たようでした)

廊下の窓から外の運動をながめると

何事もないようにみんなは走り回つていました。

しばらくすると例の如く、至極平凡に  
さつもと変らぬ調子で二時間目を

告げるオルゴールは

眠そらに鳴り渡つたのでした。

### その二

西陽のかけにやつた校門を出る時いつも

「僕」らしくあります

自分に正直でありたい

そらいつたことが今日の自分を反省させます

試験前にわざと怠けたり

学習を抛りだしてクラブ活動に夢中になつたり

成績の悪いのを自慢したり

周囲のあらゆる事物を皮肉な目で眺めたり

ここにこしているかと思ふと急にむつりしたりする

時には読書や詩を書くことさえも

あらゆる思考を放棄するため

一時的な気晴しのように思ふことがあります

日頃の僕はお恥ずかしいですがこの有様です

のである。故に試合においては勝つべき道理に違つてお  
れば仕方なく勝ち、負けるべき道理に違つておれば喜んで  
相手に勝を譲るのであつて、その技倆の劣るにあるの  
ではない。疑ふなかれ、クラブ昇格一年にして有段者十  
名の多きを教えることが如実にこれを物語るではないか  
心を一にして大いに練習に励み、和気あいあいたる奮闘  
気を作つていふことである。そして又、誇りにするとい  
ふは……。

ここまで読んでいたゞければ、総明なる諸君のこと、  
我が大手前剣道部の良さの一部分なりと判つていたゞけ  
た筈。おかし、それから僕もいつちよろ……、私も  
……。(これはちよつと困る)。「そらそらその意気、  
その意気。サア、イラシヤイ、イラシヤイ。」

## 女子 バスケット部

### 伸び伸びと自由に

夏期休暇練習は前期十三日間、後期二十一日間行いまし  
た。男子バスケット部と同じことを同じ時間だけしたので  
すから、毎日毎日の疲れはひどいものでしたが、今となつ  
てはその疲れも半分忘れて、楽しい思い出の一つになりま  
した。その間、七月に対旭校との練習試合、八月に扇町校  
との団体予選試合がありました。いずれも惜敗しました。  
しかし前の試合に比べると、後の試合は猛練習の甲斐あつ  
てか、全体にフアイトがあり、いろいろな技術を向上し、  
またスタミナも相当ついた様に思われます。特に八月に入  
つてからの待望の体育館使用は、この進歩に大いに役立つ  
ものがあつたと思ひます。風通しの悪いのが気になるけれ  
ど、明るく、広く、そして何よりの魅力は、天井を気にし  
ないでいられるといふものに、全員が伸び伸びと自由に走  
り回ることができました。これから、この体育館を十二  
分に駆使しての、一段の進歩が楽しみにさへ感ぜられます。  
皆でチームワークを取りながらボールを進めて行き、最後  
に自分の打つたシュートが、真直ぐにリングに入るといふ  
ことは、私たちだけにしか味わえない快感と信じています。  
これからの秋冬のシーズンを迎え、また十一月には恒例  
の一年生大会が行われる予定ですが、是非ともこれに勝ち  
進んでゆきたいと今からフアイトを燃やし、週三日の練習  
には必ず出ようと決心を固めておきます。

でも少くとも君と廊下で会ひ時の態度は君に対する僕の思いは正直であり純粋でありたいと思ひのすいや、そうであるつもりです

夕暮れの淀川はきれいです  
京阪電車の窓にもたれて  
向うの川面に映つた点滅するネオンを  
じつと見ていると  
なんだかホッとします

## 真夏の日に

小井田 蘭子

窓から遠く青い空をながめてみると、空の奥の奥の奥を見極めたい気持ちになる時がある。

流れる汗をおしほりて冷やし方が、(このおしほりは日本独特のものだそう)、日本人のサービスピ精神を端

的に表わしている。と何かの新聞で読んだことを憶えているが。一いつごろからこんなものが使われたのかしら。んかしら。やつぱり庶民の間から生まれたのかしら。そしてと庶民の間の往来が盛んになつてきてからやるのかんことを学ぶのは民俗学ゆりのんかしら。面白そうやないの。一つやつて見ませんか……。それにしても気がええわ。」なんてひとり言を言いかた古文を讀みつつひとり悦に入つていた。真夏の太陽が沈みかけるところ、寝椅子に横たわつて、太陽の残していつてくれた香りを打ち水の冷たさの中に感じる心持ちはええも言われずである。

古にも変わらなかつたであろうこの沈んでゆく太陽を、昔の人はどんな気持ちで見ていたのかしら。どんな服装をして。どんなことば使いをしていたのかしら……。私は知らない家の前を通り過ぎる時のようにあれやこれやと自分勝手のデザインをしていた。が残念なことには私のこの癖してフリー・ボンダリングははかか破れ去つた。もう大空には夕気気分がたよつていた。ムウムウ姿のオバさんたちや、鼻の下にかわいらしいおヒゲのオジサマたちがコンベアの上を往來していた。

## 硬式テニス部

テニスの醍醐味

全世界に普及しているスポーツ、それはテニスである。私は言いたい。(デビス・カップ・マツチに於いても欧州ゾーン、米州ゾーン、東洋ゾーンと全世界に及んでいます。)それはテニスというスポーツが、老若男女誰にもでき、短時間に比較的狭い場所ですぐにできるからであります。今までテニスは、ブルジョアのスポーツだと言われてきましたが、我々の硬式テニスを御覧になつても解かることとく、とてもそんなものではなく、諸君の能力と微かな機会を十分活用できるスポーツであります。我々のクラブの、昭和二十六年に設置されて以来、数々の輝かしい成績を収め本年も全国大会へ二名もの選手を送つており、弛まず努力しております。現在二十五名余りの部員を数し、この秋には大いに腕を上げようと全員張り切っております。練習日は隔日にコートを使用しています。

かお諸君の中には硬式テニスと軟式テニスを混同している人(我々もその例外ではありませんでしたが……)が

かかりいと思ひます。硬式テニスは文字通り「硬いボール」を使用しております。テニスの醍醐味は、この硬式テニスをやつてその頂に達します。我々は、「テニスを見て楽しむスポーツではなくて、実際にやつて楽しむスポーツ」と、思つています。

## ダンス部

運動系クラブかな?

ダンス部の練習日は、月曜日、水曜日、土曜日の週三日。いろいろかことをやつています。洋舞と日舞。徒手体操や平均台等。おそらく一番することの多いクラブだと思われま。基本レッスンは、体育館のギャラリーの手すりをバク代りにしています。しかし、上の手すりは高すぎ、下の手すりも低すぎます。又先生方がお通りになるので、「恥ずかしい。」との声もチラホラ。平均台は今まで無かつたので、(雨天体操場にあるのは定時制)平均をとつて歩くのすらドキドキ。

レコードを聞いて創作もやります。一人づつ思い思いに踊つて他の人が批評をします。各自に癖と言ふの個性があつて、とても楽しい時間です。

文化祭等の行事があると舞台に出ます。こんな時、「ダンス部は運動系クラブなのか？」と不思議な気持ちに包まれます。文化祭等の時は、オ一に出し物を決めてストーリーを作り、それに合わせて曲を選び、またそれに合わせて振り付けます。衣装や小道具のことも部員で相談するので、予算ともならみ合わさなければならず、仲々むづかしい事です。が、出き上つた時の嬉しい事!!

## 水泳部

よく本を読む

誰もが考える事は、学習と運動の両立である。特に水泳等を考える場合なかか深刻な問題となるであろう。だがしかし、水泳部では試験のために練習を怠る者は決していふ。かといつて学習に不真面目な者も、もちろんない。

ない。皆一生懸命泳いで、一生懸命勉強する。練習中はとても疲れるが部の雰囲気はとてもなごやかである。そして私達は水泳を目的とせずむしろ、水泳の中に何かを学びとるつもりである。

水泳で鍛え上げた体力・精神力は必ず実社会へ泳ぎつく事を可能ならしめてくれるであろう。それ故速く泳ぐようにすることも大切だが、自分としての向上がより大切な事はどの部員でもよく知る処である。又、我々のクラブに入ると、必ず皆本をよく読むようになり、真剣に討論するようになるから、不思議である。

## 陸上部

陸上部合宿

夏休みの慣例を破り早く起きて午前八時に学校に集合。何と大きい荷物があることよ。(しかし大きいフットンの方が良く寝れることを身にしみて知つた。)八時集合のはずが、なかなか集まらず、八時半頃全員集合。「さあ練習」といふみんなのはりきつた声。まずは一日目の感じ充分。

流し、ジョギング、柔軟体操とその種目の多き事、休み時間

の無き事は、はきははしかつたので、十二時頃にはフウフウ。午後からの練習も強行に押し切つて無事終了。ああ、かくもたくましく陸上部員、イヤ大手上前生よ。二、三杯しかお茶の飲み方かつた夕食後、みんなで風呂へ。近くにすのを知らないので、遠くの方までベチャクチャ話しながら行つたが、そこは本日休業。しかたなしに他の所へ行つたが、そこまで行くのに片場学校から二十五分。風呂の行き帰りが五〇分。だが、楽しい五〇分の散歩だつた。

二日目十七日。六時半起床。四十五分練習開始。チエ! 便所へも行けぬ事ハナハダシヤ。悪意をもつてすれば、チールのきかぬ事ハナハダシヤ。悪意をもつてすれば、すり込んだ所が固くかつたみたいだ。昨日のハリキリ過ぎのため足はガクガク。けれども、やり始めるとスムーズに出来た。七時四十五分。最初の練習終了。朝食の味はマア

アア十時から十二時までの練習は疲れよりも暑さでフリーラフラ。何しろ水に触れることもからぬといふ先生のキンイお達しだから。実を言つとプールの水でもよいから飲みたかつた。午前の楽しみはシャワーに御飯。今日の午後からの練習は大阪城内の競技場で。通い道の十七分間のおしやべりは楽しい。競技場から帰つて学校へ着くと、足が痛いの痛いの何しろ正座出来きいんだから。この日近くの風呂屋まで行けた人は二人。又、よく眠れかつた人など

まどろんだと思つと、もう起されるといふ状態だつた。またたく、真夏の夜の夢も見られぬ。

三日目十八日。マア、かくも疲れたる陸上部員、イヤ大手上前生よ。朝の体操は四時間。正座できなくても練習の時は走れた。柔軟体操も出来た。けれど、二度目の練習(十二時)の苦しかつた事よ。競技場への道も楽しくなかつた。正にノビネケリ。しかし、合宿中一番うれしい事が起つた。(内諸の事...)つまり三日目の午後からの練習は、明日、記録を計るための骨休みとしてナイのである。そして、思わぬこと言つた。パンザイ、ステキ、ウレンイ、ヨカッタ、タスカッタ、イイネ、シアワセ、

かくてお定まりの通りトランプをして遊び、イリよりは初日のようだ。かくもたくましく陸上部員、イヤ大手上前生よ!!とこら書いてみたものの、実はチヨッピリしんどかつた。朝食を取り、正味一時間半の休息をとり、他の物を.....はい、かつたが、とにかくガメンク取つて足取り重からず重からずで、記録を取りに競技場へ、一人三十四取られに行つた。結果は、朝食と同じくマアマア。こらして、あまりさやかではなかつた星影のもとで、集

の喜びを味わうさよならを合唱し、解散した。



## 軟式テニス部

### 「軟式テニス」

あの赤銅色の健康の場。

それは青春を四角にしたよろこ。

赤一面に真白を二つの点。

あれは青年の夢ではなにか。

夢を追おう。

白球が弧を描く。

白球を追う。

白球はまた弧を描く。

あつ虹ができた。

青春の泉がわき上る。

この運動。

スピードが増す。

二つの影が動く。動く。

ここは大官庭の大広間。  
ワルツが最高頂に達する様に。  
ワルツはすばらしい。  
テニスはすばらしい!!

## 卓球部

### 旧来の殻を打破

現在の部員数は二十数名で、あの雨天体操場で練習している。バスケット部が体育館へいつたので今までに比べ練習を多くすることができるようになった。この夏休みには合宿訓練を行い、特に卓球のよりな個人競技に忘れがちな、チームワークという目的も達成された。さて、合宿をして卓球がうまくなればいいのか。確かに卓球の技術が上達することは目的かもしれない。しかし、それが主目的ではない。いくら個人競技だからといって、ダブルスがあり、チーム戦があるのだ。これらにチームワークをくして何ができるかというのだ。そこに合宿の意義（特に卓球のよりな）があるのだ。

二学期に入ると大会もあるので、今までにもまして練習にはげんでいる。二年生はようやく技術の方も充実してきたので今度こそは大手前の卓球部の殻を破つてやろうとの意気込みである。少くとも何か一つはというのが今の望みである。一年生はまだまだこれからはわからないが、練習次第で大いに有望である。

設備の方は何といつても試合に使えるような台が少なく、その台も雨天体操場の関係で、移動することが多く破損することが、一番の悩みである。それに今までよりいくらかは照明が明るくなつたが、それでもなお、雨の降つてい

練習状態も決して満足できるものではありません。でも私はバレーボールを愛しています。そしてバレー部を愛しているのです。今の状態が満足できないものであるからこそ、よりよいクラブにしようという意気にもえているのです。空の青さとボールの白さ、それに私達の黒さとが、一つにけあ瞬間、その瞬間、私達は机の前では得ることのできないものを得ようとしています。ボールはなかなか音することを聞いてはくれません。だからこそ自分の思う通りにしたいという欲望は増します。チーム・プレーを通して得た経験、協力の精神は何物にもかえ難いものだと思つています。現在、練習は週三日、先輩のコーチのもとに行つています。笑い声だけではどこにも負けないつもりです。

## 好バレーボール部

### 白球に誘われて

解放の鐘が校内に鳴り響くと、私達は校庭に飛び出し、青い空と白いボールに誘われて。それは私達にとつて楽しい誘惑なのです。女子バレー部は実に弱いチームです。

バレー部に限らず、校庭に一年生の少ないのが気にかかります。クラブに入つていない人達、あなた方は一年に一度しかない日々を無駄にしてはいませんか。若いという特権を放棄してはいませんか。一度校庭に出て青い空を見上げて御覧下さい。あなたの生活は、何か足りていないはず。日暮れ、さわやかな風に吹かれて沈んでゆく夕陽を見つめる時、私たちは若いということ、バレー部員であるということの幸せを感じます。白いボールに誘われて私達は、又明日も校庭に出て来るのです。

# 旅行記

## 四国 旅行 小豆島

その一

周防 昭

私達四人は、夏休みの休暇を利用して一週間旅行しよと決定したのは、前期課外も半ば過ぎ、そろそろ休み疲れが出はじまつた頃だつた。四人ともキャンプ生活ときては無経験なので始めの内は準備がはかどらなかつたよりに思えたがどうか当日までには、けりをつけ一応身じたくも整えた。こうして見ると我々は、なかなか素人のように見えなかつたがいざ出発の段と方つて初めて我々の素人たる所以が露見した。なぜなら背負っているリュックは我々を予想外に圧迫したからだつた。これは余計なものがあるた為で、我々の不手際を身をつて経験したわけだ。ともかく最初の予定通り八月十五日の夜出発できた事は我々全

員の勢力の成果だと言える。当日も格別どうと言ふ事もなく予定通り天保山に着き、そこで一時間余り待つて乗船した。汽笛の物哀しい響きはやはり幾度聞いても寂寥を誘ふもので、この時もセンチメンタルを感じがして大敵の夜景を恋しく思つた。船内では二等の名に値しなかつた。私達は長時間待つたので、それに比例して早く乗船しそれ相応にゆつたり寝るだけの面積を確保する権利を有していたがいざ乗船して見るとお盆席りの客が多いゆえに、気の弱い我々は次才においつめられ、果ては昼一畳に四人！寝る姿勢も各々創意工夫して一睡でも勝ちとろろと努力したが結局はだめだつた。その間デッキに出て夜景を見たりした。勿論真夜中だから海も陸も見分けがつかなくて燈台の光が時折り現れては消えた。坂手着は三時半、バスに乗り登山口近くで下車した。車中の切符売りが中学生位の人でちよつと目をひいた。又車中までにも醤油の香りがたゞよつてきたのは驚いた。下車しても四時になつていまいぬあたりにはまだ暗につつまれてんで見当がつかない。その上リュックの内身は変化しなす。そこでやむをえず何時来るかもしれなすバスの停留所のベンチで夜の明けるのを待つた。あたりが白け人影もちらほら見えかけた頃取りかかして歩いて行く事になつた。始めは平坦な道であつたが、二キロ程行つて醤油の香りも取れた頃から次才に坂道になり途中もよく休んだ。携帯ラジオをかけた方が朝の空気を

胸一杯に吸い、重いリュックと坂道にさいなまれていゝ所に、どうやら茶店らしき所があつたので休む事になつた。店の人が気安く、リュックを掛けさしてくれ、山頂へ至る道の説明もしてくれた。我々は弁当を持つて以前にもまして急ぎ道をのぼつていつた。途中獲

その二

徳田忠彦

のいるところにてだが、後で聞いた話では、この道を通つた時運悪くかどうか知らないが獲にめぐりあへば代金を取られるのだそうだと。我々が通つた時は、まだ八時頃で一獲もいゝかつた。頂上についたのが九時前で持参の弁当をそこで食つた。眺めは季節はずれとは言つても新緑と自然風化による奇形な岩石との調和は、我々の疲労感を陶酔感に誘ふに十分なものがあつた。前方には瀬戸内海を挟んで屋島が見えその附近に島々が散在している様子はこの旅の最高の地点と思わす厭名を書いたお札のようを切符と、これとは今度の旅行中



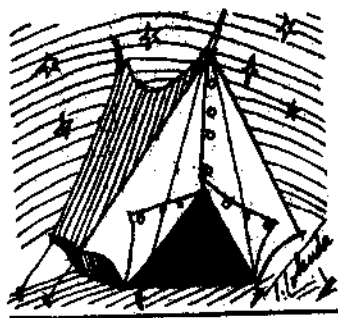
で見た珍らしい物の一つだ。鹿島で初めてキャンプをする。テントは張り方を前もつて練習していたのでスローペース

痛を感じてくるくらいなのですぐグダグダと縁側へ倒れるようにすわりこんだ。予定では鹿島まで行つてそこで昼にするはずであつたが、とろろい持ちそりもないのでそこで茶をわかし、木を切つてハンゴウで御飯をたいた。食べ終ると今八百メートルもの山を登つて来たとは思えいほど元氣になつた。そして茶屋の人々に別れを告げてバスで下つて行つた。

土庄についた時は二時くらいだつた。太陽が頭の真上でギラギラ輝いて、バスはガタガタとふるえ、人々は汗をいづばい流していた。広場にはバスが並んで止つていて、その真中に二十四の瞳の像が立つていた。旅行者は皆その前で記念写真をとる。我々もそれにならつた。そこからバスで鹿島海水浴場に行つた。そのバスの切符は国鉄のよう厚紙で出来ていた。鳴門のバスの全部の厭名を書いたお札のようを切符と、これとは今度の旅行中

ではあるが、割合とスミスに張れた。テントを立て終るとすぐ海に飛びこんだ。蘇ガラス一枚とおして外を見るくらいはつきりと底の藻が見えていた。午前中の強行軍のためかA君とB君が足をつたので上がった。これから晩飯のしたくだ。近くの店でキュウリとブドウを買った。おみけは水炊きをする水を使用するのに、一人一日十円だった。おみけにその水は塩分を含んでいてお茶にでもするならば飲めぬものでは方かつた。ロウソクの光で目をこすりこすりランプをやつた。天井にハエがいつばいとまつていたので皆でハエ取りもした。船の中では一睡もしていなかつたので、我々はすぐ深い眠りに落ちこんだ。体を締めない限り八本の足はテントの外にあつた。外からの眺めはさぞ奇怪であつたろう。

あまり暑苦しかつたので夜中(十時頃)目をさました。とりのM君は時々ゴソゴソしている。そのむこうにA君とB君がもぐれついで寝ている。そつと外に出てみると誰か「大の字」になつて寝ている。するとテント



の中に寝ているのは二人といふ事になる。M君は起きていらしたので声をかけたら意外にもそれはA君であつた。すると外にいるのはM君になる。かぜをひいたら大変なので二人で起しても全然起きないので、懐中電燈で顔を照らしてゆすぶつたらやつと起きた。そして「しまつた。ばれたか」空は一面の星でぎつしりつまつていて、大阪で毎晩見える星とはまたちがつているように思えた。昨日は四時ごろ冬の星座オリオン座がくつきりと見えていたのだが、今日は時間が早いのでまだ見えていない。流れ星が一つ松の木に落ちて消えた。「明日もいい天気でありますよらに」

朝はハエで目をさました。寝る前に全部取つたつもりだったがまだ残つていたらしい。もろ方々のテントでは煙がおいしそを臭ととも立ち登つていた。いつしよにラジオ体操をした。ラジオでは台風の接近を告げていたが、波の音は昨晩寝ながら聞いた音と少しも変りがないようにおもえた。

朝食を食べ終ると再び海に入つた。A君とB君は遠泳(八百メートルぐらい)をしてカニをビニールの袋に一ぱい取つて来た。朝なのでそこで泳いでいるのはほくちちを入れて五六人であつた。日が雲間に入ると少し寒く感じた。そろそろ人が多くなつた頃、上がつて出発の準備をした。

## 男のスポーツ

### ラグビー部

ラグビーは男のスポーツであり、そのプレイヤーの世界は、全くこれ男の世界であるといえよう。従つてそこには、経験しない者には判らない「男の物語」があるのである。

さて今年の我クラブは非常に盛り上りを見せ、強さを発揮している。インターハイ予選にしても、夕陽丘清水谷、関西経済に快勝し、強敵近大附には惜敗した。強くなつてくるとおもしろいもので先生も先輩も力の入れ方が違つてくる。

今年の合宿は強化をねらつて三重県の名張で行われた。勿論三年も含めて全員参加し、日程は八月七日から十二日までで、コーチには現在京大でバックローゼンターとして大活躍の市口先輩をはじめ十名もの先輩が御指導に来て下さつた。全日快晴、朝昼二回に分け

ての猛練習が連日繰り返された。苦しくもまた楽しい日々であつた。宿舍がその土地一の旅館で、とても広いグラウンドを持つていて、我々はそこで竹で臨時のポールを作つたりして練習したのである。夜は疲れているので早く寝るのが普通で、自由時間はトランプや将棋やごろ寝をしてくだらん話をするのが常で、先輩方の「さし入れ」を頂戴するのを楽しみとした。ともかくこの合宿は成果が上つた。

日々の練習がこれまた活発である。練習前後は冗談ばかり言つてゐるが、いざ練習が始まると全員ひきしまつて懸命に励む。そしてまた、怪我や病気で練習できないうちも帰らず練習を見、ボールを送つてやるのである。全員が一丸となつてゐるチームワークの良さに我クラブの誇りがある。今も社会人のクラブでプレイしておられる先輩などその結びつきたるや非常に密である。我々の交わりがラグビーだけでなく他でも同様である事故言ひまでもない。

今年もいよいよ残り少なくなつて来、よこれたジャージを着る身に、その寒さがひしひしと感じられる頃と方つた。思えば今年は何々の事が起つた。戦列から離れる三年生にとつて、喜びにつけ悲しみにつけその感慨はひとしおである。

朝の残りて昼をすませて、予定より一便船を遅らして乗る事にして出発十五分前に土庄についた。二十四の鐘の像は昨日と同じくバスのほこりをかぶつて太陽の光に白く光っていた。船「オリーブ丸」はもう着いていた。その時B君は時計をおきわすれて来たのに気がついた。バスは一時間もしかないのでタクシーを呼んだが、運悪く全部出て行つていたので仕方なく屋島をあきらめて船一便遅らした。残つた厚くとB君は寒霞溪で買った絵はがきで無事家事を家に知らせた。ラジオで高校野球をも聞いた。小一時間、そうしている間に時計を見つけてA君とB君は帰つて来た。船はすぐ遅れて入港した。深緑の湾に白い波しぶきをあげて真白に塗られた船が入つて来て棧橋に向かつてゆつくりと近づいて来た。二十メートルぐらいの所でぐんとスピードを落して小から船体をゆつくりと棧橋に横たえた時は本当にホッとした。

昨日登つた小豆島の山々が遠くからもまわりの島々を治めているかのごとく高くそびえ立つて見えていた。小豆島が見えなくなるまで今度は進行方向の少し左よりに美しいベイオニータを見る。「やしまあ!!」ある母親に手を引かれた男の子が叫んだ。皆の視線がいつせいに一点に集まつた。一年半ぶりだが、いつも彼女は故郷に帰つて来る者を優しく頬笑んで迎えるように見え、彼はいかにも故郷の象徴であるにふさわしく、そのすそのを大きく広げ、海ま



で両手をひろげてじつと見つめて見ようとした。船内の人々の言葉と屋島とは私にしみじみと故郷を感じさせてくれる。たまりかねて視線を反対側に向ける。と女木島(鬼ヶ島)と男木島が、これも我々を歓迎するかのよりに二ついつしよにきらんでいた。そうしている内に高松の町が見えて来た。木にかこまれた高松城も、森永の大きなネオンサインも赤と白との燈台も、あらゆる物に見覚えがあつた。浮き棧橋にしつかりと足をふみつけて

瀬礼口までの短い行列に加わつた。「ピシッ」にぶい音とともにまた周遊券が一枚へつた。あと四枚しか残つていない。これが全部をくわつた時大阪港だ。

船を二便遅らした為に残念ではあるが屋島をあきらめて栗林公園だけ行く事にした。現在のぼくたちの服装は、ポロシャツ・登山帽と、ほこりだらけのズボンそれに大きなリュック背負つておまけに首からは、黄色くなつたタオルをぶらさけていた。小豆島ならともかくとして、これから高松市の繁華街を歩こうというのだから見られたいものじゃあかつたと思ふ。しかしそんな事はおかないで、琴電の特急「こんびら」号に乗りこんだ。そして皆、新高松駅の大きいのに驚いた。大阪の高層ビルディングに比べれば驚く事はないが、高松という所は、ほんの田舎の小町で、ビルディングはあるか、農家はばかりかと思つていたらしいのでむりもなかつた。

栗林公園についた。入園料は二十円。ぼくは幾度も行つたとはいへ、いつ行つてもそれ以上の価値をその中に見出す事はなかつた。その時ぼくたちはほとんどグロッキーに近かつた。朝泳いだ事がこたえたらしかつた。無言のままの鑑賞が続いた。足はフラフラだし体はだるいしおまけに腹ペコだ。しかしその美しい人工美はぼくたちの目を限りなく楽しませてくれた。バックには紫雲山が緑色にちかづいていて、それが池やきれいに

散髪された木々と調和してまさしくこの世の楽園を思わせた。やかましく鳴く蟬の声の中から一生懸命コロギの声をさがしているかのように一言も我々はしやべらなかつた。長々と続いた垣根のむこうに銅像のある広場があつた。我々は糸であやつられているかのごとく、その芝生の上に天を向いてねそべつた。とたんに足の疲れが全身を駆けめぐり、動く事がおつくりになつてそのまま雲を見ながら十数分を過ぎた。

我々はこの広い庭園を全部見る為の最短コースを選んだ。そして何度も何度も腰をおろした。園内には大きな池がありそこには沢山のコイがいた。大きな物になると五十センチ近くはかるくあつた。そしてその池の端では冷たくつて水晶のように澄んだ水がどんどん湧き出していた。それは緑色のすべり台に乗つてそれらをゆらゆらと遊びかせながら池全体にちらばつていく。そしてその中にある小さな島にあつて池全部の上からの、夕日に照らされた池や木々の眺めは絶景だ。山



の形が山らしく、木の形が木らしく見えなくなるまで何時間でもそこに座つてもつとよく鑑賞したかつた。しかし疲れと空腹とがそろはさせきかつた。おまけに今夜泊まるのはテントではないのだから。

### その三

#### 松浦一成

こうして、我々は公園を出た。夕暮は我々に一層の疲労を感じさせた。通りを横切つてから近くの食堂へ入つた。食事を済ませてから傾けておいた荷物を取つてT君のおばあさんの家があるといふ山生山駅まで行つた。駅からその家までの道を、これから先のことなどの話をしながら進んだ。携帯ラジオが天候に触れる度に耳を傾けるのはここでも同じである。予報によると明日は雨に降るらしいといふことだつた。少し心配だつたがそれでも元気に、今夜泊めてもらふ「徳栄堂」といふ菓子屋へ着いた。ここで荷物を片付けて、すぐ銭湯に行き三日間の汚れを洗い落としたり夕食をいたゞいたが今までの飯盒料理とは比較にからさほどおいしかつた。夜は早く床に入つた。朝七時の目覚

入つて来た所と同じ所から、足の長い影を前に出していつた。そして我々は三時間目の休み時間に、食堂が引きつける魅力さ以上の力で道路一つおいた食堂に引つぱりこまれた。



のベルにも僕以外一向に起きる気配もなかつた。昨晚洗濯しておいてもらった衣類を整理してから予定より遅れて出発し琴平へ向かつた。金比羅宮の本殿までは大へん長い石段が続いており、廊に並んでいる石碑はその古さを誇つてゐるかのようであつた。平日の為か上ではあまり人を見かけなかつた。社をバックに写真を取つてから寄贈品を展示してあるところへ行つた。銭貨で細工したもののや船の模型に目を引かれた。少しおれたところの美術館でゆつくりしていたため予定時間を遅れてしまふ琴平駅へもどつた時には汽車は出て行つてしまつた。心配された雨がこの頃から降り出した。二時間を構内で過ごして汽車に乗つた時も尚雨はやまなかつた。大歩危駅へ降りたときはもう日が暮れてゐた。

小降りになつた雨の中を雨着をつけてカンヅメ六コとナン四コを買いに行つた。その間A君がキャンプに適している場所を調べておいてくれた。人家から少し下つた河原で土砂が横つている所へテントを張ることにした。砂地であるためテントをささえる杭がすぐ抜けてしまふので二十余の石を河原から運んだ。荷物も大ききナイロン風呂敷に包んで出来るだけ濡れないうちに、盗まれないうちに気をつかつたが結局テントのすぐ外へ放置しておいた。あたりはもう懐中電燈では何も判断できないうらになつてゐた。出来上つたテントの周囲で電燈の照らし合ひをTとして、そこらを走り回つた。疲れたので内へ入つて夕食にした。A君が非常食としてとつておいたキャンパンとさつき買つて来たカンヅメとで済ませることにしたのでがどろしたものか全部食べられなかつた。食事の後将棋をすることにした。S君としたが彼の両馬を取つて僕の先手で始めたがたちまち敗けてしまい、三人対Sでやり、Sの両馬金銀を取つて始めたのでやつと勝つた。レコードの話も出た。A君とT君はポピュラーとクラシックについて論戦していた。そんな頃流れが急に高い音を出しているのに気づいた。水

### その四

#### 浅井昌英

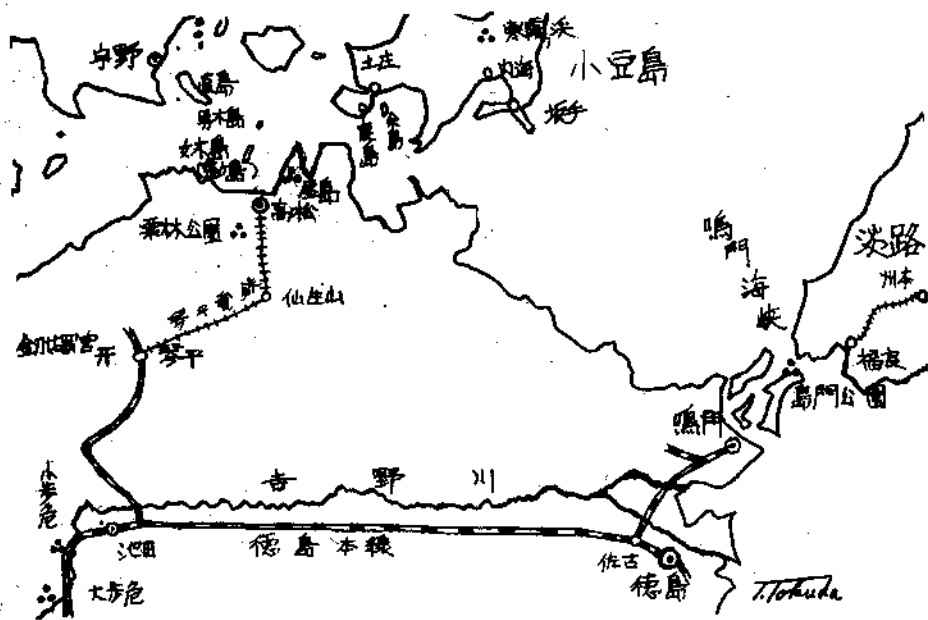
テントもたたみ、リュックもいくらか軽くなつて大歩危を出発したのがかれこれ十一時過ぎであつた。吉野川の急流を下に見おろして小歩危まで歩く。まず僕とM君とで、T君S君より先に立つて歩く。が、それがいつしか一キロ以上離れてしまふとは。彼は昨日の不平に比べて非常に元氣である。現在歩いている道は国道三十二号線、なかなかよい名前であるが道はいたつて悪い。後から大型トラックがくる、そろすると我々は崖にへばりつかねばならない。その連続からだからたまらない。反対側に上れるつて、そろすりや今ごろ谷の底。歩けば歩くほど彼はますます元氣になる。一歩歩くことによつて新しいエネルギーが彼の体内で合成されるのかもしれない。まもなく、といつても一時間ほど歩いて後だが、船着場が見えた。予定では船で下ることになつてゐるのだが、彼が歩こうと言るので(いや僕も歩くつもりであつたが)小歩危まで歩くことにした。後

愛し得るといふことは、全てをなし得るといふことだ。 チェホフ

を振返れども、二人は来ない。まあどつか店でも入つて休んでゐるのだからと云ふことになつて我々は方おも歩き続けた。太陽がジリジリと照りつけるし、荷物は重いし、こつちのほろがまいりそうだ。後ろから来たトラックが我々の横に止まり、後の二人がのびてしまつたから、ひき返せと言ふ。なんだあ、それでは二人はまいつとつたのか。そこで彼、がぜん奮気して、自分がひき返すと云ひだす。それならばといひるので彼にひき返してもらふ事にした。そうなるも僕は二人分の荷物をしよつて歩かねばならん。荷物の重さが倍になるだけなら良いが、背中モタモタしてどうも歩きにくくていかん。しよつちゆ手を後へ廻して、安定させておいておもむろに一步足を前に出す。そんな調子で下ばかり向いて歩いていたので危うく小歩危駅を知らずに通り越すところであつた。駅に着いてリユツクをおろし後は三人が来るのを待つだけだから、いたつてのんびりとした時を過す。口も動かさぬ、退屈しだして来たが、彼らはなかなか来ない。まさか三人ともまいつてしまふこととはあるまいと思つてゐたが、ほんの少々心配になつて



きた。よりやく二時間ぐらい後にまずM君が二人のリユツクをしよつて、意気揚々とやつてくる。その後からI君とJ君がやつてきて、弁解がましく言ふには、彼が威勢よくやつてきて、二人のリユツクをとりあげ、さつさと先に行ってしまつたとのこと。さもあらん、誰しもこゝろい時はどういふものだ。おかげで次の列車が来るまでまた二時間。なるべくリユツクを軽くしようといひわけで、かさばるカンパンを食ふことにした。しかしカンパンばかり食ふとどが乾いてしよろがない。それで水を飲む。腹の中でミツクスされてゐることだらう。よりやく列車に乗り鳴門に着いたのが夜の十時。今晚はベンチでも夜を明かすことになつてゐたのだが、ベンチより列車のほろがましだろと思つて、乗つてきた列車の車掌に聞く。この列車は止めおきかどらかと。しかし一時間ほどたてばまた出るとのこと。残念。その望みもはかなく消え、じつと「当駅附近の案内」と書かれたわびしき看板を見る。キャンプ可能とある。こゝは鳴門ではないか海岸へ行けばテントが張れるだらう、ベンチよりはまだまだだろ。そこでさつそくバスで、おそろく最終のバスで海岸へ行つてみた。なるほど四つか五つかテントが張つてある。彼らはいぶかしげに我々一行を見る。ごもつともこんな遅く来る者もあるまい。てんでに懐中電燈を片手に、ごく落ちついてテントを張る。(急ごろがゆつくりしよ)



が仕事の量は同じではないか—リユツクをまとめ、テントに入つて横になる。目をあいてゐること数秒、眠つてしまふまで数秒、まことに寝つきの良いこと。翌朝は八時の船で淡路島の福良へ渡らねばならないので七時に起きる。M君に起こされて目がさめた。後の二人はまだ寝てゐる。まるであけつ放しである。予定の八時。見えた見えた、いやに小さな船が。こんなやつ恐かの鳴門を渡るのかと思つてゐると岩壁から百メートルも行かないところでエンジンストップ。再び福良から別のが来るまで待つという。おかげでこちらは朝飯を食ひそこねまたカンパンで我慢する。福良から州本までの電車の中、彼ら三人三様の型で寝入つてゐる。ちよつと失礼して写真をとつてやつた、どんなのができるかみものだ。州本に着いたら正午を過ぎていたし、もう腹ペコである。飯合なんかで飯を焚いてなんかいられるものか。食つた食つたよく食つた。腹がふくれると眠くなる、と思ふがいや、よけいに目が冴えてきた。今日は八月二十日、海水浴客も、そうはいない。しかし土床の時はほんの数人がちらほらだつたが、それよりは混んでゐるかもしれないが、まあ泳ぐ水はありそうだ(どこかの海と違つて一さすがに寒かつた。そうそうに引き上げる。早く大阪へ帰りたい。今日こそはフトンの上で寝れるだらう。しかしあまりにもはやまつた。船の出るまで一時間余り。そこで日君、タコを買う。タコとは海の底でぎげん良く歩いてゐるものと思つてゐたがそうではない。スイスイと泳いでゐる。その上、このタコは死を予期してか、生への愛着が断ち切れんのか、タコつばへ、入りたがらない。そこ

で店の主人、まず頭をつつこんで足をひよいひよいと入れて、フタをして、ナワで縛って一ちようあがり、しめて百五十円也。山水丸(偶然にも行きと同じ船である)名前はいいが、一番小さな船とのこと。大阪を出るとき同船したどつかの兄ちゃんを教えてくれた。まあそんなことはどうでもよい。行きと全く同じ位置を占める。行きはなにしろお盆で夜便だったので一度立つとさあ今度は横になる場所がない。しかし帰りはガラガラである。大阪へ着くまで三時間ほどあるのだから、体をいっぱい伸ばして寝る。横で誰か将棋をやっていたようだが……。

七時過ぎに大阪へ着く。なんだか二十年ぶりに帰ったよいう気がする(まてよ二十年前におれはこの世に存在していたかな)その日は、わが家のありがたさをしみじみと味わって、ぐつぐつと眠ることができた。

終

## 全米ジャンボリーの毎日

東野吉佑

広大なコロラドの平原のジャンボリー会場、その広さは想像以上で、二十八ヶ国から五万八千人のボーイスカウト(一二十八才の者が参加)が集まった。アメリカのボーイスカウトが何をしたか……、ということはスカウト関係者のみならず我々若人にとつて大変興味深いことである。僕は広い会場のあちこちに設備された各種の催物や内容豊かなプログラムを、僕の所属したアメリカのボーイスカウトがいかにして消化し、ジャンボリーを楽しんだかを観察してみることにした。

タツタラツラツタと鳴る起床ラツパにとびおきた彼等は静かに響きわたる消灯ラツパまでの時間をうまく使う者と、たゞ漫然とその日その日を送ってしまう者と二通りある。炊事当番、火起し当番、水汲み、あと片付けとそれぞれの任務は毎日彼等(私も含む)をつきまとうがその中を

書

私はその人柄のうちにくらか老人的なものを持つている青年を好ましく思う。

同じように青年的なものをいくらか持つている老人を好ましく思う。

金

このような規則に従う人間は体が年を取つても心が老いることはない。

キケロ

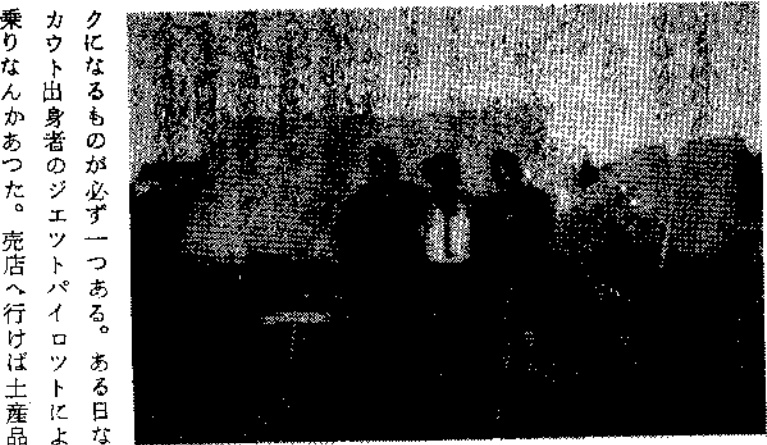
うまくやりくりした者はこのジャンボリーが最も有意義であつたろう。隊としては、朝の涼しいうちに五時起床でハイキングに出掛けたり、野外スポーツ、ゲーム場に行くため早起したりする(隊によつて違い、活発な隊は次から次へとプログラムを消化していく)。また場内にあるライフル射撃場、魚つり、弓の練習場へ班ごとに掛

書

若い男が教える事を愛し、若い娘が学ぶ事を愛する場合は美しいものである。

ゲーテ

がすけばハンバークを買つて食べたり、コココーラを飲むだり……。しかし何といつてもこんな大きなジャンボリーの特長は、世界中のスカウト仲間と語りあう(英語で?)ことである。



クになるものが必ず一つある。ある日なんかは、ボーイスカウト出身者のジェットパイロットによるジェット機の曲乗りなんかあつた。売店へ行けば土産品を買つたり、お腹

今回の場合、カナダを除いた二十八ヶ国のスカウトはみんな一人又は二人でアメリカの隊にゲストとしてその期間内所屬し、その隊の隊長の指揮下に入るといふ世界初めてのケースをアメリカの本部ではとつた。彼等は広い場内(五万八千人の市を想像して下さい)に散らばつていて、各国の友達を求めに出かけたり、サインや記念品の交換(自分で作つたものから店頭で買つたような物までいろいろ、中にはカメレオンなんかを持つて来ている西部のスカウトもいた)写真をとつたり、各州のスカウトがともに手をとりに話しかけ合ふ(他州の者に対して特に自分の州を自慢する)光景にさすがに大きなジャンボリーぞと感ぜさせられた。特に日本人に対して友好的で、僕達外人(アメリカから見れば)が二十分もあつたら歩けるところ、サイン攻めや、写真をとらしてくれといわれ、ことわるわけにもいかず、



# 数学の

## 本筋

堀北 哲也

二十世紀は全ての世界で画期的な時期である。芸術ではほとんど抽象化され、抽象絵画や、抽象彫刻、抽象音楽、前衛生花などがひんぱんに出てきた。これは全て、具体的、直接的なものの行きつまりであり、人間の飛躍である。絵画においても、彫刻においても、今までのように実物の複写や人間をもつとも人間の形に似せて抽くようなことは芸術としての価値を失ってしまった。音楽においても美しい旋律などを作るより「聞い

他の隊を訪問し、各州の友と交わることに大きな目的があるために、彼等の毎日はいそがしい。

Tamboree n (北に國際的の) 少年団大会 (Rally)

ても全然わからん」という音楽があらわれた。偶然の音楽と称して、サイコロや電子計算機で作曲するのまであらわれている。そのような傾向は数学においても全く同じである。現代ではユークリッドのあの美しい論証で組み立てられたユークリッド幾何学は全て過去のものとなり、現在では非ユークリッド幾何学、それより超ユークリッド幾何学と言った方が適切だが、そのようなものが中心となつていく。代数学においても、全く飛躍し、微分積分から位相解析の方へ進み、クラシカルな、ロマンチックなものからほとんど遠ざかった。この発達の原因はもはや数字が我々の世界、つまり三次元の世界に滞ることができず、次元を超越しなければならなかつたからだ。そして抽象化という傾向が全てこれである。抽象的方法とは、秋月康夫氏の「抽象代数学」(共立出版)・Ⅴの冒頭の文から引用すると「与えられた公理系をみただけ論理体系から、たゞ論理の筋だけを見通して、ある

とつてもらつたりしていると一時間もかかつたほどだ。そして毎晩キャンプファイアーに招待される。だけどこんな気持ちまんざら悪くなかつたね。日本においては忘れられた存在だけれど、あちらでは国民外交官だものね。

まとまつた命題を導く方法」である。「ユークリッドの幾何学においては、論証は実に美しく抽象的ではあるがその証明を導く過程は抽象的ではない。実際、円や直線を描かないで考えないと、図形の直覚に導かれて公理系から論理的表現へ移つていくのである。これに反して、対象の固有な性質を捨て去り、論理の骨組を見透かしやすくする。これが抽象的な方法の根本である。」ここまでは数学が発達すると、数学とは論理そのものであると定義するのがふさわしかろう。もはや数学の四則計算でもなく、方程式の根を求めるでもない。ましてや、問題集と首つ引きで公式とにらめつこなんてものは、数学の本筋とは全く縁がないのである。では彼は問題集と何をしているのであるのか。強いて言えば、数学の中のほんのかすかな、十分小さく、ネグレクトできるようなもの、すなわち算術に追いまわされているのである。私は何も算術に追いまわされている人を攻めるつもりはない。算術でも十分人を困らせ、できない問題がでてくる。しかし、私は現在ここまで発達してきている数学そして算術の道も通つたが、あつという間に通過して殆んど論証という道を歩んだのだ。そして現在に至り、将来に向かうとしていふのだ、ということを描きたい。私は必量十倍も二十倍ものエネルギーを使つてそんなことを

させている。そしてそれを強いているのは何かというところもみんなに考えてほしいと思つていく。そして現在やつているのは数学ではないのだ。数学なんて名称をつけるのがおこがましいくらいだ。私達は小学校以来いまだに算術を習つていふのだ。中には十七才で今でも史上最高の論文を書いたような人もいふのに……。そしてつと本筋に戻り、高校を出れば全く役に立たない、却つて論理的思考という点からじやまになるような今の算術を一時も早くやめてほしいものだ。みんなはもつと数学を知つてもらいたい。数学という完全な哲学を。そして「集合論」や「函教論」は高校の間に読むべきだと思つます。特に前者では一種異様な数学と思つても知れませんが、これこそ数学なのです。この純粹な数学を異様と思わせるような算術ばかりを今までやつてきたからそう思うのです。今、数学ができる方も安心して下さい。あれは数学ではないのですから。少しでも知的な人ならその大小はあれ、数学を知れば興味を惹かれるでしょう。中にはその体系の見事に胸を打たれる人も出てくるでしょう。そういう人が一人でも多く出てほしいと思つながら、これを書きました。





# 私のペンパル

黒田 喜美子

「郵便よ。」と言つて母が持つて来てくれた白の角封筒。私は心の中で「もしや」と思つたが、やはり一カ月余りも待たず望んだ手紙だつた。表に「AIR MAIL」と書いてあり、私の胸は、はずみ、封を切るのもどかしけだつたが、開けて見ると中には、彼女はヘイズル・パーネットといひ一九四六年七月二十一日に生まれ、身長が五フイート二インチあり一五ポンドで、髪はレッド、目がブラウン、ボビイという兄がいるがもう彼は結婚している。父はイレクターリシヤンである、という事などがいつばい書いてある。将来彼女は、ピアノの先生になりたいと言ふ。スクールバンドに入つてサキソフォンとピアノを習つているのである。これによるとよつほど彼女は音楽が好きらしい。手紙に夢中になつていた私は、何かポトリと音がして気がついて見ると、下に写真が二枚落ちてゐる。手紙の間にはさまつていたらしい。一枚は可愛らしい一見してアメリカ人とわかるような女子の写真だ。カールした髪、見てみるとレッド

とは思えない。ブラウンの目がとてもやさしくほほえんでこちらを向いている。それに彼女は近眼なのか目がねをかけている。しかし、彼女の目がねのふちは、私が今まで見た事もないような模様がある。とても素敵が目がね。私もちよつぱりかけたたいような。でも彼女は十三才にしては大人びた感じを帯びていような気がする。もう一枚は、ちよつぱり四角い写真で、それには学校が写つてゐる。木に囲まれた小学校である。何だか古めかしい感じがする。彼女はアメリカのテキサス州ペコス川に住んでゐる。ペコスはメキシコ湾に流れ込むペコス川の流域にあり近くには、エルパソ、西部劇でおなじみのアビリオンなどがあり、ユーストンやサンアントニオ、ダラスなどの大きな町がある。それらは私には何度か聞いた事のある名前ばかりである。この手紙を受け取つたのは昨年の四月で、私が高校に入學して間もない頃である。間もなく二度目の手紙を受け取つた。前より大きな封筒で大変重い。何が入つてゐるのだろう。中を開けるときれいな七枚のポストカードが出て来た。見てみると私は何だか西部劇を見ている様な感じになつてくる。何故かと言へば、広々とした荒野で馬に乗り羊の群を追つてゐるのや、牛に焼印を押しているカウボーイはちやんとローハイドをはいてゐるし、西部劇に出て来る様な全部木で建てられ、前には馬をつなぐ様な柱が立つてゐる。ザ・ジャージー・リリー。と呼ばれる保安官事務

所。それには、ジャッヅ・ロイ・ビーンと甲板がかかつており、そこら中サボテンだらけである。一枚だけとても近代的な真白の一階建て横に長い建物の写つてゐるのがあつた。これが、ペコス・ハイスクールなのである。前には星条旗がたなびいてゐるし、広々とした庭、この建物の外には青空以外何も見えない。この学校と何と違ふ事か。石油のやぐらが写つてゐるのもあつた。私はこれを見てちよつと驚かされた。こんなにも田舎じみてゐると思わなかつたのである。でも広々とした大地、どこを向いてもはたしなく続く草原、私達にはこれつぼちも想像出来ない。ペコスでは七月四日にロデオ大会がある。皆ウエスタン・ドレスを着て来るのである。日本のお祭りみたいなものがある。ジャッヅにはロイ・ビーンがなる。このようにして一日皆が楽しく騒ぐのである。今年の五月に来た手紙には彼女はもうペコスハイスクールの一年になつたと書いてあつた。又、スクールバンドは仲々の活躍で各地の演奏会で一等を取り喜んでゐる、とあつた。同封してあつたポストカードはアビリオンで泊まつたホテルを上から写したものである。建物がまわりを囲み真中にはプールがあり横にはヤシの木が植えられ、建物の外側には自動車は何十台と並んでいて、ホテルのずつと向うの方に町が見える。ホテルのまわりには立体交差のハイウェイがずつと続いている。とてもすばらしい景色。「一庭こんな所に行きたいな。」

# NARANDA

時計・貴金属



## 仲庭時計店

と誰もが思う事だろう。彼女も同じ十五才になるためだろうか、前の手紙に書いてなかつたような事が書いてある。それは友達の家でパーティがあり夜遅くまでダンスをしたりクッキーを食べた事。もう一つは、手紙の後の方に書いてあつた事である。「私は大きな問題を今持つている。大変重大な事である。新しく町に来たジョン・ハーバーという少年がいる。」これで大体わかつたのであるが、先を読むと、何だか私に助けてほしいらしい。まだ話をした事がないので悩んでいるらしい。「すぐに最上の友として書いて助けて下さい。」と手紙を結んであつた。さあ困つたのは私である。こんな問題私に聞いたつてわかるはずはない。そうかと言つて替かないわけにはいかない。そうこうしている内に七月になつてしまつた。七月二十一日は彼女の誕生日である。「何か送つてやろう」と思つた私は日本人形を買つた。でも私のおとずかいだから、もちろん良い人形ではない。しかし大変可愛らしい人形である。送るには中央郵便局に行かなくてはならない。私は心細いながらも一人でいつた。中をぞくと多勢の人が郵便を待つて行つたり運んだり忙がしそうにしている。「私も高校生だ。しつかりして行くんだ」そう思つてFOREIGN MAILと書いてある所まで行つた。しかしどう言つて良いかわからない。前にいる係の人に、とりあえず「これ出したんですけど」と言つと、うさくさそうに、「住所を詳かなあかん」と

あつさり言われてしまつた。次に来た女事務員には、慣れ慣れしように、にやにや笑ひながら話をしている。「あはらし」と思つていたが、これがきつかけで、係の人がやさしくなつて私にいろいろ指示してくれた。「何で送んねん」と聞かれたから私は「航空」と答えた。そしてしまつたと思つた。何故つて次にその人が言つた言葉「八四九円」を聞いたからである。しかしもう遅い。でもその人が「次の小包室に行つて見、あつちの方が安いから」私は何で安くなるのかわからなかつたけれど、その室に行つて見る事にした。その係の人に計つて貰つと「八四九円」と言われた。お小使いが少し痛い方が仕方がない。一週間で送るには航空しか仕方がなかつたのであるが、さて無事につくものかわからない。何故つて私に見ている前で、その小包みをはつて後の方においたからである。二週間程して札の手紙が届いた。無事着いたのである。「大変美しい珍しいものを買つた。こんな物は今まで見た事がない」と書いてあつた。人形より運賃の方が高かつたのを、もちろん知らないのである彼女は八月の私の誕生日にドレスを作つて送つてくれるのである。私は大変楽しみに待つていた。このようにして五回目の手紙を受け取つた。この間、彼女はポストカードや切手をたくさん送つてくれた。私ももちろん送つた。何だか私に文通によつてアメリカが近くなつたような気がする。

## 随想

### 雑記

友清 裕 昭

今までの高校生活をより返つてみて、実際に起つた事や心の中での出来事を思い出すままに書いてみたい。今まで二年半に実いろいろなことをしてきた。「何でもしてやろう」というのが私の高校生活のモットーであつた。そのため何でもしたが何も完全にはやれなかつた。しかしこれでもいいのだと思つている。高校時代に出来るだけ多くの経験をし大学に入つてから一つのことには全精神を集中させたいと思う。

人間が本心に物事を深く考えるようになるのが今の我々の年代である。例えば漱石の文学を取り上げてみても、そんなものは中学校時代に読んでしまつたと言う者もあるがその頃本心に彼の作品が理解できるはずがないと思う。た

だ筋を追ひ表現を面白いと思うだけであらう。今でさえ彼の「則天去私」の境地など殆んどの人には判らないであらう。しかし何か心の中で求めているものがそこにあるのではないかという気がする。しかし深く考えることも出来ず高校生活は終つてしまひそうである。

去年西の京を一人で歩いたことがある。堀辰雄の「美しい村」の文章にひかれてでもあるが同時に古代人の生活の場を体で感じ取りたかつたのである。私は美術の方はどうも苦手で建築や彫刻の美は実際のところあまりよく判らないのだが、その背後の歴史を思い浮べながら眺めていると薬師寺、唐招提寺はもちろん、そこらの田園風景までが美しい。なつかしい何かを持つて私にせまるのが感じられる。歴史を一人でたずね歩くのもこの時限りになりそうである。漱石を読み歴史をたずねて教室では出来ない勉強をもつた。又二年の始め頃キリスト教に興味を持つた。聖書を読み教会にも何度か行つてみた。私は宗教のこともあまりよく知らないのに、私の知る限りではと、ことわつておくが、多くの宗教の中でキリスト教が民主主義を至上とする社会に於ては一番すぐれているのではないかと思う。それは「天は自ら助くる者を助く」という言葉であらわされる積極的精神の故にである。どんな立場に立とうと自分の力で難局を打開しようとするのを勧めその場合に神が味方すると説いていることは民主主義にとつて大

な利益をもたらしている。他力本願の宗教をこの点から眺めると人間を無気力にする危険がある。鴨長明があれほど社会をよく見ておりながら自己の生活に閉じこもつてしまつたのもここに理由がありそうだ。その他キリスト教の持つ「汝の敵を愛せよ」という友愛精神、「人もし汝の右の頬を打たば左の頬をもこれに向けよ」という教え、キリスト教徒ならずとも学ぶべきことだろう。しかしキリスト教をこんなにはめはしたものの私はキリスト教にも満足出来なかつた。キリスト教そのものより「人を愛せよ」と教える前に教会に來いと教える教会のあり方に失望した。宗教を社会に対する働きかけという面を無視し心の平安という面から眺めると、仏教にも充分の価値があると思う。私は今のところ神も仏も信じようとは思わぬが禪についてはその初歩だけでも知りたいと思つてゐる。

現在の高校生活の弊害の一つに大学受験があるがその具體的例としては受験勉強のため時間に追われほんとうにやつてみたいことを落ちついてやれないということだ。私自身もこの頃は時間に追われがちだ。このいそがしなかつた夏休みに私の一友人は激石を私の本箱から持つていつた。なかなか感心な奴だ。しかし彼も充分時間をかけることは出来なかつたようだ。私も次から次へと興つてくる疑問悩みをいいかけんにおいておきたくない。しかし落ち着いて考える時間的余裕がない。ここからも一種のあせりのような

ものが生じる。一番やりたかつたクラブ活動も少なからず制限を受けた。一、二年の間は勉強をそつちのけにしてやつてきたが三年になるとやはりそうはいかなくなる。よくて一週間に一度ぐらいしか出来ない。私などまだまじな方々の中には二年の中頃からクラブ活動を勉強のためにやめる者、ひどいものになると最初からやらない者がいる。クラブ活動をしたくないのではなく、やりたいが出来ないという者があつた。クラブの必要性についてはいまさら私が云々することは無いと思うが一部教師にクラブ活動に反対の気運があると聞いた。これが事実とすれば全く遺憾という外はない。私は自分のクラブ活動で好きな事が出来たという外に一つの収穫がある。それは親しい友達が出来たことである。実際合宿その他で一つ釜の飯を食つた間柄は普通の級友の比ではない。発刺とした高校生活は良友がなければ出来ないことである(もつとも私の場合は悪友かもしれぬ)。この点では我が「悪友」に大いに感謝している。この悪友というのが又面白い。一人は笛がうまいが黙つてゐるといつとも「月の砂漠」をふくのは困る。黙つてもいろいろやつてほしい。又物を作ることとテレビのコマシヤルを憶えることにかけてはまさに天才だ。ウクレレから獅子舞の道具まで何でも自分で作つてしまふ。彼が作つた自動投球器や自動本めくり器にはお目にかかる光榮に浴さなかつたが彼の傑作中の傑作らしい。もう一人は禪

のオーソリテイであり同時に火をおこすことの名人だ。この火おこしは登山には欠くことの出来ない貴重な存在である。今年の夏、彼から火を吹く極意とキユウリの苦味をぬく方法を授けられた。もつとも後の方はどこまで信じていいのか判らない。最後に控えているのが雲上人とか称している奴で、彼は実際にいつも最後に控えており皆がせかすのを風に柳と受けてグツと落ちついている。しかしそんなに賞録がある訳でもない。彼の美点は比較的金離れのいいことである。一こういうと明日もおどつてくれるかもしれぬ)。彼等の中には国粹主義者あり中庸をもつて任ずる者あり、又茶室の障子に穴をあける豪傑ありで、剣道をはじめとする武道や詩吟、笛などに対する興味を除いては似かよつたものは何も持ちあわせていない連中だ。それにもかかわらずお互に仲がいいのは全く不思議だ。話が横にそれたようだが大学受験の弊害についても一つ言いたいことがある。それは授業内容が多少とも受験本位になることだ。これはいかんともしがたいのかもしれない。私自身人生の敗北者になりたくない(入学試験に落ちる事即人生の敗北とはもちろん言わぬが教養技術を身につけるオーソドックな方法として大学がある以上まず才一步のつまずきと言わねばなるまい)だからこれを当面の目的とせざるをえない。結局これは学制そのものを改革しない限り根本的解決は望まれないのであろう。

高校生活の一つの要素である自治会活動は私は積極的にはやらなかつた。これは私が高校に入る前から考へていたことだ。私は中学校での経験から高校では自分自身の生活がしてみたかつた。一度は強く勧められて迷ひかけたがある友人の助言でついに断つた。今は自分の道を進んでよかつたと思つてゐる。この友人といろいろな事を話し合ひながら一年間自分と社会をじつと見つめてきた。何度か失望したがその結果私は多くのものを得た。時間的制限で思うように過げなかつた二年半であるがやはり楽しかつた。その間に私なりの成長をしたと思う。純粹の理想主義者であつた私が理想と現実の矛盾、対立に苦しむようになりついに今年の夏冷酷な現実完全にうちのめされた。しかし私は負けなかつた。今はようやく立直りもう一度理想に向つて進んでいこうと思つてゐる。そして残されたわずかの高校生活を豊かな厚みのあるものにした。



君と、いう

友を得た今は

小林正輝

恋愛とは男女が互いに愛情を交換することで、尊敬心とか興味で男女が交際することではないと云う事を皆さんは知っておられるでしょう。

僕が彼女と云う女性を知ったのは確か一年の二学期の頃だと記憶しています。

薄暗い画廊の中に多くの肖像画に混つて偶然にも彼女の顔が在ったのです。その時の彼女の顔は何か思いつめたようでもあり、神秘的なグエールに包まれていてる様にも思えませんでした。僕はそのグエールをはがしたいと思う願ひをもつたのです。美術館からの帰路僕は心をおどらせ夢中になつて話をしていました。(僕が彼女と話をしたのは、親しく女性と話をする最初の事だつたのです。)話題の運ぶままに話をしたゞけで彼女の顔が僕の肖像となつてしまいました。ところで彼女は僕に対して常に姉の様であり為す事、話す

事にやさしく批判し彼女の意見を僕に与えてくれました。僕はそんな彼女の心底から尊敬して何事についても相談しました。(彼女がいつも僕の事を考えていてくれると思つたから)でも今、考えると僕の思ひは単なるライトであつたかも知れません。

彼女はいつも速く眸めてゐる様であつたし、唇をしつかりと結び、左のはゝに笑窪があつて本当に深味のある女性にふさわしい顔立ちをしていました。僕はそんな彼女の横顔を見るだけで満足してゐたのです。

二学期の終り頃僕が虫垂炎で一週間程学校を休んだ時でも彼女は最も回数が多い病室への訪問者となつてくれました。枕元の菊の香と彼女の真白い歯並の間から聞える声でもつてその一週間は本当に楽しいものでした。このような行為も彼女に取つてはごく自然な行為で、僕を弟として扱つてくれたゞけにすぎない事を後になつて知りました。

手術も終り退院したある日、僕と彼女は近くの公園の芝草の上に坐つていました。

その時の彼女の会話というのは……

高校生活に恋が芽生えたとしても、やつぱり私達の生活は、将来の共進となるものだから、その為には交際を犠牲にしても仕方が無いし、将来多くの人と接することが出来るから高校での交際はそれだけでよいのよ……  
というのでした。

僕は彼女がそう言つてゐる間にも失望の念が湧いて来るのを感じていました。僕の思つてゐる以上に彼女には僕に対する愛情が無いと云う事が僕には感じられたのです。彼女に対する思慕の念が高まつていた僕は自分自身をバカモノ扱いにしたくも思ひ、又過ぐ後には胸の中に憂愁の風が吹いてゐるのでした。

これ以上交際を深めるといふ事は不可能だし、彼女から交際をあきらめるように言われるよりも僕自身で手を引いた方が相方に取つて良い結果を残すと考えたのはその時からでした。それで僕は次の事を彼女に言つてやりました。

僕は未熟な人間だよ、それに人を好きになれるが、愛情を示すなんて事は出来ないんだ。今の僕は君に対する愛情を持って持つほどよけいに悩むよ。君は僕という人間は向かないんだね。時間ももつと経つと時間が僕をたぐましくし人を愛する事を与えてくれるだろうなあ! ああ早くそう云う人間になりたいよ。

この時ばかりは彼女は姉でもなんでもありませんでした。彼女はこう言いました。

あなたは良い人だけど私の考える事とあなたの望む事が一致しないのは残念だね。

その日以来僕と彼女は良く顔を合せた停留所でも会う事が全然無くなつた事です。

たゞ学校の廊下や運動場で顔を合わす時は、双方からなに

世界の有名品

ブラザー=ミシン



富もなかつた、学問もなかつた人であつたけれども己の一生涯を銘々持つて居つた主義の為に送つて呉れたと云われたくはない乎。假令我々の生涯はどんな生涯であつても……ここまで読んでくると心に焦りがなくなつていた。

この作品は次の文章で終つてゐる。  
我々に後世の人に是ぞと云つて覚えられべきものは何にもなくとも、あの人は此の世に生きて居る間は真面目な生涯を送つた人であると云われるだけの事を後世の人に遺したいと思ひます。

## 大手前人間種々

白井五郎

これは一生徒の針の穴ほどの目を通して見たことを率直に書いたものである。快い苦笑を心に留めておかれることを希望する。

のである。

はなはだ残念である。そんな者に私は行動する前に三秒間待てと云つてやりたい。始めのうちはその事を忘れてしまつてなかなか実行できない物のだが、実行しよう実行しようといつても思つてると一ヶ月もすれば実行できるようになる。そして落着いた立派な人になつていく。昔親が「……いわんや悪人をや」とかいつたそうだがまさにそれとおりでである。ところが親も見落した悪人がいる。それが……つぶし屋仲間に入りそうで入らないからおもしろい。つぶしている者を見て、ああ、俺もつぶしたい、つぶしたい。つぶしたい、という類だ。こんな者がつぶし屋を尊敬までではなくともほめたたえるのである。意志は弱いし主義張すべき事もあることの出来ないあわれな人間だ。……尼寺僧寺へ行き、尼寺へ……と何かにあつたが私はそれを勧める。そして悟りを開いてから帰つてくるがよい。

同じ人間でもこんなのがいる。それが大手前にも若干いるから残念である。街のマンちゃんや不良にあこがれる者である。そしてややそれに近い。ある時は変なぞうりをはいて来たり、又ある時は、背の高い者がわざわざ高げたをはいてバカでかい音をだして図書館へ入つてきたりする。そんなのは人の迷惑を全く考へない。そしてなお悪いのは人をなぐつたり傷つけたりした事を名譽な事をしたかのように吹聴する。我々はそんな事はしないし……もも誤つてし

いわゆる「つぶし」という種の人間がいる。我々から見ると全くばからしいのだが、特殊な場合においては当然あらざる手をあらしめ、人々の注意を自分一人に集めよう、そして（別の意味の）英雄になろうとする者のことである。本人はその後、こういう事は偉大な事だ。君等には出来んらう。それを俺はした。だから俺はえらいんだ。とか何とかで思つたかどうか知らないが、彼等は行動後も全く恥じないものだ。ところが中にはそういう事を道行の後恥じる者もいる。……つまらん事をしたものだ。なんであんなあほな事をしたんやろう……という類だ。この類は物事の善悪の判断をつける前に行動にうつすつちか者だ。ところが叱られるなら、両者共同じように叱られる。前者は教師に叱られながら（怒る者を教師とする）全然反省などせず下を向きながらこの教師は前々から小さいと思つていたがこんなにも小さかつたか。おや、なんだ、あの教師は。あんなに頭がうすくなつていたか。全然気がつかなかつたわい……などと考えているのである。そして……はい、はい、すみません。」といつてはいるだけである。……すみません……なんてうそである。ところが後者はもうすでに叱られてゐるから（自分自身の良心に）叱られながら……才三者はこのように見ていたのか。そやけど何で俺はこんなことをするんやろ……と思つてゐるのである。ところが叱る方（教師）は結果を責めて原因を取り除いてやろうとしない

でも恥ずかしくて人に言えないのだが……。

だから一種のきちがいだ。ある先生なら「恥を知れ恥」といわれるであろう。ところが彼等は恥を知ろうとしても知ることのできぬ人間である。そんなのは追放すべきである。

又こんな人間もいる。朝から朝まで寝ることを知らずに勉強しているのである。いかに大手前の先生でも……やりすぎだ。もう少し休みたまえ……とおつしやられずにはいられない類である。彼等の大きな共通の特長は融通が全くきかないことだ。臨機応変性を全く欠いてゐる。つまらない人間であると思ひは思う。生存競争の激しい社会に出ればたちまちのうちにはずれる事はわかりきつてゐる。才三の世界で英語でも勉強しているがよい。

又前のは正反対に全く勉強しない者もいる。彼等が勉強しないのは我々にとつて何の苦痛にもならないからほつておく。ところが彼等にはそれがたまらないので勉強している者のじやまをする。彼等は淋しがり屋で、淋しさにたえることができないのだ。あのロマンチックな淋しさにも嫌われるならば即ち兼好にさえも嫌われたことになる。つまり真の友はどこにもいない。そして淋しきにもたえられない。そんな者がたまに……悲しき十七才……となつた浅沼氏を殺したりするのだから。そんな者は大手前には少ない。もつとやつかないのが存在している。学校では勉強を余

りしないので人の勉強の邪魔をしているが家では全く一生懸命に目をむき出して勉強しているのである。頼もしい奴である。最後までその状態を続けられるならば、そんな者は半年もせぬうちに何らかの形で破滅がくる。皮肉な世の中だ。

皮肉といえはこんな教師もいる。いつも人をなめてかかり生徒の足をとるのに懸命だ。そのくせ校長先生をほめてばかりいる。校長先生は我々も人格者で偉い先生である。して言葉は大事だと思ふ。同じ人間でも「言葉に左右され」と思っているし、認めている。生徒をけなすその先生が正反對な事を言うので、或る生徒曰く「これも勤評の影響ですね」とやりかえすとその先生は何もおとしやらない。だから生徒から嫌われる。何かに徹すればよいのにと思ふ。何か機会があればいつも攻撃を受けるのはその先生だし、課外といつてもその先生の時間になるとさつと生徒は散る。それは生徒が不熱心であるかと責めるべきであると思うがそればかりも言っておられない。何分未熟な生徒のことだから感情の方が学問探究の念よりも強いのだろう。仕方あるまい。それにしてもあわれな皮肉屋だと思ふ。かつて李承晩は政変の時に銅像を街中に引きずりまわされたが、もちろん銅像なんて誰も作つてくれないが、彼もそのようなならねばならないと思ふ。同じ先生でも早来遅退組がいる。あまり熱心なので、生徒には好かれぬのだが、その先生に習わなくなるとあゝあの先生は良かったなあ

ということになる。よく怒られた生徒でもあゝあの先生は良かったと口にする。ところがそういう時に内心、良かったと思つてゐるのだが、そんな事はないよ、という者がいる。何でも一度は反抗したがる類だ。

そういう者にはつきりと君はちようど反抗期なんだね。と低姿勢で接すると彼等はそれ以上逆らうことができぬ。もう少し考えてこのことを口にすべきだと思ふ。それや言葉は大事だと思ふ。同じ人間でも「言葉に左右され」と思ふ。女性には、特に女性に。女性には、それも言つて後を言わない手法。俳句、和歌でいえばいわゆる。連体止め。という手法で絶交すれば仲直りもする。男性にとつては、今の言葉は取り消し。という言葉が多々ある。いつたん口にすればいくら取消してもその時に出た気持がいくらかあつたものと認めねばなるまい。そこでちよとよつかいな相手には御前前の顔の悪さは天下一だ、あつすまんすまん、失言だ、今の言葉は取り消すよ、といつても、失言だ今ののは取り消すよと言つた頃には二、三発ながら、お前さんは明らかだ。そんな類の人間は態度が悪いと言へば喜ぶが顔が悪いと言へば怒るから注意しよう。私が前に述べた才二の追放組の一面でもある。

最近はやや減つたように見えるが、なかなかどうしてどうして衰えないのが変な流行追い屋である。細いズボンをはいてみたり、短いスカートをはいてみたりする。

代の節約。と言へばそれまでだが、彼等にはそれほどまでして日本経済に貢献しようなんて気は毛頭持ちあわせていないと信じる。丸くまがつた、発育不良の足が目立つてみ

つともないのにも思ふ。街で何とかがドレスといつて数回をまいただけのようなのを着たりしている。我々から見れば一歩遅れた人間と見ざるを得ない。知性と教養を疑う。という言葉は彼等のために出来たようなものだ。そんな人間は自分自身のごく近いまわりの、つまらぬ問題にしか口をはさまないから、自治や政治などについては全然無関心である。そして社会が改善されても自分一人だけが損しなければ黙っている。至極扱いやすい人間どもである。もし私がクーデターを起すとしても、考慮に入れなくてはならない人間はごく少数で、大多数の彼等は無視してもさしつかえなからうと思ふ。

。平凡を求める人間も少なくない。ことに女子に多い。彼等の思想は最後まで平凡に暮らして名もなく死んでいくという、いささかロマンティック気味なものである。「平凡、平凡に限る。平凡であることは：」なんて日本の作家のだから言つたようである。私はもう手を挙げてそれに賛成する。それほど目立つ存在でもなく、とかく人から忘れられがちな存在だが、社会から捨てられるでもなく、積極的でもなく、といつて消極的でもない、並みの人間である。「そんな人間がいるか？」とおつしやるだろうが、

大手前にはたくさんいる。

こう言へばあのように出る、あのように言へばこのように出るということを見透して物をいうずる人もいる。私もそのうちの一人である人から言われたことがあるが、大部分の大人もそうだろうと思ふ。自分の真の心を率直に言明しないということである。もし卒直に我々が自分の意志を言明するならば、その後は生じないところの摩擦が生じるだろう。しかし、一時的なものである。ケネディ、フルシチョフはじめ世界の人々が、本当に心から率直に自分の意見を主張するならば、おのずからそこに信が生まれ世界平和がもたらされるのではなからうか。そんな風に率直に話す場を我々は学校においてのみ持つことが出来る。それは大部分が率直に何でもいつてくれるからであり、人を信じているからである。とすれば私のようなものは追放されるべき立場にあるのではなからうか。

大手前には（どこにもいるだろうが）一人のびつくりするような大きなことをいうものがある。例えば学業成績について「同じ人間やないか。一番も四百番も一人しかいないんやで。それやつたらなんで俺がいつまでも四百番に甘んじなければならへんのや」という類である。うぬぼれや、と人は称して、ある者はアホ扱いにし、ある者は面白い人間だという。行人。という小説の中に「自分は神だと兄が断言した」というのがあつたと思ふ。たとえ成績につい



てのや小説の中のが、苦悩の結果出た言葉であつても、私  
は両者ともバカ扱いにしてやる（ここでいうバカは世間で  
いうバカとは意味が異なる）。前者は自分の現在を忘れた  
人間で、理想を理屈でかたづけようとする。自分の現在を  
忘れて未来に歩むことが出来るはずはない。後者は人間だ  
けが持ちあわせている。考える。という力が強すぎて、自  
分に負けてしまつていく哀れな人間だ。どうもこういう類  
は前者は指導的立場にある人、後者は作家などに多いよう  
だ。生徒には少ないから我々仲間から珍しがられる。

人間の。動脈硬化派には我々は勝てぬ。政界には「ミ  
コヤンは全学連応援のためにやつてきた。」と言うような  
大野氏をはじめ多くいるのはまだしも、この学校にしても  
いるからいやになる。二年ほど前のことだつたが、ある先  
生に生徒が「せめて一度くらい席をかえてくれないか」と言  
ではありませんか。一年間同じ席とはひどいと思う」と言  
つた。その先生は「私の眼の黒いうちは絶対にそんな事を  
させない。私は教育する義務がある。席をかえると教育す  
ることが出来ない」と言つておられたが、これもその先生  
も二つも多く年をおとりになつたから、さらにその現象は  
進んでおられるだろう。

すまじい人間がいる。歩く時にも話す時にもす  
ましているのは、話していてもいやになるか、歩く時だけ  
すましているのはよいと思う。本人は別にすます気なんか

持つていないのだが、口を閉じて真剣な顔をしているから  
人にはすましている。と誤解されてしまう。それをひや  
かす人間と言え、それは決つたように柄の悪い、品のな  
い人間で、いつも口をあけている人間だ。彼等に言おう、  
人はどのようにみているかということ。丁度それはテレ  
ビで歌手が歌つている時に音を消してしまつたようなもの  
である。みつともないから、以後慎しみたまえ。

## 楽器類なら カワイ

橋 薫 心  
器 楽 合 河

## ある友達の日記より

### 君へのひとり言

河村真一

僕が君という人間を知つてからもう二年になる。でも本  
当に君を知つたのは今から半年位前のことだ。それから今  
までの間に、君と僕との間には、愛が生まれ、その愛情が  
わずかな間に非常な変化をした。愛といつても、僕の方に  
起こつたものであつて、君の方には起つたのか、そうでな  
いのか僕には未だにはつきりとかむことができないのだ  
が……。とにかく、僕は君を愛した。今も同様、以前と変  
らず、否以前よりもつと深く愛している。そして以前以上  
に僕は苦しんでいるのだ。君にはわからないだろうけれど

……。  
そう！僕が君に対して本当に愛を感じたのは今から五カ  
月も前の事だ。あの頃は丁度文化祭や、体育祭がつづいて  
その用意に君も僕も何かと忙がしかつた時の事だつたよ。  
勉強なんかほとんどしないであれこれ忙しく立ち廻ってい  
る内に、君がどんな人なのかを大体は知つたのだ。学校で

遅くまで用意をしたので帰りに君を送つていつたことも、  
二度あつた。そうして、その忙がしい期間が終つてほと  
した時があつたが、それまでがあまりに多忙だつただけに、  
何だか気のぬけたような状態になり、統いてはけしい寂寥  
感にとりつかれた。ほんの短期間だつたが、その時だ。君  
がいつも僕の脳裡にちらついていたのは、そのときから、僕  
が寂しくなつたり、悲しくなつたり、物事がいやになつた  
りした時は必ず君を想ひ出す。特にきつくと君の面影を  
僕の頭にもつてくるのだ。それで自分をなぐさめた事が何  
度もあつたか知れない。しかし、君をおもひ出すかべようと努  
力してもそれが容易にできない時なんかは泣きたくさえな  
つた。僕の心にも常に君が居た。僕は日記の上で君に話し  
かけ、幾度か君に手紙を書いた。結局は一通も出さなかつ  
たけれど。

それ程僕は君を愛していた。君の顔、声、後姿、姿勢、  
態度、気質、全て心から好きだつた。それは今も一向に変  
わらない。それからの僕は実に真剣になつた。始めの内は  
親しい友人に打ち明けたが、やがては何も言わなく  
なり、たゞ一途に君の影ばかり考へた。たゞ困つたのは、  
君と会う時だつた。急に顔を合わせた時なんかその瞬間は  
実に当惑した。遠くから君を見ていた時はいいのだが、目  
が会つたりすると、何とも言えぬ気持だつた。僕はそんな  
とき、わざと怒つたような顔をして、ろくにあいさつもせ

ずさつさと通り過ぎた。そしてすぐ後に君の方を振りかえつて君の姿が見えなくなるまで見送つたものだ。これもほんの短い期間だつたけれどその間は実に幸福な気がした。

しかし、僕が心の底から真剣であつたゞけにあの事を知つた時の打撃は大きかつた。

そう、君の好きな人物が僕のすぐ身近に居ることを！どこからともなく耳に入つてくるうわさや、僕の目に写つた事などによれば、少なくとも君は中学校時代から彼を愛していたことは拒みがない。時がたつにつれいろいろとわかってくるに従つて僕の心は次才に乱れていった。それを知つてからの僕の心の複雑な変化はおそらく想像もつくまい。自信を失つたり、自己嫌悪に陥つたり、食欲まで減少し、友達も家族の者も少々心配させた位のものでつた。たゞ君にはわからなかつたろう。僕は君の前では常に変わらぬ態度をとつた。いや少なくとも僕はとつたつもりだ。その上僕は自分勝手に君と彼の君を想像し、失望落胆し、勝手に自分はだめだと思つた。しかしそのライバルの態を知つて以来、僕はそれまでよりなお一層君を慕つた。

運動場に出た時は君の姿を求め、教室では君のことを思い、家では君の事を書いた。

君が僕のを感づいたかさうでないかは未だに僕にははつきりわからない。しかし、一度君の僕に対する態度が変

つたことがあることならみれば感づいたとも受けとれる。しかし、君が僕を愛しているかどうかという事に関しては僕は実に悲観的だ、悲観的な推測をたてずには居られない。樂觀視したいことは山々だけれど……。今もなお、悲観的である。僕が悩み、悲しんでいる間に期末考査が終り、休みに入つた。考査中も君の事ばかり考え、一日の試験が終ると学校の近くの公園に行くか、家の側の公園に行つて鞆を枕にして、空をながめて過した。

ところが、時間は何かを解決するものだ。試験が終つて三週間近くの冬休みの間に僕は次才に落つきをとりもどした。しかし、その間君への思慕はつる一方だつたけれどとにかく、自分勝手に想像して悩んだり、嘆いたりしなくなり一応冷静な気持になつたことは、三週間という時間の解決力のおかげであり、何と時間とは偉大なるものかと驚かされる。

さて、僕も一応意志の強い人間だ。一旦冷静さをとりもどすと今度はファイトが湧いてきた。もはやライバルの存在を見て嘆いているような僕ではなくなつたつもりである。敵には何らかの方策を構じねばならぬ。もうこれ以上ライバルによつてまどわされまいと思つた。

何らかの解決をしなければならぬだろう。それにつけても、知りたいのは君の真意だ。それがほとんど全てを握っている鍵だ。

君の心はどこにあるのだ。僕は悲観的な推測をたてるが決して希望は失わない。君の気持、君の真意、僕はそれだけ知りたい。たゞそれだけだ！しかし又僕はそれが僕に知れるのは実に恐いのだ。もし……：だつたら……という気が常に頭につきまとう。

しかし、いづれはつきりする事であろうが……。僕は今なお心の真底から君を愛している。この心はそう簡単には変るまい。

今又三学期が始まつた。君とも顔を会わせるし、彼とも会わせねばならない。僕は落ち着いている。ゆつくりとしつかり、問題を解決しなければならぬ。

再び僕はいう。僕は君が好きだ。君以外、僕が愛することのできそうな人は誰一人いない。君だけだ。だから、だから、たゞ君が僕を……。

一月十日 公園の寒空をながめつつ

楽器類なら

# カ ワ イ

橋 齋 心  
河 合 楽 器

# 推理小説

## 白い手袋

石井良子

ある日、私は、浜中市の本署に津山巡査を訪ねた。私と津山巡査の関係は正確にいうと間に幾人も人がいるので読者の明快なる頭脳を正常あらしめるために申し上げないが、たゞ一言、私はこの若い巡査に好感をもっているが実な推量はしていただきたくない。

私の知人で警察関係の仕事をしている人があり、それ私も度々出入していた。

私は津山巡査はたぶんいないだろうと思ひそう願っていた。というの私がやって来たその用件は私にとって甚だ不愉快だったから、ところが署のしきいをまたぐや否や彼がやって来るのを見た。

「やあ石井さん、久しぶりですね。何か御用でも。」彼

は急いでいた。

「いいえ、べつに。あのお仕事ですの？」

「ええ。春日の方で殺人があつたのです。」

「殺人ですつて！ で、誰が？」

「あなたぐらいの若い女の人だそうです。」

「御一緒してもよろしい？」私は彼の返事にかゝわらず行くつもりだ。彼もそれを承知していた。

浜中市は名のように海にとり囲まれた町で暖く、時々冷たい風が吹く事がある。

この日はたいへんしのぎやすい日で空はよく晴れ、風は少しあつたが、そう寒くない。

伊藤富夫氏の家は工場街の春日にあり、よく茂つた生垣と森のような感じの樹々にかこまれて、かなり小さじつぱりした家だつた。

私達がその家を入る時、私は電柱のかけで私達の方を、特に制服の津山巡査の方を熱心に、しかもおびえた様子で見ている小さな男の子を見つけた。彼は付近の子らしい服装で手に革ひもと鳥の羽根をさした一見、矢にするらしい竹の棒を持っていた。

伊藤夫人は髪を無造作に頭の後できつたげね、そのせいかどうか知らないけれどやや釣り上り気味の目つきだした下唇を有していた。私がいさつをして腰をか

めた時ふとかすかに石けん匂いがした。

津山巡査が夫人と話をしている間、私はこの家の次女、弘子嬢に会つた。彼女の姉正美嬢これが被害者なのだが、彼女は先妻の子で、弘子嬢は今の母の連れ子というわけだ。血はつながっていない。正美嬢はこの春大学へ進学するはずであつた。弘子は中二、少し陰気な感じのする少女だつた。

「姉は学校から帰ると裏庭で休んでいました。姉はずいぶん快活な性なんですが、少し疲れ過ぎていたようでした。私もその側で少し話をしてみましたら、母が呼ぶので行つて見ました。手袋を洗うから出して置いて、それから買物に行つてくれと申しますので私は自転車までかけました。帰つてから自転車を戻しに裏庭に行きましたら、もしたら……。」弘子は話し方はうつつむいてとぎれとぎれで小さな声でおまけに要領を得なくつてこれだけまとめるのがやつとである。

私達はすぐに現場に行つた。

木に囲まれて何処から何処までが裏庭かわからなかつたが、高い生垣の端に木戸があり、木戸の反対側に大きな背も高いかん木があつた。無知な私にはその木がなんであるかわからないが、その木の下に足を向けて仰向けになつて横たわる少女の死体がまだそのままあつた。検死はすんでしたが、ともかくそのままだ。真赤なスカートと灰色の毛

楽しい釣りに コタニの釣具を！

## 小谷釣具店

天満橋より南一分  
東区 谷町 1-17

TEL(94)-4880

糸のセーター、黄色のつつかけをはき、手に白い手袋をはめていた。髪は短かかつたけれど全体に派手な様子で顔立ちもきれいだつた。が、腹から胸の中央までを一直線にえぐられた時の血しぶきは木にも地にもはねかえつてその惨況はいわゆる筆舌に尽しがたい。スカートもセーターも鋭い刃物で切られたようだつた。その間からのぞいた身体のように私を私は正視することができず、思わず悲鳴をあげて飛びのいた。

地は細かい砂でそれは死体の外側へと飛び散つており、高い所からこの場に落された跡があつた。死体の側に一本の木刀が血にまみれておちていた。津山巡査はそれをとりあげた。一見凶器のようにも見えるけれど、先に血はついていなかった。

私はふとかのかん木にふれた。とてもよくしなる木だと思つた。竹のように。

再び応接室に戻る時、私は津山巡査に二、三質問をした

「伊藤という人、御存知？」

「かなり大きな工場を持つているよ。正美さんはその相続人だ。二、三日前発表があつた。」

「弘子さんは？」

「さあ、法律で認められている以上はないだろう。夫人も同様だ。」

「正美さんは実子だからかしら、正美さんできれいな人

てもらいに來るのです。」

津山巡査は時々私達の会話を聞きながら、伊藤夫人に尋ねていた。彼女は始めはぼんやりして何がなんだかわからないという風で割合落ち着いていたが、だんだん顔色が青ざめて指先が神経質にふるえた。

あくる朝は日曜日でありには一番忙しい日なのだが、仕事をほつたらかして津山巡査の所へかけつけた。本署の彼のデスクの前に参考となる品物がつまっていた。彼は私の顔を見るといきなりくつてかかつた。

「君はなんだつて、澄子さんの伝言を伝えてくれなかつたのだ。おかげでゆうべは電話でさんさん油をしぼられたぞ。」青井澄子嬢は津山巡査の婚約者である。私は彼女からのことづけを彼に伝えるべく、昨日警察という人はいやがるけれど一部の人のとつて便利な建物の門をくぐつたのだ。ところが殺人事件に気をとられてその事をすつかり忘れていたのは快心の出来事であつた。

「ごめんなさい。どうだつた。」

「婚約解消にはならなかつたが。」冗談じやない。私が

だつたのですね。あれじや、弘子さんよりずっと多くの人から好かれていたでしようね。」

「さあ、そうかな。誰か恨みを持つという事もありそうだよ。」

「派手なようでしたものね。」

「しかしこの頃は勉強で忙しかつたはずだ。」

天邪鬼な人だ。

「弘子さん。」私は応接間に入るとすぐ彼女に質問した。

「貴女が買物に行く時お母様にお渡しした手袋はどんなのですか？」

「白い、姉とおそろいの。でも以合いませんの。」

「あなたがこの家にとられてから長いですか？」

「いいえ、一年ばかりです。」

「お父様とは？あゝあまり差し入つた事ならお答えにならないで下さい。」

「ええ。……とても優しくしていただいています。

他人行儀な返事だ。うまくいつてないらしい。」

「お母様とお姉様は？」

「ええ。……いい姉です。」口が重いという返事だ。それにすぐ緊張している。

「少し雑談をしましよ。あの木はよくしなりますね。」

「ええ、それでよく近所の男の子が弓にするからと言つ

そんな事を心配しているものですか。」

「昨日の殺人事件は？」

「伊藤夫人を重要参考人として來てもらつているが。」

私はよく新聞で警察がある人を重要参考人として任意出頭を求めめるか、指名手配する場合、たいていその人が犯人である事が多い。それで重要参考人というからには十中八九犯人と考える。」

「で、理由は？」

「木刀を凶器とするとの木刀には手袋の跡が残つておりそれは弘子さんが夫人に渡した手袋と一致する。夫人はその後、すぐに手袋を洗い血をかくそうとした。」

「正美さんのと同じですね。」

「そうだ。きつ先に血がついていたのは後でふいたからだ。きつと臍腑がついていて見られなかつたのだろう。それに、あの夜伊藤氏が用事でどんな事があつても憚れない事を知つていたのは夫人だけだ。これも夫人にとつて不利だ。」

「夫人は自白したの？」

「いいや、まだだ。ひどく取りみだしている。気が鎮まつてから取調べるつもりだ。」

「弘子さんは？」

「あの子は要領を得ないんだ。」

「動機は？」

## 金言

青春の夢に忠実であれノ

シラノ

「遺産相続についての発表が大きな動機じゃないかな。それに正義さんは勉強ばかりで夫人となじむひまがなかった。また、弘子さんにひきかえあの器量だ。夫人としては嫉妬するのも自然だろう。」

「女つてそんなものとおつしやりたいのね。」  
「いや、全部がそうでないよ。たとえば澄子さんなんか私は胸にぐつとくるものを感じて思わず言つた。私の激しやうい性質は度々周囲から指摘されていた。」

「私は、犯人は夫人じゃないと思うわ。」  
「なぜ？動機も明白だし、証拠もあるし。」  
「動機がありすぎる。さあ行きましょう。」  
「どこへ？」彼は驚いて言つた。  
「夫人の無実を証明しよ。」私は立ち上つて驚く彼をひっぱつた。

「僕は忙しいのだよ。」  
「真相をたしかめなくちや。」とは言うものの私だつて犯人は夫人だと信じていた。ただ、澄子嬢に対して竟地になつた。

私達は再び、春日に行つたが、伊藤家には寄らず子供達の遊んでいる広場に出た。  
なぜこんな場所へ来たのか自分でもわからない。きつとあたりを歩いていくうちに津山巡査を連れ出した言ひわけを考ふるつもりだつたかも知れない。しかし、その場で敵

「楠本つていうんだ。伊藤さんとの右隣りだよ。」  
「そう、ありがとう。」  
私達は少年から別れた。

「伊藤さんの姉妹が言い争つていたとすると、ますます彼等にとって不利じゃないか。しかし、何だつてその春樹とかいふ子の事なぞ聞いたのだい？」

「ねえ、津山さん、犯罪なんて動機だけで成り立つから。その人がどんな人であるかにもよるでしょう。動機だけで犯罪が起るとしたら、そんな動機を持つ人はすべて罪を犯す者としたら、警察は未だに事故をふせげるはずじゃないの。」

「動機はその裏づけをするものだよ。しかし春樹という子は？」  
「今からその家に行くのよ。どんな結果になるかわからないわ。でも貴方はここで待つていて下さらなくては。きつと春樹ちゃんとはわかるわよ。」  
楠本家は少年の言葉に返して左隣りだつた。私は彼は左きに違いないと思う。

私は楠本春樹君に会つたが、本当の事を言つてもらうには少年がおびえているためかなり手こずつた。しかし子供を手なづけるのは私の天分であるらしく、やがて彼の口から少し疑問に残つていた事、即ち、他から移された跡がないを本がなぜ、その場に落されたようになつていたか。は

人の男の子が弓を持つて遊んでいるのを見て、ある事に見いついた。どうなるかわからないが、一応當つてみる価値はありそうに思えた。

「ねえ、あんたのその弓、伊藤さんところで、もらつたの？」  
「そうだよ。ねえちゃんは何だよ。」

男の子はそう言つて見上げたが津山巡査を見て顔を歪めた。  
「僕じゃないよ。僕、何もしてないよ。僕、たゞ外で聞いていただけだよ。」  
「こわがる事はないわよ。坊やは何もしてないのですものね。で、何を聞いていたの？」

「伊藤さんとの姉妹が昨日けんかしているのをさ。あそここの姉妹とても仲が悪いんだ。もつとも姉の方がよく妹をいじめるとだよ。」

「それで。」  
「僕、すぐ遊びに行つちやつたよ。そしたらすぐに妹が自転車を買物に行つたよ。あそこの後妻さんね、いつでも自分の子をやると。」男の子はまた口をきいた。  
「そう。それでね。あなたのお友達で昨日の夕方から全然一語に遊ばない子がいるでしょう。」

「春樹ちゃんだ。でもどうして知つているの？」  
「春樹ちゃんのお家はどこと？」

「ばの広い木に向つていたのに、どうして犯人は木刀で前からえぐるようにして切る事ができたのか。また一太刀でどうしてあれだけの傷を負せられたか。そんな事がこの少年の目撃した事によつて明らかにされた。」

たゞわからないのは正義嬢があつた木を、少年が弓を作るために、切つてやる時、なぜ切れない木刀を使うような馬鹿な真似をしたのか。そして枝がはねかえる程、曲げておいてなぜ急にはなしたりしたのか。という事だ。たゞ勉強しすぎて頭がどうかしていらに違いない。

私は津山巡査に対して誇らかな気持で、彼の元に引きかえした。一部始終を聞き終ると彼は私の勝利を素直に認めた。

「そうあつてほしいな、いつでも。しかし一応警察は犯人をさがさなくちやいけないんだ。しかし、どうしてわかつたのだい？」

「私達が昨日伊藤さんの家へ入る時、側に男の子がいたでしょ。あの子、矢と革ひもを持つていたわね。それで弓を作るつもりだつたのよ。そこまではすぐにはわかつたわ。弘子さんに聞くと、あの木は弓に使うのでよく近所の子がもらいに来るつて言つたわ。するとその子もその一人のはずよ。ね？ それでなぜおびえていたのかつて考えると、あの現場を見たときと考えると自然でしょ？ たゞ、誰だかわからないので困つたのよ。でもあのおませの男の子が何でもしやべつてくれたので助かつたわ。」

私の喜びは澄子嬢への竟地より真実の発見にあつた。



容。研究発表  
内。活動紹介

## 大公望

生物部

本日に釣りが好きになつたのは中学二年になつてから。以来休日毎に、友人を誘つてあちらこちら釣り歩き。

桜の花が点々と浮いている春の野池の鮎釣り、波しぶきをあびて釣る磯のベラ釣り、カラリと晴れた秋の彼岸には、淀川下流伝法大橋のにぎやかなハゼ釣りと、四季の魚を追つているうちに一年が過ぎてしまふ。昨年は、正月の三日

に明石の海岸へカレイを釣りに行つた。広い海岸には、三人の釣人がいるだけで真夏の頃はうそのよう。坊主(魚の気がない。即ち釣果0匹)だったが、淡路島を眺めながら海岸で餅を焼いて食べたりして結構楽し

いやな、ナマズ。

大体カレイなどは釣つてもあまりおもしろくない魚だが、もつとおもしろくないものもある。鮎釣りに行つた時、ウキがスツと消えた。そら来たとを上げると、なかなか強い引きで、手ごたえが鮎と違ふ。なんだろうと引き上げたら、二十センチ位のナマズだ。なんだ地震の親玉かと、ちよつとがつかり。それでも釣れないよりましだと針をはずそうとした時、パツタリ奴さんと目があつた。とたんにぞーつとした。ニタリとナマズが笑つたのである。ナマズは笑うどころではなかつたのだらうけれど、うすく賤いた三日月型の大きな口は、確かにニタリとしたように思えた。

海の愛嬌者—フグ

それからナマズがイヤになつた。ナマズと反対に、釣りあげられるとブンブン怒る奴もいる。フグである。しかしこの方がよほど気がいい。怒りぶりが見事なのだ。釣りあげたのを手でつかむと、ギリギリ歯きしりをしながらプーッとおくれる。ふくれた腹は、指で押したくらいではびく

ともしない。まん丸くふくらんだフグはまことに海の愛嬌者というところだが、この愛嬌者も釣人には迷惑がられている。一つはフグの歯が鋭くて、釣糸をすぐかみ切つてしまふ。もう一つは、せつかく釣つても、こればかりは、煮ても焼いても安心して食えない。そんなわけで、フグが釣れるとほどよくふくらんだところで、岩やコンクリートの上に置き、足で思いきり強くふんづけるのである。すると哀れフグは、パンという景気のない音と共に昇天する。それを見て釣人は、せいせいした顔をして再び釣り始めるのである。

ほくも、鯉、鮎、鮎その他川の魚は大抵釣つたけれど、名前を聞くだけでまだお目にかかつたことのない魚もいる。溪流の女王といわれ、鮎にも負けない人気をもつ山女魚もその一つ。山女魚は、マスの陸封されたものといわれ、山奥の、手をつけるとしびれるように冷い清流に住んでいる。大は三十センチ位だが、姿の美しい事、美味な事では川魚中随一だそうだが、彼女を釣るのがぼくの夢だが、大阪には見せず、京都、奈良の山奥まで行かないことにはお目にかかれぬというから夢が現実になるのはいつのことやら。

## 劇について思う

演劇部

「確かにこゝに置いといたのになあ……」「置いといたと言つてもないものはないやないか……」「おかしいなあ……」本番の時に無台装置として建てられたついでに裏では、こんなセリフのやりとりが必ず行われる。本番に必要な小道具がみつからないのである。ついでにの向う側では、演技者が、ドーランと汗にまみれた顔を真夏の太陽の様なライトに照らされ、必死に演じている。演劇部員といつても、舞台に立つのは年に数える程しかない。上演中での小道具の粉失は演技者にとつては全く致命傷であり、少ない舞台経験では、それを巧みにごまかす事もできない。おまけに相手役が当人の言うべきセリフを忘れてもしてくれただらそれこそ大変である。大道具係等と一緒に、ついでに後にいるブロンプ一演技者がセリフを忘れた場合、それを陰から言つてやる者が一ができる限りの小声で当人のセリフを言つてやるのだが、いつこうに聞えない様子である。舞台に立っている者も、大道具、小道具の裏方も、演出者も、ライト係も衣裳係もそれこそ、いてもたつてもいられない気持で舞台をじつと注視する。数十秒、或いは数分の後、その不安な沈黙は破られ、再び劇が始まる。なんとか切り

抜けて無事？に暮。後で先輩にいくらどやされようと、終つた事は終つたのだ。関係者一同はそんな気持で後片付をすませる。

狭い、本当に狭い部屋で、すしすめの部員が毎日大声を張りあげて練習する事から劇は始まるのである。食堂に電気がともる頃、セリフをブツブツ口の中で唱えながら家路をたどる数日が続く。やがて、人気のない講堂での練習が始まる。舞台の前には無数の長椅子が並び、ポツン、ポツンと座つた演出関係の者が盛んに演技者に注意を与える。数時間の練習で進んだのは、わずか一幕たらずという日が続く。本番の一週間前になれば、立派な舞台装置もでき上がり、一日ごとに練習は真剣さを増して行く。かくて本番の日が来て、泣いても笑つても幕は開き、そして閉じる。

### 起つてくる虚無感

これが何カ月もの練習の成果なのか？何の為に毎日の貴重な時間を劇の練習に費やしたのか？こんな虚無感が、一つの劇をすまず度にも起つてくる。しかし我々はプロで演劇をやっているのではないんだ。観客にどんな印象を与えようともできる限りの事はやつたのだ。こう自分で自分に言い聞かせてみて満足感を味わう場合もある。けれども、多くの場合、いくら考えてみても結局は無結論という事になり、たつた一つだけわかつた事は、演劇は永遠の芸術であり、この世の中で、人類にとつてかけがえのないもの一つであり、決して、滅びないという事である。

### ピアノについて

#### 音楽部

今日重要な楽器の一つにピアノがあります。その歴史について少し書いてみましょう。ピアノのお母さんの名はクラヴィコードといふ、十二世紀頃すでにあつたといわれています。てこの応用で弦を打つ鍵盤楽器で形は四角、足はなくテールの上にのせて演奏されます。この楽器は最初のうち弦の数より鍵盤の数の方が多く、一本の弦に対して二つあるいは三つの鍵盤があり、弦を二分したり三分したりする仕掛けになつていましたが、後には一つの弦に一つの鍵盤となりました。一方お父さんはクラヴィチェンバロ一クラヴサン、ハープシコードといふ、十四世紀に始めてつくられ十六、十八世紀には全盛を極めました。この楽器はハープを水平にしたような楽器で、グランドピアノのように足のついた大型のものです。鍵盤を押すと鳥の羽根や皮で出来ている爪で弦をはじく仕組みになつていました。息子のピアノはお父さんのクラヴィチェンバロの形にお母

さんのクラヴィコードの打弦の仕掛けをつけたものです。

十八世紀の始めほとんど同時に別々の地で発明されました。フィレンツエ(イタリア)では一七一一年にクリストフオリが、パリ(フランス)では一七一六年にマリウスが、ザツクス(ドイツ)では一七二一年にシュレーターが新しい鍵盤楽器を発明しました。クリストフオリが一番はやかつたので、ピアノの創始者は彼ということになつています。この息子は父親のクラヴィチェンバロの出来なかつたやわらかい音や強い音を自由に出すことが出来るというのでクラヴィチェンバロ、ユル・ピアノ、エ・フォルテとなづけられました。すなわち八強弱自由のクラヴィチェンバロVというわけです。そしてしだいにこの長い名前を略してピアノフォルテといふ、更に略してピアノというようになり、今日になつています。又堅形ピアノ(アツプライト)は一七八九年イギリスのサウスウエルという人が発明しました。このような歴史をもつピアノは今日家庭にその他にひんばんに使用され、今全盛を極めていきます。

### 現代社会に思う

#### 社研部

現代社会には危機、不安、頹廢、腐敗とありとあらゆる醜いものが存在しています。資本主義から共産主義への移行期です。核戦争の不安におびえています。歴史、法則を信じていても我々は歴史を推進する力として、より正しい(被害の少い)方向へ進ませていかねばならない。オ二の

\*\*\* 体 験 室 \*\*\*

\*\*\* ボーカー・フェイス \*\*\*

どんな時代でも、賭は人間の欲望ある限り絶えませぬ。ここに登場する若さと美貌にあふれるA君、商売の手腕をかわれ今度地方支店から東京の本社に栄転した。

\*\*\* 初出勤の彼をつかまえた部長はさつてく「賭ごとか好きだそうだが、何をやるの？」

A君、首をすくめながら「なんにでも賭けます」とはつきり答えた。そして「例えば失礼ですが、部長の右の胸にホクロがあるつて事に千円という具合です」

即座に部長はこれに応じホクロを確かめたが、そこにはなかつた。彼は転勤早々千円取られてしまった。

しかしさにあらず、A君支店を離れるとき々上京したら、オ一日目に部長のシャツをハギ取つてみせる。と豪語して、支店長と五千円賭けていたのです。





# 通信研究の発足

## 通信研究部

「通信研究部」このいかつい部名を見られて、ほとんどの人が、近づき難く、大手前生とはおよそ縁遠いクラブだと、感じられた事と思います。しかし、真実は事實はそうではありません。科学でうずめられたこの現代社会に住む人にとつて、これ程有意義なクラブは、他に無いと堅く信じて、疑いません。「本会は無線設備を用いて、他の社会集団又はその一部と無線通信を行い、それ等との交流を図り、実社会に対する知識を深め、高校生としての人間性を育て高める事を、目的とする」これが本会の第一目的である。どうも人によつては、無線とか通信とかの言葉を敬遠する癖があるが、これは、簡単な事柄を法律的な文章で表しただけのことである。ちなみに、無線設備とはラジオの事であり、無線通信とはラジオを聞く事である。オニオの目的は「本会は賞利を目的とせず、アマチュア無線の健全な発達を図り、会員相互の友好を増進し、併せて無線科学の向上と発展に寄与する事を目的とする」である。この様に人間的な成長過程に於ける高校生として必要欠くべからざる目的を達成する為、私達通研部員は常に努力を続けられています。

扱、法律はつた事はこの辺で、次に本クラブの経歴及び状況や今後の方針について、お話しします。  
まず、通信研究部の経歴は、次の様なものです。  
(昭和三十五年)

- 五月 無線通信同好会として発起申請。
- 六月 名称を通信研究部と改めクラブとして申請。クラ連で討議の結果、再検討アリとの解答。
- 九月 クラ連で再検討の結果本クラブの設置を承認、続いて代表会議通過。
- 十月 最後に職員会議に於いて保留となる。  
(昭和三十六年)
- 五月 自治会で通研部を準クラブとして承認さる。
- 六月 職員会議に於いて準クラブとして通信研究部の設置を承認さる。

十月から五月の間が空白状態になっていますが、その間にも私達発起人はクラブ設置の運動を努力していました。結局、現在のところ、準クラブですが本式のクラブになるのも間近い事と思います。

### 主体はアマチュア無線

次に現在の活動状況ですが、まだ日も浅く部屋も文芸部室の共用をクラ連で認められただけでこれといった活動はしていません。(但し九月二十日現在)それでは一体通研

部とは何をするクラブであるのか？それは目的にもある様に無線通信を行うのです。その主体はアマチュア無線ですが、これは免許が必要であつてその試験の全てである通信についての研究を行います。又具体的な活動としては、アマチュア無線家(ハム)の通信(一話し)を聞いて、その他万国の現情や風俗、習慣等を知つたり、世界の国々の放送を受信してリポートを送つて美しいカードや絵ハガキ、プログラム等を集めたりします。これ等の受信によつて、人の話しを聞く態度にも、誠意あるものとなるでしょう。

### 「キング・オブ・ホビー」

こゝで「アマチュア無線」について一言。  
アマチュア無線とは一種の趣味であり、無線によつて他の地方や国々の人々と話し合うのです。ところがそれは普通の趣味でなく、国の監督と護のもとに成り立っています。これはある面に於いては郵便友の会に類似する所があるかも知れません。しかし居ながらにして世界中の人々と話し

会えるという所は他のどの趣味をも引きつけません。こゝにアマチュア無線が「キング・オブ・ホビー」といわれるゆえんがあるのです。これによつてもマイクの前で話す喜びを味わえ、自分の考えを証す場合にも落着いた確実な表現が出来る様になります。現在通研部の免許人は、J A 3 C I U、J A 3 C O F、J A 3 C R E の三名ですが今度の試験で顧問教官を含め五名程増える見込みです。  
最後に通研部の今後の方針や将来について、現在最も重要な問題は、準クラブであるこの通研部を一日も早く本式のクラブとする事である。それにはクラブ全体の活動をもつと充実したものにせねばなりません。それを活発にする為には私達は本校のアマチュア無線クラブ局の設置並びに免許人を増加するつもりである。又そのクラブ局が出来るまでより多くの移動公開実験を行い通研部の主体であるアマチュア無線について広く理解していただくつもりである。

### 北野交歓大会に大活躍

そして最大の行事は自治会や学校に対する奉仕的なものである。例えば今年も行われていたように北野交歓大会に於いて進行状態や得点等の練習を無線によつてより敏速に確実に行える事です。その他自治会祭や文化祭、体育大会、水泳大会、駅伝等々学校関係からクラブ関係に至るまで大変多くの利点を持っています。

### 青年に贈る言葉

◇運のはなはな悪い人は安心するがいい。なぜなら、尚いつその悪運におちいる心配はないから。

—オーヴィット—

これ等の事から判る様に本クラブの将来性も非常に明るい見通しであります。それ等だけでなく日本国政府も、国民の科学する心をより強化する為、近年非常な努力をしており学校の理化教育に於いてもそうでありますが、アマチュア無線もその政策の一部いや大部分を占めているので、そして現在、東北大学や日比谷高校を初めとして果は中学校にまでも学校クラブ局が出来、その数もうなぎ上りに増えているのもその結果なのです。私達も大手前生としてそれに遅れじと裏面では必死な努力でもって活動を続けたいのです。

この様に本通信研究部は、高校生の人間的な成長に対し社会に対し将来に對して非常に有意義な内容を持って、生まれ出たのです。

浅い歴史でもって未熟なクラブですが、今後共皆様方の良き御協力をお願い致します。

以上動きの鈍い筆をとりまとまりのない紹介をしました。が読みづらい点はお許し下さい。

## ESSS活動紹介

### E・S・S部

E・S・S部の紹介にあたり、このクラブへの絶大な理解と協力、それにより新部員を迎え得れば幸いである。我々は中学校から今迄、三年半から五年半も英語を習っているが、それを如何に我々の生活に生かすかということ、は重大な課題である。「英語を認めること」「聞けること」「話せること」の三つが英語教育の目的であるが、授業で「認めること」に主眼を置き後者二つはなおざりにされているが、これらが重大な意義を持つことを知り、実践すべく、能力を養い願わくば実際に応用してみようとするクラブである。

英語を真に愛する者の集りのこのクラブは現在意気投合して活気を呈している。顧問教官の城野先生をはじめ三年生十三、二年生五、一年生二十五名の一家族で、男女比率は二十四対十九。

一学期は基礎能力の養成を主に、二、三学期はそれの応用の時。文化祭の英語劇は応用の一面である。否能力の応用だけではない。全部員の自主的発案と協力により一つのものを完成する団体生活の喜びに最もクラブ活動の意義を見出すのである。我々は英語劇を出来具合だけでなく、どれ程部員の工夫、創意、協力によりなされたかを見てほしい。

### 楽しいハンテイング

#### 次に活動内容を示すと

- 一。練習会 一月・水：三時半～四時四十五分  
土：一時十五分～三時三十分  
。プレーヤーによる発音練習・Textbookテキストの使用  
。テープレコーダーによる発音練習・Reading  
。Conversation 英語で雑談や討論をする。  
。英語の歌
- 二。外人講師 外人講師による発音指導及び書取練習・会話練習
- 三。文化祭 毎年英語劇をやっている。
- 四。校内英語弁論大会 各クラスより一名以上参加してもらい、本校英語科の先生が審査にあたる。
- 五。交歓会 清水谷、住吉高のE・S・Sと交歓会をもつ。
- 六。ハンテイング 獵りに行くのではなく、主として真前の大坂城へ外人と会話しに行くのである。出入りする所をとらえるところから来ている。これには最初なかな

#### 青年に贈る言葉

◇本当を言えは、私は心の底では喜劇俳優なんかより、偉大な悲劇俳優になりたかった。

なかの勇氣がいるが、青い目の背の高い外人と接して、自分の意志が相手に通じた時の喜びは何んとも言えぬものである。観光の季節によつて浮沈があるが、春秋の候晴天の下での若動は忘れられないものだ。

#### 七 クリスマス・パーティー

J・S・Sと変じて楽しく遊ぶ。

#### 八 ハイキング

一クラブの活動と全校生の参加について。クラブの活動が単にクラブ内のみにとどまらず、時には全校生を対象として行なわれなければならない。特に文化系の各クラブはやつていゝことが異なりどれも我々の教養とか知識、能力という面に役立つものばかりであるから、全クラブに加入して活動するということは不可能である故、クラブが主催して行う行事には進んで参加したいものである。E・S・Sの場合②の外人講師の時、自分の英語力の発達にも役立つ。今後部外の人にも大いに参加されることを願う。④の英語弁論大会は今年度は三学期始めに行う予定で、さつき言つた意味で大いに参加してほしい。クラブ活動への全校生の自主的参加は高校生生活をより潤いあるものにすると思う。現在のE・S・Sの最大の問題点はいかにすれば全部員が自主的に活動できるかということと先に言つた願わくばの所のこれらの能力をいかに生活に生かすかということ、もつともつと真剣に考えねばならない。

# 冬の星空を散歩する

理研部

初冬十二月ともなれば木枯しが吹き始め、いよいよ冬の到来という感じが強くなる。寒い折ではあるが、勉強で疲れきった頭を冷やすために戸外へ出て空を仰いだ時、又上を向いて歩いている時、氷つたような空気の奥からチカチカとまたたく星の光が目に入る。その生き生きとした光はとも、はてしない宇宙より何年も、何十年も、いや何千年もかかつてやつてきたとは思われない。

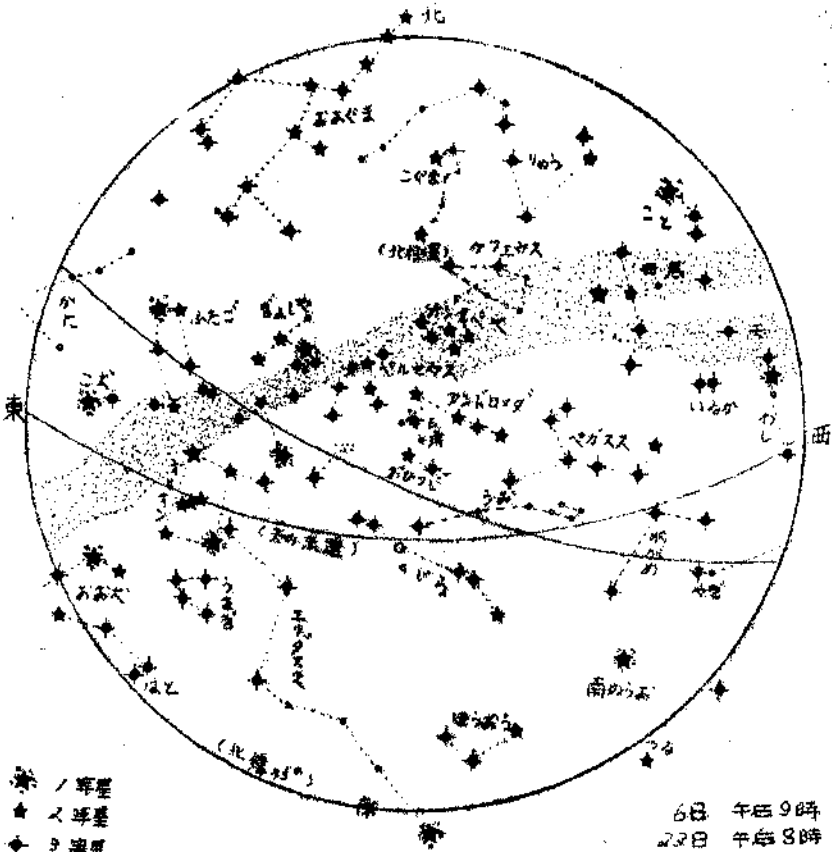
西の空には、秋の夜空を飾った、ペガサス座、アンドロメダ座、等が少し傾むいている。そのアンドロメダ座は神話でも名高い。アンドロメダ姫はカシオペアの娘で、母が嫉の美しいことを自慢したために、化けくじら「くじら座」のいけにえにされ、鎖につながれているところを、通りかかったペルセウスに救われる。そして、その妻になったのである。

カシオペア座は北天の天頂近くにW字形を配し、北極星の指示星としても有名である。ペルセウス座は初冬の星座の才一番手として、北東の空に、ひらりと跳躍する。あまり勢いよく飛びすぎて奥さんの首飾りを爪先にひっかけたままである。首飾りというのは右足さき下に光つ

ている。カおうし座のβプレヤダス星団があり、カすばるとも呼ばれている。それに続くV字形のγヒヤダス星団は少しまとまりを欠きβプレヤダスと比べると格が落ちる。しかし、その一端に輝く一等星αアルデバランはよく目立つ存在である。βプレヤダスについては、巨人アトラスとプレイオネの間に生まれた七人の姉妹が勇士オリオンに追われて逃げ場を失った。そこで大神ゼウスに頼んで一群れの星にしてみらしたのだといわれている。しかし、現在、肉眼で見える星は六個しかないことから、「行方知れずのプレカード」の伝説も生まれた。

## 世界中で愛されるオリオンの勇姿

カおうし座に隣りて、夕やみの濃くなった頃、真東からβ三つ星がのぼり始める。このβ三つ星は赤道線上にあるために、北半球球をとわずどこからでも見ることができ、勇士オリオンが右手に棍棒、左手にシシの皮の襦もつた姿の見事さと、その均整美は筆舌に尽くせない。この星座には明るい星が多い。特に、α星ベテルギウス（巨人の肩の意）は光度○・二等、スペクトルM型だから赤い星であり又、変光星でもある。一方、これも巨星でβ星リゲル（巨人の右足の意）は光度○・三等、スペクトル型はB8だから青い星である。



6日 午後9時  
22日 午後8時

★一等星  
☆二等星  
◆三等星  
●四等星  
○五等星

勇士オリオンには、大犬、小犬が従っている。β大犬座の主星シリウスは全天で最も明るく、マイナス一・六等である。シリウスは二重星で、その周りを、もう一つの天体が公転している。その天体の直径は太陽の1/100程度であるが、その質量は太陽とほとんど変わらない。計算すると、その密度は実に、 $3.8 \times 10^7 \text{ g/cm}^3$ となる。いま、その星でマッチ箱ほどの大きさの石を落とすとすれば、起重機を必要とするのである。このように、密度の非常に大きな天体は白色矮星と呼ばれ、星の最後の姿である。

静かに星を見つめて迷想にふけると、人間の存在は、ますます、ちっぽけなものになる。しかし、人間は今、宇宙の秘密を知りたいという好奇心から、人間衛星、月ロケットとたゆまない努力を続けている。

こうしていると、時間のたつのも忘れそうです。それでは、風邪をひかないうちに、部屋に入りましょう。

